

保 健 学 部

臨床検査技術学科	142
健康福祉学科	149
救急救命学科	153
看護学科・看護学専攻	
基礎・在宅看護学研究室	154
成人看護学研究室	154
高齢者看護学研究室	156
母子看護学研究室	157
助産学研究室	157
小児看護学教室	157
地域看護学研究室	157
精神看護学教室	159
看護学科・看護養護教育学専攻	159
臨床工学科	162
理学療法学科	165
作業療法学科	171
診療放射線技術学科	174
臨床心理学科	178

● 臨床検査技術学科 ●

相磯 聡子

講演

1. 相磯聡子, 上田真樹子:リアルタイムPCR法を用いた高コピー数多型の解析. 日本臨床検査医学会第68回学術集会. 富山・オンライン. 2021年11月11日-14日. 報告書
1. 相磯聡子:核内低分子RNA snRNAU2関連断片の機能解明と肺癌予後マーカーとしての評価. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)2020年度研究実施状況報告書.

大森 拓哉

講演

1. Ohmori T: A proposal for a new visual representation method of mental images. 32nd International Congress of Psychology (ICP2020+) .online.19th, July, 2021.
2. 大森拓哉, 森一将:健康食品のイメージについて. 日本行動計量学会第49回大会. オンライン. 2021年9月1日.

論文

1. 大森拓哉:教員採用試験・公認心理師試験問題と教職科目「教育相談」の授業内容の相関. 多摩大学経営情報学部教職研究. 5. 1-5. 2022.
2. 大森拓哉, 良峯徳和¹, 久保田貴文¹(¹多摩大学):数理的問題の基礎教育を補完するe-learningシステムの精緻化と運用の検証. 経営・情報研究 多摩大学研究紀要. 26. 245-248. 2022.

岡田 洋二

講演

1. 関健介, 高津博勝, 岡田洋二:フラン脂肪酸代謝産物(CMPF)が及ぼす有機汚染物質酸化分解の促進効果. 第80回日本公衆衛生学会. オンライン. 2021年12月21日-23日.

その他

1. 岡田洋二:「ののちゃんのDO科学」無臭にんにく、なぜくさくさない?. 朝日新聞 be on Saturday. 2021年4月17日.

島田 厚良

論文

1. Mikawa T, Shibata E, Shimada M, Ito K, Ito T, Kanda H, Takubo Keiyo, Shimada A, Lleonart ME, Inagaki N, Yokode M, Kondoh H: Characterization of genetically modified mice for phosphoglycerate mutase, a vitally-essential enzyme in glycolysis. PLoS ONE. 16(4). e0250856. 2021.
2. 島田厚良:老化と神経変性に関する基礎研究. 別冊 BIO Clinica. 10(2). 15-19. 2021.

招待講演

1. Shimada A: Histological Architecture Underlying Brain Responses to Endotoxemia-induced Systemic Inflammation. In: The 33rd Annual Meeting of the Japanese Society for Neuroimmunology "JSNI-PNIRS Pre-symposium workshop". Fukuoka・Online. October 21, 2021.

講演

1. Hasegawa-Ishii S, Asano H, Shimada A: Plastic changes in the brain morphology and microenvironment coupled with nasal inflammation. 第62回日本神経病理学会総会. オンライン. 2021年5月27日.
2. 浅野妃南, 石井さなえ, 島田厚良:鼻腔炎症の急性期における脳の免疫応答. 第62回日本神経病理学会総会. オンライン. 2021年5月28日.
3. 篠崎海都, 小山内峻人, 狩野将輝, 山田拓海, 島田厚良:新生児敗血症マウスを用いた未熟脳に特有な免疫応答に関する研究. 第62回日本神経病理学会総会. オンライン. 2021年5月29日. (学生ポスター賞 受賞)
4. 浅野妃南, 石井さなえ, 小原映, 島田厚良:鼻腔炎症急性期における脳と末梢の相互作用. 日本味と匂い学会第55回大会. 福岡市・オンライン. 2021年9月22日.
5. 山田賢治, 宮方基行, 山口芳裕, 丹羽正利, 島田厚良, 長瀬美樹, 松村譲児:クラッシュ症候群における虚血・再灌流障害予防効果に関する研究—ラット・クラッシュ症候群モデルの確立—. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会. 伊勢市・オンライン. 2021年10月14日.

下島 裕美

講演

1. 下島裕美, 照屋浩司:コロナ禍による生活意識の変化—性別の年代毎の違い—. 日本発達心理学会第33回大会. オンライン. 2022年3月1日.
2. 下島裕美, 照屋浩司:バランスの取れた時間的展望と受診意図. 日本認知心理学会第19回大会. オンライン. 2022年3月7日.

論文

1. 下島裕美:ここでも活かせる心理学 医療従事者の養成で生きる心理学. 心理学ワールド. 95号. 45. 2021.
2. 下島裕美・照屋浩司¹(¹杏林大・保):エンディングノートに必要な項目の性差について. 東京通信大学紀要. 4. 209-219. 2022.
3. 下島裕美・照屋浩司¹(¹杏林大・保):都市部居住者の排尿に関する問題のWeb調査. 東京通信大学紀要. 4. 249-260. 2022.

著書

1. 下島裕美(分担執筆):第6章 死を考える教育. 医療の質・安全を支える心理学. 日本心理学会 監修. 原田悦子 編集. 誠信書房. 2021. 111-128.

滝 智彦

講演

1. 滝智彦：染色体異常からみた血液形態 小児造血器腫瘍を中心に。第22回日本検査血液学会学術集会。平塚市・オンライン。2021年9月12日。
2. 滝智彦：血液腫瘍診療に必要な細胞遺伝学情報の特性と注意点。第28回臨床細胞遺伝学セミナー。オンライン。2021年12月3日-2022年1月24日。

論文

1. Taga T¹, Tanaka S², Hasegawa D³, Terui K⁴, Toki T⁴, Iwamoto S⁵, Hiramatsu H², Miyamura T⁶, Hashii Y⁶, Moritake H⁷, Nakayama H⁸, Takahashi H⁹, Shimada A¹⁰, Taki T, Ito E⁴, Hama A¹¹, Ito M¹¹, Koh K¹², Hasegawa D¹³, Saito AM¹⁴, Adachi S², Tomizawa D¹⁵ (¹Shiga University of Medical Science, ²Kyoto University, ³St Luke's International Hospital, ⁴Hiroaki University Graduate School of Medicine, ⁵Mie University Graduate School of Medicine, ⁶Osaka University Graduate School of Medicine, ⁷University of Miyazaki, ⁸Kyushu Cancer Center, ⁹Toho University, ¹⁰Okayama University Graduate School of Medicine, ¹¹Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, ¹²Saitama Children's Medical Center, ¹³Hyogo Children's Medical Center, ¹⁴National Hospital Organization Nagoya Medical Center, ¹⁵National Center for Child Health and Development). Post-induction MRD by FCM and GATA1-PCR are significant prognostic factors for myeloid leukemia of Down syndrome. *Leukemia*. 35(9). 2508-2516. 2021.
2. Kaburagi T^{1,2}, Yamato G^{1,2}, Shiba N³, Yoshida K⁴, Hara Y², Tabuchi K⁵, Shiraiishi Y⁶, Ohki K⁷, Sotomatsu M¹, Arakawa H², Matsuo H⁴, Shimada A⁸, Taki T, Kiyokawa N⁷, Tomizawa D⁹, Horibe K¹⁰, Miyano S¹¹, Taga T¹², Adachi S⁴, Ogawa S⁴, Hayashi Y^{1,13} (¹Gunma University Medical Center, ²Gunma University Graduate School of Medicine, ³Yokohama City University Hospital, ⁴Kyoto University, ⁵Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital, ⁶National Cancer Center Research Institute, ⁷National Research Institute for Child Health and Development, ⁸Okayama University, ⁹National Center for Child Health and Development, ¹⁰National Hospital Organization Nagoya Medical Center, ¹¹University of Tokyo, ¹²Shiga University of Medical Science, ¹³Jobu University). Clinical significance of RAS pathway alterations in pediatric acute myeloid leukemia. *Haematologica*. 107(3). 583-592. 2022.
3. 滝智彦：造血器腫瘍の遺伝子異常と血液形態 染色体異常からみた血液形態 小児造血器腫瘍での経験を中心に。日本検査血液学会雑誌。23(1)。183-189。2022。

著書

1. 滝智彦(分担執筆)：染色体・遺伝子検査。小児白血病・リンパ腫。滝田順子 編集。pp9-15。中山書店。2021。
2. 宮地勇人, 滝智彦, 木下明俊(共同執筆)：症例から学ぶ白血病診断。株式会社ビー・エム・エル ホームページ内。2021。
http://www.bml.co.jp/medical_information.html

中島 哲

講演

1. 芝崎翔平, 岸野智則, 砂原さくら, 横山智美, 原島敬一郎, 中島哲, 川村直弘, 森秀明, 大西宏明, 渡邊卓：健常若年女性における夕方の生理的下腿浮腫について。日本超音波医学会第94回学術集会。神戸・オンライン。2021年5月23日。
2. 今井由季, 原島敬一郎, 今井美怜, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則：超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pで血管内皮機能を評価する—AYA-P脈波高とRHIの関係—。第20回日本血管血流学会学術集会。オンライン。2021年10月31日。
3. 小岩龍盛, 原島敬一郎, 市川大暉, 平山健心, 石黒隆, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則：超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pを使用して安定したPWVを測定する—適切なサンプリング周波数の模索とデジタルフィルタの有効性—。第20回日本血管血流学会学術集会。オンライン。2021年10月31日。
4. 刈本歩花, 原島敬一郎, 蒲牟田采音, 奥山祐美, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則：僧帽筋の硬さと灌流する血液の男女比較—肩こりの性差解明に向けて—。第20回日本血管血流学会学術集会。オンライン。2021年10月31日。
5. 市川大暉, 原島敬一郎, 小岩龍盛, 平山健心, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則：超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pを用いた総合的血管機能評価装置の開発—適切なサンプリング周波数の決定とアーチファクト除去用デジタルフィルタの作成—。第50回杏林医学会総会。オンライン。2021年11月20-29日。
6. 奥山祐美, 芝崎翔平, 刈本歩花, 蒲牟田采音, 原島敬一郎, 中島哲, 岸野智則：僧帽筋の硬さと血流の関係—肩こりの病態や性差の解明に向けて—。第50回杏林医学会総会。オンライン。2021年11月20-29日。

論文

1. Nakao H, Kashiwakura C, Shibasaki S, Harashima K, Nakajima S, Ohnishi H¹, Watanabe T¹, Kishino T (¹Faculty of Medicine): Possible effects of short rest after lunch on hemodynamics in the afternoon. *Eur J Appl Physiol*. 122 (2). 523-530. 2022.

渡部 和彦

講演

1. 渡部和彦, 加藤陽一郎, 村田麻喜子, 新井田素子, 他田真理, 柿田明美, 柴田亮行：Praj1, ZNF179ユビキチンリガーゼのTDP-43凝集体形成抑制効果。第62回日本神経学会学術大会。京都市・オンライン。2021年5月21日。
2. 渡部和彦, 加藤陽一郎, 村田麻喜子, 新井田素子, 他田真理, 柿田明美, 柴田亮行：Praj1, ZNF179ユビキチンリガーゼのTDP-43凝集体形成抑制効果。第62回日本神経病理学会総会学術研究会。オンライン。2021年5月28日。
3. 新井田素子, 須藤則宏, 塚原富士子, 渡部和彦, 柴田亮行：ミクログリアにおける家族性ALS変異SOD1蛋白分解機構の解明。第62回日本神経病理学会総会学術研究会。オンライン。2021年5月28日。
4. 津久井亮太, 岡村幸宜, 山本智子, 渡部和彦, 柴田亮行：神経細胞におけるfukutinの機能解析：tauリン酸化におけるfukutinの関与。第62回日本神経病理学会総会学術研究会。オンライン。2021年5月28日。
5. 岡村幸宜, 津久井亮太, 山本智子, 渡部和彦, 柴田亮

行. アストロサイトーマ細胞株におけるフクチンと Cyclin D1との関連. 第62回日本神経病理学会総会学術研究会. オンライン. 2021年5月28日.

- 渡部和彦, 加藤陽一郎, 村田麻喜子, 新井田素子, 他田真理, 柿田明美, 柴田亮行: Praja1, ZNF179 E3ピキチンリガーゼのTDP-43凝集体形成抑制効果. 第43回日本神経科学大会. 神戸市・オンライン. 2021年7月31日.
- 渡部和彦: 培養神経変性疾患モデルにおける蛋白質凝集とその抑制. 第43回神経組織培養研究会. 吹田市・オンライン. 2021年11月6日

報告書

- 渡部和彦, 柿田明美¹(¹新潟大学): 筋萎縮性側索硬化症(ALS)細胞質TDP-43凝集体形成を抑制する分子の同定と機能解析. 令和三年度新潟大学脳研究所「脳神経病理標本資源活用」の先端的共同研究拠点」共同利用・共同研究報告書. 2022年3月.

新江 賢

論文

- Orimo K¹, Tamari M¹, Takeda T², Kubo T³, Rückert B⁴, Motomura K¹, Sugiyama H¹, Yamada A¹, Saito K¹, Arae K, Kuriyama M¹, Hara M¹, Soyka MB⁵, Ikutani M⁶, Yamaguchi S¹, Morimoto N¹, Nakabayashi K¹, Hata K¹, Matsuda A¹, Akdis CA⁴, Sudo K⁷, Saito H¹, Nakae S⁶, Tamaoki J⁸, Tagaya E⁸, Matsumoto K¹, Morita H¹ (¹ National Research Institute for Child Health and Development, ² Kansai University of Health Sciences, ³ Sapporo Medical University School of Medicine, ⁴ Swiss Institute of Allergy and Asthma Research (SIAF), ⁵ University of Zurich, ⁶ Hiroshima University, ⁷ Tokyo Medical University, ⁸ Tokyo Women's Medical University): Direct platelet adhesion potentiates group 2 innate lymphoid cell functions. *Allergy*. 77(3). 843-855. 2022.

池田 一磨

その他

- 池田一磨: RIMS共同研究(公開型)「証明と計算の理論と応用」, 研究代表者. 京都市・オンライン. 2021年12月20-22日.

石井 さなえ

講演

- Hasegawa-Ishii S, Asano H, and Shimada A: Plastic changes in the brain morphology and microenvironment coupled with nasal inflammation. 第62回日本神経病理学会総会学術研究会. オンライン. 2021年5月27日.
- 浅野妃南, 石井さなえ, 島田厚良: 鼻腔炎症の急性期における脳の免疫応答. 第62回日本神経病理学会総会学術研究会. オンライン. 2021年5月28日.
- 石井さなえ, 三島由祐子, 浅野妃南, 大崎敬子: Impact of chronic nasal inflammation on the brain and gut

microbiota. 第55回味と匂学会. オンライン. 2021年9月24日.

- 浅野妃南, 石井さなえ, 小原映, 島田厚良: 鼻腔炎症急性期における脳と末梢の相互作用. 第55回味と匂学会. オンライン. 2021年9月24日.
- 石井さなえ, 三島由祐子, 浅野妃南, 大崎敬子: 新生仔の鼻腔炎症に起因する腸内細菌叢の形成不全と脳組織損傷. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日.
- 浅野妃南, 石井さなえ, 小原映, 島田厚良: 鼻腔炎症に伴う免疫細胞と脳細胞の相互作用. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日.
- 菅井菜美, 青山翔太, 鈴木南緒, 石井さなえ: 鼻腔炎症に起因する新生仔脳の免疫応答. 第50回林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日.
- 石井さなえ, 三島由祐子, 浅野妃南, 大崎敬子: 新生仔の鼻腔炎症に起因する腸内細菌叢の変動と脳組織損傷. 第55回無菌生物ノートバイオロジー学会. 仙台. 2022年1月22日.

論文

- Kishimoto Urata M^{1,2,7}, Urata S^{1,2,7}, Kagoya R², Imamura F³, Nagayama S⁴, Reyna RA¹, Maruyama J¹, Yamasoba T², Kondo K^{2*}, Hasegawa-Ishii S^{5*}, Paessler S¹. (¹ University of Texas Medical Branch, ² The University of Tokyo, ³ Penn State College of Medicine, ⁴ University of Texas Health Science Center, ⁵ Kyorin University.) Prolonged and extended impacts of SARS-CoV-2 on the olfactory neurocircuit. *Sci Rep*. 12(1). 5728. 2022.

大河戸 光章

講演

- 大河戸光章: HPV型と子宮頸部病変との関係. 荒川区がん予防・健康づくりセンター令和3年度細胞検査士講習会. 荒川区. 2022年3月4日
- 大河戸光章, 岡山香里, 笹川寿之: 【シンポジウム】HPV感染による形態学的変化に意味はあるか. 米子市. 第60回日本臨床細胞学会秋期大会. 2021年11月20日-21日.
- 大河戸光章, 岡山香里, 笹川寿之: 【特別講演】HPV First 検診導入によって細胞検査士に求められるスキルは何か. 山口市. 第102回山口県臨床細胞学会学術講演会. オンライン. 2021年9月26日

論文

- Okayama K¹, Sasagawa T², Teruya K, Oda M³, Fujii M, Kimura H¹, Okodo M. (¹Gumma Paz University, ² Kanazawa Medical University, ³ Genki Plaza Medical Center for Health Care): Profiles of human papillomavirus detection of the multinucleated cells in the cervical smears. *Microorganisms*. 9(8). 1575. 2021.
- Zhang S¹, Saito M¹, Okayama K², Okodo M, Kurose N¹, Sakamoto J¹, Sasagawa T¹. (¹ Kanazawa Medical University, ² Gumma Paz University): HPV genotyping by molecular mapping of tissue samples in the vaginal squamous intraepithelial neoplasia (VaIN) and vaginal squamous cell carcinoma (VaSCC). *Cancers*. 13(13). 3260. 2021.
- Musangile F¹, Matsuzaki I¹, Okodo M, Shirasaki

A¹, Mikasa Y¹, Iwamoto R¹, Takahashi Y¹, Kojima F¹, Murata S¹. (¹ Wakayama Medical University) :Detection of HPV infection in urothelial carcinoma using RNAscope: clinicopathological characterization. *Cancer Medicine*. 10(16). 5534-5544. 2021.

- Okodo M, Okayama K¹, Teruya K, Tanabe K, Ito C², Ishii Y², Fujii M, Kimura H¹, Oda M². (¹Gumma Paz University, ²Genki Plaza Medical Center for Health Care): Effects of menstrual cycle on the accumulation of human papillomavirus-infected cells exfoliated from the cervix that drift into the vagina. *Microorganisms*. 10(4). 693. 2022.

蔵田 訓

講演

- 北条史, 米澤英雄, 岡健太郎, 高橋志達, 蔵田訓, 花輪智子, 神谷茂, 三戸部治郎, 大崎敬子: MPSマウスを用いた *Helicobacter pylori* 感染モデルにおける胃内細菌叢の変化について. 第95回日本細菌学会総会. オンライン. 2022年3月29日-31日.

論文

- 大崎敬子¹, 菅原大介², 大野亜希子³, 楠原光謹³, 蔵田訓, 米澤英雄¹, 徳永健吾⁴ (¹杏林大・医・感染症学, ²杏林大・医・顕微解剖学, ³杏林大・医・消化器内科学, ⁴杏林大・医・総合医療学): 胃癌予防をめざした胃内細菌叢の研究. *杏林医学雑誌*. 53巻(1号). s1-s4. 2022年.

角田 ますみ

講演

- 角田ますみ: 週周期における看護倫理. 日本手術看護学会. オンライン. 2022年2月19日.
- 角田ますみ: 知って始める『人生会議』人生の最終段階における医療やケアについて考えよう. 令和3年度土浦市在宅医療・介護連携拠点事業市民講演会. 土浦市. 2022年1月29日.
- 角田ますみ: 看護師に求められる倫理的視点Ⅰ. 東邦大学医療センター大橋病院教育研修講演. 東京. 2022年3月1日.
- 角田ますみ: 看護師に求められる倫理的視点Ⅱ. 東邦大学医療センター大橋病院教育研修講演. 東京. 2022年3月9日.
- 角田ますみ: 私の人生予定表-アドバンスケアプランニング(ACP)で元気なうちに人生をプランニングしませんか?. 2021年度後期まちだ市民大学HATS“こころ”と“からだ”の健康学. 町田市教育委員会生涯教育学習部生涯教育センター事業. 町田市. 2021年11月25日.
- 角田ますみ: アドバンス・ケア・プランニング～「自分らしく生きる」を支える意思決定支援～. 令和3年度香川県看護協会看護研修会. オンライン. 2021年12月4日.
- 角田ますみ: 患者・家族に寄り添うアドバンス・ケア・プランニング. 2021年度西東京糖尿病療養指導プログラム第17回西東京教育看護研修会. オンライン. 2021年7月11日.

- 角田ますみ: 患者・家族に寄り添うアドバンス・ケア・プランニング. 多摩地区薬剤師会地区研修会. 武蔵野市. 2021年9月5日.

論文

- 角田ますみ: 日本におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の現状. *精神科*. 39(3). 356-364. 2021.
- 角田ますみ: 介護における人生会議(ACP). *介護人材*. 18(2). 10-14. 2021.
- 角田ますみ: 介護における看取りの現状と倫理的課題. *介護人材*. 18(2). 5-9. 2021.
- 角田ますみ: 介護福祉士の倫理教育の現状に関する研究. *人間科学研究*. 35(1)補遺号. 221-222. 2022.

著書

- 角田ますみ: II ケアマネジメントプロセスと関連プロセス ACP(アドバンス・ケア・プランニング). ケアマネジメント事典. 一般社団法人日本ケアマネジメント学会編. 中央法規. 2021. 68-69.
- 角田ますみ監修: クエスチョンバンク・ケアマネ試験問題解説2022. *メディックメディア*. 2021.
- 角田ますみ監修: クエスチョンバンク・介護福祉士試験問題解説2022. *メディックメディア*. 2021.

高津 博勝

講演

- 関健介, 高津博勝, 岡田洋二: フラン脂肪酸代謝産物(CMPF)が及ぼす有機汚染物質酸化分解の促進効果. 第80回日本公衆衛生学会. 東京・オンライン. 2021年12月21日.

論文

- Kato Y¹, Uchiumi H¹, Usami R¹, Takatsu H, Aoki Y², Yanai S³, Endo S³, Fukui K¹ (¹Shibaura Institute of Technology, ²Mitsubishi-Chemical Foods Corporation, ³Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology): Tocotrienols reach the brain and play roles in the attenuation of body weight gain and improvement of cognitive function in high-fat diet-treated mice. *J Clin Biochem Nutr*. 69(3). 256-264. 2021.
- Yoshida N¹, Kato Y¹, Takatsu H, Fukui K¹ (¹Shibaura Institute of Technology,): Relationship between cognitive dysfunction and age-related variability of oxidative stress markers in isolated mitochondria of Alzheimer's disease transgenic mouse brains. *Biomedicine*. 10(2). 281. 2022.
- Hama S¹, Kirimura N², Obara A³, Takatsu H, Kogure K³ (¹Musashino University, ²Kyoto Pharmaceutical University, ³Tokushima University): Tocopherol Phosphate Inhibits Rheumatoid Arthritis-Related Gene Expression In Vitro and Ameliorates Arthritic Symptoms in Mice. *Molecules*. 27(4). 1425. 2022.

瀧上 周

講演

- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: マウス下垂体前葉におけるCD9/CD81/SOX2陽性細胞の同定と幹細胞性

の解析. 第94回日本内分泌学会学術総会. オンライン. 2021年4月22-24日.

- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: ラット下垂体中葉側Marginal Cell LayerにおけるCD9/CD81/S100β/SOX2陽性細胞の機能. 第34回日本下垂体研究会学術集会. オンライン. 2021年8月19-21日.
- 筒井優人, 平嶋遥, 長谷川瑠美, 瀧上周, 堀口幸太郎: ラット下垂体中葉側Marginal Cell LayerにおけるCD9/CD81/S100β/SOX2陽性細胞の機能. 第34回日本下垂体研究会学術集会. オンライン. 2021年8月20日.
- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: 妊娠、泌乳期におけるラット下垂体前葉内プロラクチン産生細胞の増殖機構の解明. 第114回日本繁殖生物学会学術集会. オンライン. 2021年9月24日.
- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: ラット下垂体中葉側Marginal Cell Layer細胞からのホルモン産生細胞供給の可能性. 第47回日本神経内分泌学会学術集会. オンライン. 2021年10月30日.
- 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周: マウス下垂体前葉におけるCD9/CD81/SOX2陽性細胞の組織幹細胞性. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日.
- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: ラット下垂体中葉側Marginal Cell Layerの組織幹細胞は前葉側へ移動し、ホルモン産生細胞供給を担う. 第127回日本解剖学会学術集会. オンライン. 2022年3月27-29日.

論 文

- Horiguchi K, Fujiwara K¹, Takeda Y², Nakakura T³, Tsukada T⁴, Yoshida S⁵, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S (¹Kanagawa University, ²Osaka University, ³Teikyo University, ⁴Toho University, The Jikei University): CD9-positive cells in the intermediate lobe of the pituitary gland are important supplier for prolactin-producing cells in the anterior lobe. *Cell Tissue Res.* 385(3). 713-726. 2021.
- Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T², Nakakura T³, Yoshida S⁴, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S (¹Kanagawa University, ²Toho University, ³Teikyo University, ⁴The Jikei University): CD9-positive cells in the intermediate lobe migrate into the anterior lobe to supply endocrine cells. *Histochem Cell Biol.* 156(4). 301-313. 2021.

水谷 奈津子

講 演

- 武内詩織, 伊藤恭彦, 水谷奈津子, 松岡周二: オーダーメイドの卵巣癌治療抗体の樹立方法. 第80回日本癌学会学術集会. 横浜. 2021年10月1日.
- 水谷奈津子, 伊藤恭彦, 武内詩織, 松岡周二: 新規抗CD10抗体のリンパ腫及び肺癌に対する治療効果. 第80回日本癌学会学術集会. 横浜. 2021年10月2日.

その他

- 水谷奈津子: チーム医療と医療安全, 臨床検査技師の立場から. 日本大学櫻丘高校 出張講義. 東京. 2021

年10月2日.

特 許

- 発明者: 水谷奈津子, 阿部雅明, 松岡周二, 樋野興夫, 大辻奈穂美, 波多野良. 特許権者: 学校法人順天堂. 抗CD10抗体. 特許証登録: 特許第7002145号. 登録日: 2022年1月4日.

八巻 明子

講 演

- 鈴木里奈, 村松憲, 村田裕康, 平澤愛, 八巻明子, 柴田茂貴: 異なる運動強度と抗酸化物質投与量の酸化ストレスと抗酸化力に対する影響. 第76回日本体力医学会大会. 三重・オンライン. 2021年9月17-19日.
- 柴田茂貴, 鈴木里奈, 村田裕康, 平澤愛, 八巻明子, 村松憲: 抗酸化物質投与量の違いが運動の引き起こす酸化ストレス及び抗酸化力へ与える影響. 第50回杏林医学会総会. 三鷹市・オンライン. 2021年11月20-29日.

村田 麻喜子

講 演

ポスター

- 渡部和彦, 加藤陽一郎, 村田麻喜子, 新井田素子, 他田真理, 柿田明美, 柴田亮行: Praja1, ZNF179ユビキチンリガーゼのTDP-43凝集体形成抑制効果 Suppressing effects of Praja1 and ZNF179 E3 ubiquitin ligases on neuronal TDP-43 aggregate formation. 第62回日本神経学会学術大会. 京都. 2021年5月19-22日.

郡 秀一

講 演

- 郡秀一: これからの細胞検査士教育を考える 距離をキーワードに失敗から学ぶこれからの細胞検査士養成教育. 第60回日本臨床細胞学会秋期大会. 米子. 2021年11月20日.

西村 伸大

その他

- 西村伸大: アロマセラピーって何だろう? -アロマグッズを作ってみよう-. 大学コンソーシアム八王子 第12回夏休み子どもいちょう塾. 八王子市. 2021年7月17-18日.

長谷川 瑠美

講 演

- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: マウス下垂体前葉におけるCD9/CD81/SOX2陽性細胞の同定と幹細胞性

の解析. 第94回日本内分泌学会学術総会. オンライン. 2021年4月22日-24日.

- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: ラット下垂体中葉側Marginal Cell LayerにおけるCD9/CD81/S100β/SOX2陽性細胞の機能. 第34回日本下垂体研究会学術集会. オンライン. 2021年8月19-21日.
- 筒井優人, 平嶋遥, 長谷川瑠美, 瀧上周, 堀口幸太郎: ラット下垂体中葉側Marginal Cell LayerにおけるCD9/CD81/S100β/SOX2陽性細胞の機能. 第34回日本下垂体研究会学術集会. オンライン. 2021年8月20日.
- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: 妊娠, 泌乳期におけるラット下垂体前葉内プロラクチン産生細胞の増殖機構の解明. 第114回日本繁殖生物学会学術集会. オンライン. 2021年9月24日.
- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: ラット下垂体中葉側Marginal Cell Layer細胞からのホルモン産生細胞供給の可能性. 第47回日本神経内分泌学会学術集会. オンライン. 2021年10月30日.
- 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周: マウス下垂体前葉におけるCD9/CD81/SOX2陽性細胞の組織幹細胞性. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日.
- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: ラット下垂体中葉側Marginal Cell Layerの組織幹細胞は前葉側へ移動し, ホルモン産生細胞供給を担う. 第127回日本解剖学会学術集会. オンライン. 2022年3月27-29日.

論文

- Horiguchi K, Fujiwara K¹, Takeda Y², Nakakura T³, Tsukada T⁴, Yoshida S⁵, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S (¹Kanagawa University, ²Osaka University, ³Teikyo University, ⁴Toho University, The Jikei University): CD9-positive cells in the intermediate lobe of the pituitary gland are important supplier for prolactin-producing cells in the anterior lobe. *Cell Tissue Res.* 385(3). 713-726. 2021.
- Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T², Nakakura T³, Yoshida S⁴, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S (¹Kanagawa University, ²Toho University, ³Teikyo University, ⁴The Jikei University): CD9-positive cells in the intermediate lobe migrate into the anterior lobe to supply endocrine cells. *Histochem Cell Biol.* 156(4). 301-313. 2021.

原島 敬一郎

講演

- 芝崎翔平, 岸野智則, 砂原さくら, 横山智美, 原島敬一郎, 中島哲, 川村直弘, 森秀明, 大西宏明, 渡邊卓: 健康若年女性における夕方の生理的下腿浮腫について. 日本超音波医学会第94回学術集会. 神戸・オンライン. 2021年5月23日.
- 今井由季, 原島敬一郎, 今井美怜, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pで血管内皮機能を評価する—AYA-P脈波高とRHIの関係—. 第20回日本血管血流学会学術集会. オンライン. 2021年10月31日.

- 小岩龍盛, 原島敬一郎, 市川大暉, 平山健心, 石黒隆, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pを使用して安定したPWVを測定する—適切なサンプリング周波数の模索とデジタルフィルタの有用性—. 第20回日本血管血流学会学術集会. オンライン. 2021年10月31日.
- 刈本歩花, 原島敬一郎, 蒲傘田采音, 奥山祐美, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 僧帽筋の硬さと灌流する血液の男女比較—肩こりの性差解明に向けて—. 第20回日本血管血流学会学術集会. オンライン. 2021年10月31日.
- 市川大暉, 原島敬一郎, 小岩龍盛, 平山健心, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pを用いた総合的血管機能評価装置の開発—適切なサンプリング周波数の決定とアーチファクト除去用デジタルフィルタの作成—. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20-29日.
- 奥山祐美, 芝崎翔平, 刈本歩花, 蒲傘田采音, 原島敬一郎, 中島哲, 岸野智則: 僧帽筋の硬さと血流の関係—肩こりの病態や性差の解明に向けて—. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20-29日.

論文

- Nakao H, Kashiwakura C, Shibasaki S, Harashima K, Nakajima S, Ohnishi H¹, Watanabe T¹, Kishino T (¹Faculty of Medicine): Possible effects of short rest after lunch on hemodynamics in the afternoon. *Eur J Appl Physiol.* 122 (2). 523-530. 2022.

米谷 正太

講演

- 高木愛美, 米谷正太, 井田陽子, 奥山貴洋, 平尾千尋, 荒木光二, 関口久美子, 松本竹久: グルタミン依存性*Escherichia coli*が検出された1例. 第70回日本医学検査学会. オンライン. 2021年5月15日.
- 米谷正太: パネルディスカッション5培養同定検査の深化と進化—一般細菌培養同定検査の深化 培養・同定検査の温故知新—. 第70回日本医学検査学会. オンライン. 2021年5月15日.
- 米谷正太: やさしく学ぼう! 菌の基礎知識 プドウ球菌・腸球菌. 東京都臨床検査学会 微生物検査研究班研修会. オンライン. 2021年5月21日.
- 本間慎太郎, 米谷正太, 井田陽子, 荒木光二, 大西宏明: *Candida rugosa*によるカテーテル関連血流感染症の1例. 第71回日本感染症学会東日本地方会学術集会. 東京. 2021年10月27日.
- 米谷正太: 検査後プロセスに繋げる適度な同定検査. 令和3年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部臨床微生物部門研修会. オンライン. 2021年11月13日.
- 米谷正太: 血液培養からの*Staphylococcus argenteus*の検出状況. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日.
- 鈴木美音, 高木愛美, 堀口彩花, 平尾千尋, 本間慎太郎, 奥山貴洋, 井田陽子, 米谷正太, 荒木光二, 関口久美子, 大西宏明: *Purpureocillium lilacinum*による角膜真菌症の一例. 第33回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 宮城・オンライン. 2021年11月13日.
- Yonetani S: Toward the use of MALDI-TOF MS for diagnosis and treatment of infectious diseases. The Future and Past Topics at KSCM and JSCM

Joint Symposium. Miyagi・Online. January28th. 2022.

9. 米谷正太, 下田真史, 皿谷健: "第6感"が診断に結びついた縦隔リンパ節腫大を主訴に多彩な症状を呈した1例. 第33回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 宮城・オンライン. 2022年1月29日.

論 文

1. Sano A¹, Nishi Y², Yonetani S, Yoshida H³, Kawai H³, Homma S⁴, Araki K⁴, Ida Y⁴, Makino H⁴, Kurai D¹, Kawai S¹ (¹Department of General Medicine and Infectious Diseases, Kyorin University School of Medical, ² Division of Medical Security and Patient Safety, Infection Control Room, ³Department of Pharmacy, Kyorin University Hospital, ⁴ Department of Clinical Laboratory, Kyorin University Hospital): Clinical Surveillance of Candidemia at Our Hospital. *Med Mycol J.*62(2). 29-34. 2021.
2. Yonetani S, Hirao C¹, Ohnishi H² (¹Department of Clinical Laboratory, Kyorin University School of Medicine, ²Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine) : Background of patients with *Aerococcus* spp. detected in blood cultures, and drug sensitivity of *Aerococcus* spp. *Diagn Microbiol Infect Dis.* 101(3).115506. 2021.
3. Okuyama T¹, Ohtsuka K^{1,2}, Ogura W¹, Yonetani S, Yamasaki S^{1,2}, Miyagi H¹, Sekiguchi K¹, Ohnishi H^{1,2}, Watanabe T^{1,2} : (¹Department of Clinical Laboratory, Kyorin University School of Medicine, ²Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine) : Establishing an internal quality control method for the stable extraction of nucleic acids of severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 and RT-PCR-based detection. *J Clin Lab Anal.* 35(11).e23998. 2021.
4. 井田陽子¹, 荒木光二¹, 米谷正太, 奥山貴洋¹, 高木愛美¹, 平尾千尋¹, 本間慎太郎¹, 小倉航¹, 鈴木美音¹, 伊藤彩花¹, 堀口彩花¹, 関口久美子¹, 大西宏明^{1,2} (¹杏林大学医学部付属病院・臨床検査部, ²杏林大・医・臨床検査医学) : 血液培養から *Desulfovibrio* 属が分離された8症例. *日臨微誌.* 32 (1) . 38-43. 2021.
5. 米谷正太: やさしく学ぼう! 菌の基礎知識 ブドウ球菌・腸球菌. *東京都医学検査誌.* 49 (3) .167-171. 2021.

著 書

1. 米谷正太 (分担執筆) : 【感染症検査の diagnostic stewardship(DS:診断支援)の実践-より適切な微生物検査の実現に向けて】特殊病原体の検査からみた DS 真菌. *臨床と微生物*48巻増刊号. 近代出版. 2021年. 358-359.
2. 米谷正太 (分担執筆) : 荚膜染色. 染色法の全て. 水口國雄編集. 医歯薬出版. 2021. 140-145.

報告書

1. 米谷正太: 二級試験 (微生物学) 2021年試験講評・合格率. 日本臨床検査同学院「通信」.

上田 真樹子

講 演

1. 相磯聡子, 上田真樹子: リアルタイムPCR法を用いた高コピー数多型の解析. 日本臨床検査医学会第68回学術集会. 富山・オンライン. 2021年11月11日-14日.

報告書

1. 上田真樹子: 分泌miR-1246 isoformの腫瘍微小環境における役割. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 2021年度研究実施状況報告書.

小原 映

講 演

1. 浅野妃南, 石井さなえ, 小原映, 島田厚良: 鼻腔炎症急性期における脳と末梢の相互作用. 日本味と匂学会第55回大会. 福岡・オンライン. 2021年9月21-24日.
2. 島田厚良, 村田麻喜子, 小原映: 敗血症関連脳症におけるアストロサイト主導のミクログリア活性化機構. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日-29日.
3. 浅野妃南, 石井さなえ, 小原映, 島田厚良: 鼻腔炎症に伴う免疫細胞と脳細胞の相互作用. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日-29日.

論 文

1. 小原映: 血漿中における主要なEquol抱合代謝物の分析と課題. *杏林医学会雑誌.* Vol.52(3). 115-120. 2021.
2. Hama S¹, Kirimura N², Obara A, Takatsu H, Kogure K³ (¹Musashino University, ²Kyoto Pharmaceutical University, ³Tokushima University): Tocopheryl phosphate inhibits rheumatoid arthritis-related gene expression in vitro and ameliorates arthritic symptoms in mice. *Molecules.* 27(4). 2022. doi:10.3390/molecules27041425.

芝崎 翔平

講 演

1. 芝崎翔平, 岸野智則, 砂原さくら, 横山智美, 原島敬一郎, 中島哲, 川村直弘, 森秀明, 大西宏明, 渡邊卓: 健康若年女性における夕方の生理的右腿浮腫について. 日本超音波医学会第94回学術集会. 神戸・オンライン. 2021年5月23日.
2. 今井由季, 原島敬一郎, 今井美怜, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pで血管内皮機能を評価するーAYA-P脈波高とRHIの関係ー. 第20回日本血管血流学会学術集会. オンライン. 2021年10月31日.
3. 小岩龍盛, 原島敬一郎, 市川大暉, 平山健心, 石黒隆, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pを使用して安定したPWVを測定するー適切なサンプリング周波数の模索とデジタルフィルタの有用性ー. 第20回日本血管血流学会学術集会. オンライン. 2021年10月31日.
4. 刈本歩花, 原島敬一郎, 蒲牟田采音, 奥山祐美, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 僧帽筋の硬さと灌流する血液の男女比較ー肩こりの性差解明に向けてー. 第20回日本血管血流学会学術集会. オンライン. 2021年10月31日.
5. 市川大暉, 原島敬一郎, 小岩龍盛, 平山健心, 芝崎翔

平, 中島哲, 岸野智則: 超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pを用いた総合的血管機能評価装置の開発ー適切なサンプリング周波数の決定とアーチファクト除去用デジタルフィルタの作成ー. 第50回杏林医学学会総会. オンライン. 2021年11月20-29日.

6. 奥山祐美, 芝崎翔平, 刈本歩花, 蒲傘田采音, 原島敬一郎, 中島哲, 岸野智則: 僧帽筋の硬さと血流の関係ー肩こりの病態や性差の解明に向けてー. 第50回杏林医学学会総会. オンライン. 2021年11月20-29日.

論 文

1. Nakao H, Kashiwakura C, Shibasaki S, Harashima K, Nakajima S, Ohnishi H¹, Watanabe T¹, Kishino T (Faculty of Medicine): Possible effects of short rest after lunch on hemodynamics in the afternoon. Eur J Appl Physiol. 122 (2). 523-530. 2022.

その他

1. 芝崎翔平: 第10回杏林医学会研究奨励賞受賞報告. 杏林医会誌. 52. s33-34. 2021.

橋本 晃生

論 文

1. Hashimoto K, Tateno H¹ (Hadano, Kanagawa): Holarctic canthariphilous biting midge *Atrichopogon lucorum* (Meigen, 1818) (Diptera: Ceratopogonidae) in Japan. Orient Insects. 2022. DOI: 10.1080/00305316.2021.2023680.
2. 橋本晃生: 砂地環境に棲むイッカク類の形態と行動 (甲虫目: アリモドキ科). 昆虫と自然. 57(2). 33-35. 2022.

● 健康福祉学科 ●

加藤 雅江

講 演

1. 加藤雅江: ソーシャルワーク研修2020 ~知識や技術を高めよう~. 日本精神保健福祉士協会 社会保障研修. オンライン. 2021年4月4日.
2. 加藤雅江: 子ども虐待にソーシャルワークを活用する. 地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟勉強会. 東京. 2021年4月20日.
3. 加藤雅江: メンタルヘルスについて. 調布市職員研修. 調布市. 2021年7月6日.
4. 加藤雅江: 子どもの虐待について. 東京都民生児童委員連合会研修. 東京. 2021年9月16日.
5. 加藤雅江: 子どもの子ども虐待防止. 東京都精神保健福祉士協会 専門職研修. オンライン. 2021年10月3日.
6. 加藤雅江: 子どもたちを取り巻く現状. 連合東京三多摩ブロック研修. 立川市. 2021年10月4日.
7. 加藤雅江: ゲートキーパー養成研修応用編. 羽村市職員研修自殺対策研修. 羽村市. 2021年10月21日.
8. 加藤雅江: ゲートキーパー養成研修応用編. 羽村市職員研修自殺対策研修. 羽村市. 2021年11月9日.
9. 加藤雅江: メールによる相談援助. 日本精神保健福祉士協会専門職研修. オンライン. 2021年10月24日.

10. 加藤雅江: 相談援助の方法. 国立科学保健院難病相談支援員研修. オンライン. 2021年10月25日.
11. 加藤雅江: 子どもにとって居場所とは~孤立と虐待を生まない地域作りのために~「助けてが言える地域とは」~地域に居るからこそできること~. 南アルプス市. 2021年11月6日.
12. 加藤雅江: 子どもの虐待について考える. 宮城県精神保健福祉士協会専門職研修. オンライン. 2021年11月11日.
13. 加藤雅江: 子どもの虐待防止のために. 千葉県児童相談所専門職研修. オンライン. 2021年11月18日.
14. 加藤雅江: 子どもの虐待とヤングケアラー. 羽村市市民公開講座. 羽村市. 2021年11月30日.
15. 加藤雅江: 子どもの虐待について. 世田谷区児童相談所職員研修. 東京. 2021年12月2日.
16. 加藤雅江: 家庭内で起きる暴力を未然に防ぐ~ソーシャルワークを支援に活かして~. 福井県精神保健福祉士協会 子どもの虐待防止研修 専門職研修. オンライン. 2022年1月8日.
17. 加藤雅江: 現代の子供・家庭の現状を知り精神保健福祉の役割を考える~子どもが子どもであるために~. 宮城県精神保健福祉士協会 子どもの虐待防止研修 専門職研修. オンライン. 2022年1月9日.
18. 加藤雅江: メールによる相談援助. 日本精神保健福祉士協会専門職研修. オンライン. 2022年1月10日.
19. 加藤雅江: ヤングケアラーについて. 磯子区役所職員専門職研修. 横浜市. 2022年1月17日.
20. 加藤雅江: ヤングケアラーについて. 南アルプス市市民講座. オンライン. 2022年2月1日.
21. 加藤雅江: ヤングケアラーについて. 東京都民生委員児童委員連合研修. 東京. 2022年2月8日.
22. 加藤雅江: ヤングケアラーについて. 葛飾区専門職研修. オンライン. 2022年2月21日.
23. 加藤雅江: 子供の虐待 ソーシャルワーカーの視点を活かすために. 滋賀県精神保健福祉協会研修子どもの虐待防止研修 専門職研修. オンライン. 2022年2月23日.
24. 加藤雅江: ヤングケアラーについて. 山口県下関市機関支援事業所専門職研修. オンライン. 2022年3月5日.
25. 加藤雅江: 居場所について. NPO法人ライフリンク研修. オンライン. 2022年3月19日.

著 書

1. 加藤雅江(分担執筆): 第2章医療ソーシャルワーカーのこれからのロールモデル 1・自殺未遂者支援・子ども虐待防止の活動から地域を視野に. 地方包括ケア時代の医療ソーシャルワーク実践テキスト. 日本医療ソーシャルワーク学会 編集. 日総研. 2021. 202-204.

報告書

1. 加藤雅江, 古本泰之, 小林賢子, 前野聡子: 子育てにおける地域内での「つながり」構築に向けた実践研究. 杏林CCRC指定研究. 令和3年度CCRC指定研究申請書活動報告書.

その他

新聞掲載

1. 加藤雅江: コロナ禍での若者のこころも不安定に. 東京新聞. 2021年8月29日.
2. 加藤雅江: ヤングケアラーについて. 山梨日日新聞. 2021年3月6日.

メディア出演

1. 加藤雅江：コロナ禍の若者支援．日本テレビNews every2022年9月9日．
2. 加藤雅江：ヤングケアラーたちのSOS．NHK首都圏ナビ．2021年12月9日．
3. 加藤雅江：過量服薬についてのコメント．NHK首都圏ナビ．オンライン．2022年2月4日．
4. 加藤雅江：過量服薬について．NHK首都圏ナビ．2022年3月17日．

出嶋 靖志

講演

1. 掛谷和美，藤田千春，出嶋靖志：経済連携協定による外国人看護師候補者への教育支援－看護における習熟の程度と教育支援育支援との関連－．第86回日本健康学会総会．オンライン．2021年11月13日-14日．

著書

1. 出嶋靖志（共著）：第4章環境と健康．衛生学・公衆衛生学第2版第18刷．東洋療法学校協会編．医歯薬出版．2022年p.75-133．
2. 出嶋靖志（共著）：第10章消毒法．衛生学・公衆衛生学第2版第18刷．東洋療法学校協会編．医歯薬出版．2022年p.227-246．

照屋 浩司

講演

1. 下島裕美，照屋浩司：コロナ禍による生活意識の変化－性別の年代毎の違い－．日本発達心理学会第33回大会．オンライン．2022年3月1日．
2. 下島裕美，照屋浩司：バランスの取れた時間的展望と受診意図．日本認知心理学会第19回大会．オンライン．2022年3月7日．

論文

1. Ito Y, Teruya K, Nakajima E: Evaluation of pain severity in critically ill patients on mechanical ventilation. *Intensive and Critical Care Nursing*. 68. 103118. 2022.
2. Shimoyama H, Sugiyama M, Suzuki Y, Teruya K, Ohki A, Kishiki T, Takeuchi H, Sakamoto Y, Sunami E, Abe N: Bilateral flank compression maneuver for reducing pain on coughing after abdominal surgery: A prospective study. *Journal of the American College of Surgeons*. 233(3).459-466.e6. 2021.
3. Jinno M, Nagai R, Takeuchi M, Watanabe A, Teruya K, Sugawa H, Hatakeyama N, Jinno Y: Trapa bispinosa Roxb. extract lowers advanced glycation end-products and increases live births in older patients with assisted reproductive technology: a randomized controlled trial. *Reproductive Biology and Endocrinology*. 19(1). 149. 2021.
4. Okayama K, Sasagawa T, Teruya K, Oda M, Fujii M, Kimura H, Okodo M: Profiles of Human Papillomavirus Detection of the Multinucleated Cells in Cervical Smears. *Microorganisms*. 9(8).

1575. 2021.

5. Kojima K, Goto M, Nagashima Y, Saito Y, Kawai M, Takebe S, Egawa A, Tanba M, Ishikawa K, Matsuoka H, Masaki T, Sunami E, Ohura N, Teruya K, Eto K, Nozawa K, Sakamoto K, Funahashi K: Effectiveness of negative pressure wound therapy for the wound of ileostomy closure: a multicenter, phase II randomized controlled trial. *BMC surgery*. 21(1). 442. 2021.
6. Matsuda K, Teruya K, Uemura O: Urodynamic effect of vibegron on neurogenic lower urinary tract dysfunction in individuals with spinal cord injury: A retrospective study. *Spinal Cord*. 2022. 60(8). 716-721. Epub.
7. 下島裕美，照屋浩司：エンディングノートに必要な項目の性差について．東京通信大学紀要．4. 209-219. 2022.
8. 下島裕美，照屋浩司：都市部居住者の排尿に関する問題のWeb調査．東京通信大学紀要．4. 249-260. 2022.

著書

1. 照屋浩司（編著）：最新臨床検査学講座 公衆衛生学 2022年版．医歯薬出版．2022．
2. 照屋浩司（分担、翻訳）：PART V 高齢者の健康 第13部 高齢化 95 罹患率・障害・死亡率．女性と健康の百科事典．女性と健康の百科事典翻訳刊行編集委員会編．丸善出版．2022. 1403-1416.
3. 照屋浩司（分担）：エッセンシャル社会・環境と健康 第2版第12刷，東京，医歯薬出版，2022.

岡本 博照

著書

1. 岡本博照（分担翻訳）：47章アルコールは女性の健康問題である．女性と健康の百科事典．女性と健康の百科事典翻訳刊行委員会．丸善出版．2022年．p713-722.
2. 岡本博照（分担執筆）：エビデンスに基づく保健対策．エッセンシャル 社会・環境と健康 第2版第12刷．高島豊，櫻井裕 編集．医歯薬出版．2022年．p92-96.
3. 岡本博照（分担執筆）：飲酒行動．エッセンシャル 社会・環境と健康 第2版第12刷．高島豊，櫻井裕 編集．医歯薬出版．2022年．p125-129.

堀口 幸太郎

講演

1. 堀口幸太郎，藤原研，塚田岳大，中倉敬，吉田彩舟，長谷川瑠美，瀧上周，大迫俊二：マウス下垂体前葉におけるCD9/CD81/SOX2陽性細胞の同定と幹細胞性の解析．第94回日本内分泌学会学術総会．オンライン．2021年4月22日-24日．
2. 堀口幸太郎，藤原研，塚田岳大，中倉敬，吉田彩舟，長谷川瑠美，瀧上周：ラット下垂体中葉側Marginal Cell LayerにおけるCD9/CD81/S1008/SOX2陽性細胞の機能．第34回日本下垂体研究会学術集会．オンライン．2021年8月19-21日．
3. 筒井優人，平嶋遥，長谷川瑠美，瀧上周，堀口幸太郎：ラット下垂体中葉側Marginal Cell LayerにおけるCD9/CD81/S1008/SOX2陽性細胞の機能．第34回日本下垂体研究会学術集会．オンライン．2021年8月20

日。

- 藤原研, 伊澤和人, 藤原葉子, 堀口幸太郎, 塚田岳大, 小林純子, 大野伸彦: ラット及びマウスの濾胞星状細胞の新規マーカー分子の同定. 第34回日本下垂体研究会学術集会. オンライン. 2021年8月20日.
- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: 妊娠、泌乳期におけるラット下垂体前葉内プロラクチン産生細胞の増殖機構の解明. 第114回日本繁殖生物学会学術集会. オンライン. 2021年9月24日.
- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: ラット下垂体中葉側Marginal Cell Layer細胞からのホルモン産生細胞供給の可能性. 第47回日本神経内分泌学会学術集会. オンライン. 2021年10月30日.
- 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周: マウス下垂体前葉におけるCD9/CD81/SOX2陽性細胞の組織幹細胞性. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日.
- 堀口幸太郎, 藤原研, 塚田岳大, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周: ラット下垂体中葉側Marginal Cell Layerの組織幹細胞は前葉側へ移動し、ホルモン産生細胞供給を担う. 第127回日本解剖学会学術集会. オンライン. 2022年3月27-29日.

論文

- Nakakura T¹, Suzuki T², Horiguchi K, Tanaka H¹, Arisawa K¹, Miyashita T¹, Nekooki-Machida Y¹, Hagiwara H¹ (Teikyo University, Sapporo Medical University): Fibronectin-integrin signaling regulates PLVAP localization at endothelial fenestrae by microtubule stabilization. *Cell Tissue Res.* 384(2). 449-463. 2021.
- Horiguchi K, Fujiwara K¹, Takeda Y², Nakakura T³, Tsukada T⁴, Yoshida S⁵, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S (Kanagawa University, Osaka University, Teikyo University, Toho University, The Jikei University): CD9-positive cells in the intermediate lobe of the pituitary gland are important supplier for prolactin-producing cells in the anterior lobe. *Cell Tissue Res.* 385(3). 713-726. 2021.0-5
- Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T², Nakakura T³, Yoshida S⁴, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S (Kanagawa University, Toho University, Teikyo University, The Jikei University): CD9-positive cells in the intermediate lobe migrate into the anterior lobe to supply endocrine cells. *Histochem Cell Biol.* 156(4). 301-313. 2021.

その他

受賞

- 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周: マウス下垂体前葉におけるCD9/CD81/SOX2陽性細胞の組織幹細胞性. 第50回杏林医学会総会優秀発表賞. オンライン. 2021年11月20日.

荻津 真理子

講演

- 湯原裕子, 砂村京子, 工藤宣子, 荻津真理子, 新谷敦子: 保健室休養中の子どもに対する養護教諭の行動

とその意図に関する研究. 日本学校救急看護学会第16回学術集会. オンライン. 2021年11月21日.

- 関健介, 高橋朋子, 荻津真理子, 稲垣尚美, 湯原裕子, 渡辺美恵, 妻鹿智晃, 藤嶋祥子, 砂村京子: 学校救急看護のコアコンピテンシーの検討-第3報-. 日本学校救急看護学会第16回学術集会. オンライン. 2021年11月21日.

論文

- 関健介¹, 高橋朋子², 荻津真理子³, 稲垣尚美³, 湯原裕子⁴, 渡辺美恵⁵, 妻鹿智晃⁶, 藤嶋祥子⁷, 砂村京子⁸ (杏林大学保健学部診療放射線技術学科, 養護実践研究センター, 湘南医療大学, 聖徳大学, 愛知みずほ短期大学, 帝京短期大学, 大和郡山市立郡山南中学校, 東京医療保健大学): 学校救急看護のコアコンピテンシーの検討-第3報-. 学校救急看護研究. 15(1). 46-57. 2022.

その他

- 荻津真理子: 日本学校救急看護学会第16回学術集会主催. オンライン. 2021年11月21日.

関澤 浩一

論文

- 関澤浩一, 渡辺恵, 張替克美, 佐々木裕子¹, 楠田美奈¹, 亀崎路子¹ (杏林大・保・看護学科看護養護教育学専攻): 2020年度のCOVID-19蔓延下における学校インターンシップ・プログラムの中止とボランティア活動~杏林大学保健学部・健康福祉学科および看護学科看護養護教育学専攻に所属する学生を対象に~. 杏林大学教職課程年報. 第9号. 49-59. 2022.
- 関澤浩一, 照屋浩司: 学校保健や教職教養に関する知識の定着度についての報告~杏林大学保健学部・健康福祉学科において~. 杏林大学教職課程年報. 第9号. 61-70. 2022.

渡辺 恵

論文

- 渡辺恵, 朝野聡, 張替克美: 「総合的な学習の時間の指導法」における学生の学習課題を考える-教職志望学生へのアンケート及びワークシート回答をもとに-. 杏林大学教職課程年報. 第9号. 21-33. 2022.
- 関澤浩一, 渡辺恵, 張替克美, 佐々木裕子¹, 楠田美奈¹, 亀崎路子¹ (杏林大学・保・看護学科看護養護教育学専攻): 2020年度のCOVID-19蔓延下における学校インターンシップ・プログラムの中止とボランティア活動. 杏林大学教職課程年報. 第9号. 49-59. 2022.

井上 敦

論文

- 井上敦: 関係的発想からのケア論-N・ノディングズのケア論を手がかりとして-. 人間福祉学会誌. 21(2). 49-57. 2021.

津田 美智子

講演

1. 菊地亜矢子, 門間貴史, 小澤咲子, 土田ももこ, 津田美智子, 染谷典子, 武田文: 肥満の有無別にみた飲酒習慣とメタボリックシンドローム構成因子の保有との関連. 第94回日本産業衛生学会. 長野・オンライン. 2021年5月18日-30日.
2. 染谷典子, 門間貴史, 小澤咲子, 土田ももこ, 津田美智子, 菊地亜矢子, 武田文: 女性労働者の年齢層別にみたポジティブメンタルヘルスと職業性ストレスの関連. 第94回日本産業衛生学会. 長野・オンライン. 2021年5月18日-30日.
3. 染谷典子, 小澤咲子, 門間貴史, 土田ももこ, 菊地亜矢子, 津田美智子, 武田文: 女性労働者の年齢層別に見たメンタルヘルスと生活習慣・体重変化との関係. 第80回日本公衆衛生学会総会. 東京・オンライン. 2021年12月21日-3月14日.

論文

1. Kikuchi A¹, Monma T², Ozawa S¹, Tsuchida M¹, Tsuda M, Takeda F² (¹University of Tsukuba Graduate School of Comprehensive Human Sciences, ²University of Tsukuba.): Risk factors for multiple metabolic syndrome components in obese and non-obese Japanese individuals. *Preventive Medicine*.153. 106855. 2021.

著書

1. 津田美智子 (分担執筆): 第111回看護師国家試験対策 Pre Test 111-1st. M3Education株式会社. 2021. p.182, 183, 223, 228.
2. 津田美智子 (分担執筆): 第111回看護師国家試験対策 Pre Test 111-2nd. M3Education株式会社. 2021. p.315, 322, 361, 513.
3. 津田美智子 (分担執筆): 第111回看護師国家試験対策 Pre Test 111-3rd. M3Education株式会社. 2021. p.574, 583, 596, 643, 745.
4. 津田美智子 (分担執筆): 第111回看護師国家試験対策必修スピードテスト. M3Education株式会社. 2021. p.5, 37, 43, 46, 50, 53, 75, 94, 95, 101, 103, 108, 159, 163, 164.

平澤 愛

講演

1. Hirasawa A, Hirabuki K, Hata N, Suda T, Sano Y, Suzuki R, Fukuie M, Uechi T, Matsuda T, Sugawara J, Shibata S: Cerebral Blood Flow Responses to Severe Low Body Negative Pressure in Fit and Unfit. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. Online. June 1-5. 2021.
2. Hirabuki K, Hata N, Fukuie M, Suzuki R, Suda T, Uechi T, Hirasawa A, Sugawara J, Matsuda T, Shibata S: Relationship between athlete's heart and blunted left ventricular untwist during orthostasis. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. Online. June 1-5. 2021.
3. Suzuki R, Hirabuki K, Hata N, Fukuie M, Suda T, Uechi T, Hirasawa A, Sugawara J, Matsuda T, Shibata S: Difference between fit vs. unfit in heart rate and peripheral vascular resistance incrementation against the graded lower body

negative pressure. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. Online. June 1-5. 2021.

4. Hata N, Suzuki R, Hirabuki K, Uechi T, Hirasawa A, Matsuda T, Shibata S: Cardiac function during long-term aerobic exercise in healthy adults evaluated with 3-dimensional echocardiography. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. Online. June 1-5. 2021.
5. Matsushima S, Hirasawa A, Suzuki R, Murata H, Kimura M, Shibata S: Cardiovascular and Metabolic Response During Aerobic Exercise Using Electrical Muscle Stimulation Combined with Passive Cycle-ergometer. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. Online. June 1-5. 2021.
6. Murata H, Matsushima S, Hirasawa A, Suzuki R, Kimura M, Shibata S: Effects of neuromuscular stimulation on cerebral blood flow in healthy male adults. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. Online. June 1-5. 2021.
7. 平澤愛: 持久性トレーニングによる心機能変化～陸上と水中運動の違い～. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月18日.
8. 村田裕康, 松嶋真哉, 平澤愛, 鈴木里奈, 木村雅彦, 柴田茂貴: 健康成人男性における神経筋電気刺激療法が脳血流へ及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
9. 松嶋真哉, 平澤愛, 鈴木里奈, 村田裕康, 木村雅彦, 柴田茂貴: 神経筋電気刺激と他動的エルゴメーターの併用が健康成人の代謝反応と血行動態に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
10. 平吹一訓, 畑典孝, 福家真理那, 鈴木里奈, 須田智也, 植地貴弘, 平澤愛, 松田剛明, 菅原順, 柴田茂貴: 起立負荷に対する左室ほどけ運動加速の鈍化とスポーツ心臓との関係. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
11. 尾崎亮介, 大橋太郎, 善波雄一郎, 平光諒義, 山際紗葉, 鈴木里奈, 平澤愛, 柴田茂貴: 等尺性筋力トレーニングが起立時の血圧と脳血流維持に与える影響. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
12. 鈴木里奈, 松村憲, 村田裕康, 平澤愛, 八巻明子, 柴田茂貴: 抗酸化物質投与量の違いが運動の引き起こす酸化ストレス及び抗酸化力に与える影響. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
13. 平澤愛: バランスボールを使ったエクササイズ: ストレッチングから筋力トレーニングまで. 鶴ヶ島講習会. 鶴ヶ島市. 2022年3月5日.

論文

1. Watanabe H¹, Washio T¹, Saito S¹, Hirasawa A, Suzuki R, Shibata S, Brothers M², Ogoh S¹ (¹Toyo University, ²University of Texas at Arlington): Validity of transcranial Doppler ultrasonography-determined dynamic cerebral autoregulation estimated using transfer function analysis. *J Clin Monit Comput*. DOI: 10.1007/s10877-022-00817-1. Online ahead of print.
2. Shibata S¹, Hirabuki K¹, Hata N¹, Suzuki R¹, Suda T¹, Uechi T¹, Hirasawa A (¹Emergency Department, Kyorin University Hospital): Pivotal Role of Heart for Orthostasis: Left Ventricular Untwisting Mechanics and Physical Fitness. *Exerc*

布田 和恵

著 書

1. 布田和恵（分担執筆）：こころとからだのしくみ．2021年度介護福祉士全国統一模擬試験（第1回・第2回）．介護福祉士国家試験対策研究会編．中央法規オンラインショップe-books．2021．
2. 布田和恵（分担執筆）：人体の構造と機能及び疾病．M3エデュケーション第34回社会福祉士模擬試験解説書．株式会社M3エデュケーション．
3. 布田和恵（分担執筆）：発達と老化のしくみ・認知症の理解・こころとからだのしくみ（第1回基礎編）．TECOM第34回全国統一総合模擬試験解説書．株式会社M3エデュケーション．
4. 布田和恵（分担執筆）：発達と老化のしくみ・こころとからだのしくみ（第2回応用編）．M3エデュケーション第33回全国統一総合模擬試験解説書．株式会社M3エデュケーション．

● 救急救命学科 ●

榊井 武彦

論 文

1. Yamamoto R, Tarui T, Otomo Y, et. al: Hyperoxemia during resuscitation of trauma patients and increased intensive care unit length of stay: inverse probability of treatment weighting analysis. World J Emerg Surg. 16(1).19. 2021.
2. Wada T, Tarui T, Otomo Y, et. al: Disseminated intravascular coagulation immediately after trauma predicts a poor prognosis in severely injured patients. Sci Rep. 11(1). 11031. 2021.
3. Fujishima S, Tarui T, Umemura Y, et.al: Incidence and Impact of Dysglycemia in Patients with Sepsis Under Moderate Glycemic Control. Shock. 56(4). 507-513. 2021.
4. Umemura Y, Tarui T, Gando S, et. al: Hour-1 bundle adherence was associated with reduction of in-hospital mortality among patients with sepsis in Japan. PLoS One. 17(2). e0263936. 2022.

松岡 弘芳

論 文

1. 松岡弘芳, 安野正道, 高橋慶一, 他 : Low anterior resection syndromeに関する実態調査. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74. 430-437. 2021.
2. Masaki T, Matsuoka H, Kishiki T, Kojima K, Tonari A, Aso N, Beniya A, Iioka A, Wakamatsu T, Sunami E: Site-specific risk factors for local recurrence after rectal cancer. Surg Oncol. 37. 101540. 2021.
3. Kojima K, Goto M, Nagashima Y, Saito Y, Kawai

M, Takebe S, Egawa A, Tanba M, Ishikawa K, Matsuoka H, Masaki T, Sunami E, Ohura N, Teruya K, Eto K, Nozawa K, Sakamoto K, Funahashi K: Effectiveness of negative pressure wound therapy for the wound of ileostomy closure: a multicenter, phase II randomized controlled trial. BMC Surg. 21(1). 442. 2021.

山田 賢治

講 演

1. 吉澤貴弘, 関谷繁樹, 山田賢治, 林進, 西村圭司 : Double fractureを有するBarton型橈骨遠位端骨折に対する遠位設置型プレートの有効性. 第64回日本手外科学会学術集会. 長崎市・オンライン. 2021年5月18日-6月18日.
2. 山田賢治, 関谷繁樹, 吉澤貴弘, 佐藤文香, 林進, 松村譲児, 長瀬美樹: 稀な長母指伸筋腱の走行変異がみられた4症例. 第64回日本手外科学会学術集会. 長崎市・オンライン. 2021年5月18日-6月18日.
3. 村田卓也, 山田賢治, 田端健二, 海田賢彦, 山口芳裕 : 携帯型サーモグラフィカメラを用いた救急傷病者における体温測定の有用性の検討. 第24回日本臨床救急医学会総会・学術集会. オンライン. 2021年6月10日-7月31日.
4. 小埜智志, 吉川慧, 荻野聡之, 海田賢彦, 山田賢治, 山口芳裕 : チザニジン塩酸塩の過量内服により意識障害が遷延した一例. 第43回日本中毒学会学術集会. オンライン. 2021年10月15日-10月31日.
5. 山田賢治, 宮方基之, 山口芳裕, 丹羽正利, 島田厚良, 長瀬美樹, 松村譲児 : クラッシュ症候群における虚血・再灌注障害予防効果に関する研究 ラット・クラッシュ症候群モデルの確立. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会. 伊勢市・オンライン. 2021年10月15日.
6. 山田賢治, 長瀬美樹, 松村譲児, 持田勇希, 落合剛二, 宮方基之, 海田賢彦, 山口芳裕 : 微小電図法による血管周囲神経活動電位の検出 Sihler染色による解剖体の検討. 第49回日本救急医学会総会・学術集会. 東京. 2021年11月23日.
7. 笹沢俊吉, 海田賢彦, 吉田知礼, 西沢良平, 持田勇希, 宮国泰彦, 井上孝隆, 山田賢治, 山口芳裕 : 東京都母体救命搬送における多診療科・多職種連携中核としての救命センターの役割. 第49回日本救急医学会総会・学術集会. 東京. 2021年11月23日.
8. 持田勇希, 海田賢彦, 落合剛二, 荻野聡之, 宮国泰彦, 井上孝隆, 山田賢治, 山口芳裕 : 容易ではないダブルボードの技能取得・維持における心得とは. 第49回日本救急医学会総会・学術集会. 東京. 2020年11月22日.
9. 吉川慧, 山田賢治, 西沢良平, 加藤聡一郎, 宮国泰彦, 海田賢彦, 山口芳裕 : コロナ禍の高度救命救急センターにおける学生・研修医教育の現状. 第49回日本救急医学会総会・学術集会. 東京. 2021年11月22日.
10. 加藤聡一郎, 落合剛二, 海田賢彦, 山田賢治, 山口芳裕 : 新型コロナウイルス感染症患者の航空医療搬送に向けた東京都の取組と多機関連携. 第49回日本救急医学会総会・学術集会. 東京. 2021年11月23日.
11. 山田賢治, 長瀬美樹, 松村譲児 : 長母指伸筋腱の走行変異についての疫学調査. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日-11月29日.
12. 清水亮介, 吉川慧, 清水裕介, 海田賢彦, 山田賢治,

山口芳裕：敗血症性ショック・DICを呈した日本紅斑熱の1例。第72回日本救急医学会関東地方会学術集会。オンライン。2022年2月26日。

13. 相澤陽太, 西村裕隆, 荻野聡之, 海田賢彦, 山田賢治, 山口芳裕：人工呼吸器管理中に薬物による鎮静状態の維持が困難となった重症多発外傷の一例。第72回日本救急医学会関東地方会学術集会。オンライン。2022年2月26日。
14. 荒谷雄大, 山田賢治, 吉川慧, 清水亮介, 海田賢彦, 山口芳裕, 稲田成作, 小西一斉, 細金直文：病院選定中に急速に呼吸抑制が進行した四肢麻痺の症例。第59回救急隊員学術集会。オンライン。2022年2月26日。
15. 山田賢治, 鈴木準, 田中佑也, 吉川慧, 稲田成作, 海田賢彦, 山口芳裕：携帯型サーモグラフィカメラによる皮膚血流評価の試み。第36回東日本手外科研究会。つくば市・オンライン。2021年3月11日・4月11日。

論文

1. 山田賢治, 関谷繁樹¹, 吉澤貴弘¹, 佐藤文香¹, 林進¹, (¹赤心堂病院整形外科)：稀な長母指伸筋腱の走行変異がみられた3症例。日手会誌。38(4)。546-549。2022。

宮野 収

その他

1. 宮野収：救急業務高度化への道のり(救急特集1 救急救命士法公布から30年を迎えて：先人が築いた道と私たちが乗り越えていく道)。東京消防9月号。2021年。27-33。

井上 孝隆

講演

1. 井上孝隆, 松山正春, 村上美也子, 杉町正光, 登米祐也, 田名毅, 長島公之, 山口芳裕：コロナ禍における避難所運営の課題～「新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」作成から～。第49回日本救急医学会総会・学術集会。東京。2021年11月22日。

著書

1. 井上孝隆(編集協力)：新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル。山口芳裕(編集代表)。へるす出版。2022。

玉田 尚

講演

1. 東條健太郎, 山本夏啓, 玉田尚, 水原敬洋, 阿部美蓉, 後藤隆久：COVID-19によるARDSにおける肺胞上皮細胞死機構と抗DAMPs治療の可能性の検討。第49回日本集中治療医学会学術集会。オンライン。2022年3月19日。

● 看護学科・看護学専攻 ●

基礎看護学研究室

講演

1. 金子多喜子：認定看護管理者教育課程ファーストレベル特別講義「論理的思考」。東京都看護協会。東京。2021年5月18日, 11月5日, 12月16日。
2. 加治美幸：大正期の家庭内看護の様相－婦人雑誌『主婦之友』の内容を中心に－。第35回日本看護歴史学会学術集会。オンライン。2021年8月16日・9月10日。
3. 斉藤茂子, 栗原良子, 金子多喜子：令和3年度新人看護職員教育担当者研修。社会福祉法人恩賜財団済生会。東京。2021年10月20日・21日。
4. 斉藤茂子, 栗原良子, 金子多喜子：令和3年度新人看護職員研修ガイドラインに基づく研修「教育担当者研修」。茨城県看護協会。水戸市。2021年11月2日。
5. 金子多喜子：埼玉県専任教員養成講習会「看護研究」。埼玉県看護協会。さいたま市。2021年11月19日, 11月26日, 12月3日, 12月9日。
6. 中島正世：精神運動発達遅滞児へのニューロフィードバックの実践報告-学童期。臨床ニューロフィードバック協会。オンライン。2022年3月19日。
7. 中島正世：ニューロフィードバック入門, コロナ時代の健康法。さがまちカレッジ公開講座。町田市。2022年3月5日。

論文

1. 加治美幸：横浜軍陣病院の資料を読み解く：資料にみる入退院患者と医療体制。看護歴史研究。11。4-7。2022。
2. 中島正世：看護系大学生のEIを育成するための心理教育プログラムの効果。KYORIN UNIVERSITY JOURNAL。39。117-128。2022。

在宅看護学研究室

論文

1. 熊野奈津美, 安河内彩¹, 森彩花¹, 中保早織²(¹杏林大学医学部付属病院, ²東京女子医科大学病院)：認知症高齢者へ家族介護者が抱くイメージの軌跡に関する文献研究。杏林大学研究報告。39。101-116。2022。

著書

1. 日野徳子(分担執筆)：第4部 各論③：事例で考える生活の場での看護とそのためへの制度, 終末期の看護：がんの看取り・家族へのグリーフケア。看護判断のための気づきとアセスメント地域・在宅看護。岸恵美子, 大木幸子 編集。中央法規。2022。273-279。

その他

1. 日野徳子：訪問看護ステーションとつくりあげるICTを活用した在宅看護実習。照林社看護教員WEBセミナー「これからの臨床現場で活躍する看護師を育てるための授業展開～これからの臨床現場で活躍する看護師を育てるための講義・実習・演習」。オンライン。2021年11月19日・2021年12月27日。

成人看護学研究室

講演

1. Mitsuko Watanabe, Yoshiko Ando, Toshie Tsuchida, Hitomi Kataoka, Yukie Sakai, Yasumi Matsubara, Yoko Mitomi: WOCN activities aimed

at a society catering to ostomates. 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference. オンライン. July 3-5. 2021.

2. Yasumi Matsubara, Hitomi Kataoka, Yukie Sakai, Toshie Tsuchida, Yoshiko Ando, Mitsuko Watanabe, Yoko Mitomi : Differences in difficulties experienced on ostomy patients by 2 questionnaire surveys in Japan. 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference. オンライン. July 3-5. 2021.
3. 祖父江正代, 酒井透江, 間宮直子, 貝谷敏子: 褥瘡予防・管理ガイドライン(第5版)コンセンサスシンポジウム9.体圧分散寝具. 第23回日本褥瘡学会. オンライン. 2021年9月10-11日.
4. 三木祐子, 南川雅子, 寺田由紀子, 古屋洋子, 伊藤文子, 堀内裕子, 鈴木良香, 若松千尋, 厚澤博美, 岩田洋子, 量倫子: 親のがんを知らされた子ども(小学生)の支援プログラムーコアラカフェR(オンライン版)の活動報告ー. 日本家族看護学会. オンライン. 2021年10月3日.
5. 橋爪可織, 城島蓮華, 鶴田今日子: 女子大学生の子宮頸がんワクチン接種に関する母親の意識・知識. 第36回日本がん看護学会学術集会. 横浜・オンライン. 2022年2月19日.
6. 立野淳子, 卯野木健, 濱本実也, 櫻本秀明, 河合佑亮, 栗原知己, 中田諭, 植村桜, 春名純平, 伊藤有美, 田本光弘, 宮本毅治, 茂呂悦子, 黒田泰弘: COVID-19パンデミックに対する看護系委員会の取り組み. 第49回日本集中治療医学会学術集会. オンライン. 2022年3月19日.
7. 河合佑亮, 卯野木健, 濱本実也, 田本光弘, 宮本毅治, 櫻本秀明, 伊藤有美, 茂呂悦子, 立野淳子, 植村桜, 春名純平, 西田修: 集中治療の提供に必要な看護体制に関わる活動・調査について. 第49回日本集中治療医学会学術集会. オンライン. 2022年3月19日.

論文

1. Yumi Ito, Koji Teruya¹, Emiko Nakajima² (¹Department of Public Health, Faculty of Health Sciences, Kyorin University, ²Department of Nursing, Faculty of Health Sciences, Kyorin University.): Evaluation of pain severity in critically ill patients on mechanical ventilation. Intensive and Critical Care Nursing. 68. 2022. DOI: 10.1016/j.iccn.2021.103118.
2. Miya Hamamoto¹, Takeshi Unoki², Mitsuhiro Tamoto³, Hideaki Sakuramoto⁴, Yusuke Kawai⁵, Takeharu Miyamoto⁶, Yumi Ito, Etsuko Moro⁷, Junko Tatsuno⁸, Osamu Nishida⁹ (¹Tosei General Hospital, ²Sapporo City University, ³Kyoto University Hospital, ⁴Ibaraki Christian University, ⁵Fujita Health University Hospital, ⁶Junshin Gakuen University, ⁷Jichi Medical University Hospital, ⁸Kokura Memorial Hospital, ⁹Fujita Health University): Survey on the actual number of nurses required for critical patients with COVID - 19 in Japanese intensive care units: Preliminary report. Japan Journal of Nursing Science. 18(3). 2021. DOI: 10.1111/jjns.12424
3. Takeshi Unoki¹, Yusuke Kawai², Miya Hamamoto³, Mitsuhiro Tamoto⁴, Takeharu Miyamoto⁵, Hideaki Sakuramoto⁶, Yumi Ito, Etsuko Moro⁷, Junko Tatsuno⁸, Osamu Nishida⁹ (¹Sapporo City University, ²Fujita Health University Hospital, ³Tosei General Hospital, ⁴Kyoto University

Hospital, ⁵Junshin Gakuen University, ⁶Ibaraki Christian University, ⁷Jichi Medical University Hospital, ⁸Kokura Memorial Hospital, ⁹Fujita Health University): Workforce and task sharing of nurses in the Japanese intensive care unit-cross-sectional postal survey. Healthcare.9(8).2021. DOI: 10.3390/healthcare9081017.

4. 坂井志麻¹, 熊野奈津美¹, 太田淳子¹, 大西知子¹, 中島恵美子, 宮本芳恵² (¹杏林大・保・高齢者看護学, ²介護老人保健施設ロベリア): コロナ禍での老年看護学教育のチャレンジ. 老年看護学. 26(1). 41-43. 2021.
5. 酒井透江, 安藤嘉子¹, 片岡ひとみ², 土田敏恵³, 松原康美⁴, 三富陽子⁵, 渡邊光子⁶, 藤井誠⁷ (¹大阪赤十字病院, ²山形大学, ³兵庫医療大学, ⁴北里大学, ⁵京都大学付属病院, ⁶関西労災病院, ⁷大阪大学): ストーマ保有者のストーマ用品費用の自己負担額と負担感に関する要因の分析. 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌. 25巻3号. p566-575. 2021年.
6. 須釜淳子¹, 赤瀬智子², 門野岳史³, 紺家千津子⁴, 酒井透江, 高木良重⁵, 西澤祐史⁶, 三木佳子⁷, 横野知江⁸, 吉田美香子⁹ (¹藤田衛生大学, ²横浜市立大学, ³聖マリアンナ大学, ⁴金沢県立看護大学, ⁵国際医療福祉大学, ⁶国立がんセンター東病院, ⁷聖カタリナ大学, ⁸新潟大学, ⁹東北大学): 学会誌第20巻~24巻掲載論文からみる日本創傷・オストミー・失禁管理学会の動向. 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌. 25巻3号. p.661-664. 2021.
7. 近藤三由希¹, 大川明子², 石井秀宗³, 梅田徳男⁴, 浅場香 (¹愛知県立看護大学, ²三重県立看護大学, ³名古屋大学, ⁴北里大学): 術後ホルモン療法を受ける乳がん患者の反すう傾向と更年期症状およびソーシャルサポートとの関係に関する研究ー年齢群別の検討ー. 日本看護科学学会誌. 41. 604-613. 2021.
8. 橋爪可織, 和泉沙耶¹, 井上早那² (¹株式会社麻生飯塚病院, ²医療法人社団明生会東葉クリニック東新宿): がん患者の妊孕性に対する看護師の知識・関心・経験. 保健学研究. 34. 47-55. 2021.
9. 松浦江美¹, 三浦沙織¹, 大山祐介¹, 橋爪可織, 山田絵理佳¹, 岩崎香代子², いけうちしん², 湯川純子³, 戸北正和³, 西口真由美³, 岡田みずほ³, 小淵美樹子³ (¹長崎大学, ²劇団とんとこパピィ, ³長崎大学病院): 大学・病院・模擬患者の連携によるCOVID-19に対応した成人看護学実習Iの取り組み. 看護教育. 62(9). 882-886. 2021.
10. 本田智治¹, 大山祐介², 橋爪可織, 松浦江美², 永田明² (¹長崎大学病院, ²長崎大学): 救命救急センターの救急外来実習における看護学生の体験. 日本救急看護学会雑誌. 24. 20-28. 2022.

著書

1. 中島恵美子 (編集, 執筆): 1章図解1, 1章1.周術期看護を学ぶに当たって, 2章用語の解説, 11章2.胃がん, 15章3.腰部椎間板ヘルニア, 17章4.乳癌. ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護 第4版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編集. メディカ出版. 2022. 16-17, 24-29, 52-54, 217-223, 294-297, 327-332.
2. 加賀谷聡子 (分担執筆): 第10章1.狭心症, 4.閉塞性動脈硬化症. ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護 第4版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編集. メディカ出版. 2022. 182-186, 201-207.
3. 東利江 (分担執筆): 11章4.直腸癌, 17章1.前立腺癌. ナーシング・グラフィカ. 成人看護学④周術期看護 第4版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編集. メ

メディカ出版. 2022. 229-232, 310-314.

- 伊藤有美(分担執筆): 10章2.心臓弁膜症, 3.大動脈解離. ナーシング・グラフィカ. 成人看護学④周術期看護 第4版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編集. メディカ出版. 2022. 187-194. 195-200.
- 量倫子(分担執筆): 11章5.肝臓癌(肝癌). ナーシング・グラフィカ. 成人看護学④周術期看護 第4版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編集. メディカ出版. 2022. 233-239.

その他

- 浅場香: がんの医療サービスと社会資源 在宅療養するがん患者と家族を支援する認定看護師の役割. 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程. オンライン. 2021年8月27日.

高齢者看護学研究室

講演

【学術集会発表】

- 坂井志麻: 外来看護師の在宅療養移行支援実践評価尺度の開発-妥当性・信頼性の検証-. 日本老年看護学会第26回学術集会. オンライン. 2021年6月11日-27日.
- 西川裕理: 人生の最終段階のイメージをもとに心不全患者へのACPを考える. 第11回日本看護評価学会学術集会. オンライン. 2021年8月21日.
- 坂井志麻, 長江弘子, 仁科祐子, 原沢のぞみ, 岩崎孝子, 池田真理: 一般市民のAdvance Care Planningへの認識と基本属性との関連. 日本エンドオブライフケア学会第4回学術集会. オンライン. 2021年9月18日-19日.
- 岩崎孝子, 高紋子, 川原美紀, 原沢のぞみ, 山縣千尋, 長江弘子, 守屋治代, 池田真理: 働く世代のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の実践状況とその関連要因. 日本エンドオブライフケア学会第4回学術集会. オンライン. 2021年9月18日-19日.
- 高紋子, 原沢のぞみ, 岩崎孝子, 山縣千尋, 川原美紀, 守屋治代, 池田真理, 長江弘子: 地域における多職種が共に学ぶアドバンス・ケア・プランニング(ACP)教育プログラムBasicレベルの評価. 日本エンドオブライフケア学会第4回学術集会. オンライン. 2021年9月18日-19日.
- 原沢のぞみ, 岩崎孝子, 高紋子, 山縣千尋, 川原美紀, 守屋治代, 池田真理, 長江弘子: 地域における多職種が共に学ぶアドバンス・ケア・プランニング(ACP)教育プログラムFirstレベルの評価. 日本エンドオブライフケア学会第4回学術集会. オンライン. 2021年9月18日-19日.
- 山縣千尋, 原沢のぞみ, 岩崎孝子, 高紋子, 川原美紀, 守屋治代, 池田真理, 長江弘子: 地域における多職種が共に学ぶアドバンス・ケア・プランニング(ACP)教育プログラムSecondレベルの評価. 日本エンドオブライフケア学会第4回学術集会. オンライン. 2021年9月18日-19日.
- 水野敏子, 坂井志麻, 渡邊賢治, 金原京子, 原沢のぞみ, 成澤明, 佐藤直子, 長江弘子, 山田雅子: 「独り暮らし」高齢者の在宅死を可能にする問看護モデルの有効性の検証. 第11回日本在宅看護学会学術集会. オンライン. 2021年11月13日-14日.
- 坂井志麻: 外来看護師の在宅療養移行支援実践と病院特性の関連. 第41回日本看護科学学会学術集会.

オンライン. 2021年12月4日-5日.

【学術集会教育講演/ワークショップ】

- 坂井志麻: 高齢者の暮らしを支える入退院支援-多様な療養の場における移行期支援-. 日本老年看護学会第26回学術集会. オンライン. 2021年6月11日-27日.
- 長江弘子, 谷垣静子, 坂井志麻, 岡田麻里, 片山陽子, 酒井昌子, 乗越千枝, 仁科祐子, 彦聖美, 小池愛弓, 照井レナ, 川添恵理子: 「生活と医療を統合する継続看護マネジメント」継続看護マネジメント(CNM)を活用した多職種チームアプローチ. 日本在宅ケア学会第26回学術集会. 広島市・オンライン. 2021年8月28日-29日.
- 坂井志麻, 近藤芳子: 第5回政策委員会セミナー, 入退院支援システム導入に向けた取り組み~組織づくりと教育・実践・評価まで~. 第15回日本慢性看護学会学術集会. オンライン. 2021年8月28日-9月17日.
- 長江弘子, 原沢のぞみ, 岩崎孝子, 坂井志麻, 池田真理, 宮下光令, 仁科祐子, 谷垣静子, 酒井昌子, 田村恵子, 竹野内沙弥香, 加藤裕規, 片山陽子, 乗越千枝, 渡邊賢治, 高紋子: 市民と専門職で協働する日本型対話促進モデル ACP介入モデルの構築とエビデンスの確立 成果公開. 第41回日本看護科学学会学術集会. オンライン. 2021年12月4日-5日.

【研修会講演】

- 坂井志麻: 入退院支援の流れ・連携・協働について. 東京都入退院時連携強化研修(東京都委託東京都看護協会主催). オンライン. 2021年10月5日, 11月9日, 12月7日.
- 坂井志麻: ACPにフォーカスした連携・協働、地域ネットワークについて. 東京都入退院時連携強化研修(東京都委託東京都看護協会主催). オンライン. 2021年10月8日, 11月12日, 12月10日.
- 坂井志麻: 退院支援マニュアル. 東京都退院支援人材育成研修(東京都福祉保健局医療政策部主催). オンライン. 2021年9月28日オンデマンド教材撮影.
- 坂井志麻: 事例検討. 東京都ナースプラザ訪問看護師育成基本コース(東京都看護協会運営受託). 東京. 2021年11月10日, 11日.
- 坂井志麻: 入退院支援に関する実践能力向上研修. 退院調整の実践Ⅲ(国立病院機構主催). オンライン. 2021年9月24日, 12月20日.

論文

- Sakai S, Nagae H¹, Miyashita M², Harasawa N², Iwasaki T, Katayama Y³, Takenouchi S⁴, Ikeda M⁵, Ito M⁶, Tamura K⁴. (1)Tokyo Women's Medical University, (2)Tohoku University Graduate School of Medicine, (3)Kagawa Prefectural University of Health Sciences, (4)Kyoto University, (5)The University of Tokyo, (6)Kawasaki Medical School General Medical Center): Developing an Instrument to Assess the Readiness for Advance Care Planning. J Pain Symptom Manage. 63(3). 374-386. 2022.
- 坂井志麻: 外来看護師の在宅療養移行支援実践評価尺度の妥当性・信頼性の検証. 日本看護科学学会誌. 41. 241-249. 2021.
- 坂井志麻, 河田萌生¹, 亀井智子¹, 富岡齊実², 金盛琢也³, 川上千春¹, 菅原峰子⁴, 阿部慈美⁵, 黒河内仙奈⁶, 鈴木みずえ³, 綿貫成明⁷(¹聖路加国際大学, ²聖カタリナ病院, ³浜松医科大学, ⁴共立女子大学, ⁵佛教大学, ⁶神奈川県立保健福祉大学, ⁷国立看護大学校): 認知症および認知機能低下を有する入院・入所高齢

者への身体拘束減少のための介入の有効性 システムティックレビューとメタアナリシス. 老年看護学. 26 (1) . 44-58. 2021.

4. 坂井志麻, 熊野奈津美, 太田淳子, 大西知子, 中島恵美子¹, 宮本芳恵² (¹杏林大・保・成人看護学, ²介護老人保健施設ロベリア): コロナ禍での老年看護学教育のチャレンジ. 老年看護学. 26(1). 41-43. 2021.
5. Kanie T¹, Mizuno A^{1,2,3}, Takaoka Y¹, Suzuki T¹, Yoneoka D⁴, Nishikawa Y, Tam WWS⁵, Morze J⁶, Rynkiewicz A⁶, Xin Y⁷, Wu O⁷, Providencia R⁸, Kwong JS⁴ (¹St. Luke's International Hospital, ²University of Pennsylvania, ³Hospital of the University of Pennsylvania, ⁴St. Luke's International University, ⁵NUS Yong Loo Lin School of Medicine, ⁶University of Warmia and Mazury, ⁷University of Glasgow, ⁸St Bartholomew's Hospital): Dipeptidyl peptidase-4 inhibitors, glucagon-like peptide 1 receptor agonists and sodium-glucose co-transporter-2 inhibitors for people with cardiovascular disease: a network meta-analysis. Cochrane Database Syst Rev. 10(10). CD013650. 2021.
6. 小池愛弓¹, 岡田麻里², 長江弘子³, 仁科祐子⁴, 坂井志麻, 片山陽子², 乗越千枝⁵, 谷垣静子⁶, 酒井昌子⁷, 彦聖美⁸ (¹武蔵野徳洲会訪問看護ステーション, ²香川県立保健医療大学, ³東京女子医科大学, ⁴鳥取大学, ⁵四天王寺大学, ⁶岡山大学, ⁷聖隷クリストファー大学, ⁸金城大学): 継続看護マネジメント教育プログラムにおける看護職の学びの特徴. 日本在宅ケア学会誌. 25 (2) . 216-224. 2022.

著書

1. 坂井志麻 (分担執筆): リハビリテーションにおける看護、在宅療養に向けた退院支援 最新老年看護学第3版2021年版. 水谷信子監修. 日本看護協会出版会. 2021. 227-236.
2. 岩崎孝子 (分担執筆): 認知症の人を家族とともに支えるために: 家族との対話をもつ意味. 認知症plus意思表明支援ー日常生活の心地よさを引き出す対話事例集ー. 日本看護協会出版会. 2021. 25-30.

報告書

1. 坂井志麻, 西川裕理, 大西知子, 熊野奈津美: 介護保険施設入所高齢者の入退院連携システムの開発. 文部科学研究費補助金 (基盤研究C). 2021年度 研究成果報告書.
2. 西川裕理: ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の正しい理解と実践 人生の最終段階のイメージをもとに心不全患者へのACPを考える. 日本看護評価学会誌. 11 (1) . 55-59. 2021.

母子看護学研究室

論文

1. 百成香帆, 松岡恵: 「早産児の安定」の概念分析. 杏林医学会雑誌. 52 (2) . 55-64. 2021.

助産学研究室

その他

1. 加藤千晶: 杏林大学感染症医療人材養成室及び杏林大学医学部産婦人科学教室作成「オリジナルVR映像

教材 長緊急帝王切開解説編 (看護師向け)」映像解説担当.

小児看護学研究室

口演

1. 岡澄子, 岩田洋子, 堤梨那: 小児がんの子どもを支える父親の心理社会的特性に関する文献検討. 日本小児看護学会第31回学術集会. オンライン. 2021年6月26-27日, 2021年7月1日-31日.
2. 三木祐子, 南川雅子, 寺田由紀子, 古屋洋子, 伊藤文子, 堀内裕子, 鈴木良香, 若松千尋, 厚澤博美, 岩田洋子, 量倫子: 親のがんを知らされた子ども (小学生) の支援プログラムーコアラカフェ® (オンライン版) の活動報告ー. 日本家族看護学会第28回学術集会. オンライン. 2021年10月3日.
3. 堤梨那, 松井基浩, 瀬戸真由里, 土屋周平, 牧本敦, 湯坐有希: AYA世代がん患者と小児がん経験者の就労に関する困難の実態調査. 日本小児がん看護学会第19回学術集会. オンライン. 2021年11月25日-12月17日.
4. 松井基浩, 瀬戸真由里, 堤梨那, 土屋周平, 牧本敦, 湯坐有希: AYA世代がん患者と小児がん経験者の就学に関する困難の実態調査. 日本小児がん看護学会第19回学術集会. オンライン. 2021年11月25日-12月17日.
5. 瀬戸真由里, 松井基浩, 土屋周平, 堤梨那, 牧本敦, 湯坐有希: AYA世代がん患者と小児がん経験者の恋愛に関する困難の実態調査. 日本小児がん看護学会第19回学術集会. オンライン. 2021年11月25日-12月17日.
6. 土屋周平, 松井基浩, 瀬戸真由里, 堤梨那, 牧本敦, 湯坐有希: AYA世代がん患者と小児がん経験者の結婚に関する困難の実態調査. 日本小児がん看護学会第19回学術集会. オンライン. 2021年11月25日-12月17日.

地域看護学研究室

講演

学会・研究会, ポスターセッション

1. 細川陸也, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 高久陽介, 大島岳, 阿部桜子, 塩野徳史, 米倉佑貴, 片倉直子, 山内麻江, 河合薫, 若林チヒロ, 関由起子, 井上智史, 大木幸子: HIV陽性者が子どもを持つ際に感じる苦勞・必要なサポートや情報. 第35回日本エイズ学会. オンライン. 2021年11月21日-11月23日.
2. 米倉佑貴, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 高久陽介, 細川陸也, 大島岳, 阿部桜子, 塩野徳史, 片倉直子, 山内麻江, 河合薫, 若林チヒロ, 関由起子, 井上智史, 大木幸子: HIV陽性者のヘルスリテラシーと医療スタッフとのコミュニケーションとの関連性 Futures Japan第3回「HIV陽性者のためのウェブ調査」. 第35回日本エイズ学会. オンライン. 2021年11月21日-11月23日.
3. 戸ヶ里泰典, 井上洋士, 高久陽介, 大島岳, 阿部桜子, 細川陸也, 塩野徳史, 米倉佑貴, 片倉直子, 山内麻江, 河合薫, 若林チヒロ, 関由起子, 井上智史, 大木幸子: HIV陽性者におけるアルコール依存状況とその関連要因. 第35回日本エイズ学会. オンライン. 2021年

11月21日-11月23日。

4. 関由起子, 若林チヒロ, 井上洋士, 高久陽介, 戸ヶ里泰典, 米倉佑貴, 細川陸也, 大島岳, 阿部桜子, 塩野徳史, 片倉直子, 山内麻江, 河合薫, 井上智史, 大木幸子: HIV陽性者の就労状況と就労上の困難 HIV Futures Japan第3回「HIV陽性者のためのウェブ調査」結果から。第35回日本エイズ学会。オンライン。2021年11月21日-11月23日。
5. 阿部桜子, 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 高久陽介, 細川陸也, 大島岳, 塩野徳史, 米倉佑貴, 片倉直子, 山内麻江, 河合薫, 若林チヒロ, 関由起子, 井上智史, 大木幸子: HIV陽性者におけるソーシャルサポートの実態と一般住民との比較。第35回日本エイズ学会。オンライン。2021年11月21日-11月23日。
6. 井上洋士, 細川陸也, 戸ヶ里泰典, 片倉直子, 山内麻江, 塩野徳史, 若林チヒロ, 大島岳, 阿部桜子, 関由起子, 米倉佑貴, 井上智史, 河合薫, 大木幸子, 高久陽介: HIV陽性者を対象としたFutures Japan調査結果から見るU=Uの認知度と受け止め。第35回日本エイズ学会。オンライン。2021年11月21日-11月23日。
7. 大島岳, 若林チヒロ, 池田和子, 杉野祐子, 谷口紅, 中浜智子, 東政美, 大木幸子, 齊藤可夏子, 山口正純, 樽井正義, 生島嗣, 大槻知子, 三輪岳史: 「他者に伝えたいこと」に関する自由回答分析 第4回「HIV陽性者の健康と生活に関する全国調査結果」から。第35回日本エイズ学会。オンライン。2021年11月21日-11月23日。
8. 大島岳, 井上洋士, 高久陽介, 戸ヶ里泰典, 阿部桜子, 米倉佑貴, 細川陸也, 塩野徳史, 片倉直子, 山内麻江, 河合薫, 若林チヒロ, 関由起子, 井上智史, 大木幸子: HIV陽性者における調査回答とおした気づきと今後への要望に関する自由回答分析 Futures Japan第3回「HIV陽性者のためのウェブ調査」結果から。第35回日本エイズ学会。オンライン。2021年11月21日-11月23日。
9. 戸ヶ里泰典, 井上洋士, 高久陽介, 大島岳, 阿部桜子, 細川陸也, 塩野徳史, 米倉佑貴, 片倉直子, 山内麻江, 河合薫, 若林チヒロ, 関由起子, 井上智史, 大木幸子: HIV陽性判明後1年以内のスティグマおよび自己認識の推移 過去3回のFutures Japan全国調査のデータ比較より。第35回日本エイズ学会。オンライン。2021年11月21日-11月23日。
10. 土屋菜歩, 佐野貴子, カエベタ亜矢, 城所敏英, 関なおみ, 根岸潤, 堅多敦子, 川畑拓也, 貞升健志, 須藤弘二, 加藤真吾, 大木幸子, 生島嗣, 今井光信, 今村顕史: 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査。第35回日本エイズ学会。オンライン。2021年11月21日-11月23日。
11. 土屋菜歩, 佐野貴子, カエベタ亜矢, 城所敏英, 関なおみ, 根岸潤, 堅多敦子, 川畑拓也, 貞升健志, 須藤弘二, 加藤真吾, 大木幸子, 生島嗣, 今井光信, 今村顕史: 保健所・検査所におけるHIV検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査。第35回日本エイズ学会。オンライン。2021年11月21日-11月23日。

地域の講演会・研修会

1. 大木幸子: 生活に出向く支援～訪問機能を中心に～。アウトリーチ支援研修。東京都立精神保健福祉センター。オンライン。2021年6月21日。
2. 大木幸子: 今改めて保健師活動の原点を考える。大分県看護教育研修。大分県看護協会。オンライン。2021年8月1日。
3. 大木幸子: 令和3年度専門研修「地域保健」母子保健における児童虐待の発見と支援。特別区職員研修所。

東京都。2021年10月11日。

4. 大木幸子: 保健所に求められる能力、視点、姿勢～個別・家族支援から学ぶこと、気づくこと～。令和3年度レベルI保健師研修。青森県健康福祉部。オンライン。2021年8月10日。
5. 大木幸子: 児童虐待防止のために地域でできること～東京都児童相談所事例検討より～。令和3年度武蔵野市子育て支援ネットワーク実務者連絡会議。オンライン。2021年10月26日。
6. 大木幸子: 医療資源の使い分け～医療と保健。akta事務局研修。東京・オンライン。2021年11月12日。
7. 大木幸子: 中堅期保健師への応援メッセージ～後輩育成を通じたキャリアアップのヒント～。令和3年度北多摩南部保健医療圏「保健師研修」。府中市。2021年11月16日。
8. 大木幸子: 個から集団。地域の支援に目を向ける～地域に根差した保健活動の実践に向けて。令和3年度青森県レベル1保健師研修。オンライン。2022年1月14日。
9. 大木幸子: 保健師教育におけるミニマムリクワイアメンツを用いた教育評価について。令和3年度第2回全国保健師教育機関協議会関東・甲信越ブロック研究会。オンライン。2022年1月27日。
10. 大木幸子: 情報収集とアセスメント～双方向だから見えてくる! 対象理解が保健指導にもたらすもの。保健師地域保健活動研修会 日野市健康福祉部。日野市。2022年2月9日。
11. 大木幸子: 高齢者保健における公衆衛生看護技術について考えよう。全国保健師教育機関協議会北海道・東北ブロック研修会。オンライン。2022年2月22日。

論文

1. 大木幸子, 麻原きよみ: 感染症法改正に関する学会の声明発出について。日本公衆衛生看護学会誌。10(2)。87-91。2021。
2. 岩本里織, 大木幸子, 滝澤寛子, 平野美千代, 鈴木美和, 下山田鮎美, 橋本文子, 波田弥生, 佐伯和子: 親子保健における公衆衛生看護技術の体系化 小地域における親子保健活動技術の明確化に焦点を当てて。健師教育。5(1)。56-65。2021。
3. 大木幸子: 公衆衛生看護の責任と実践 誰も取り残されない「社会的包摂」の実現をめざして。日本公衆衛生看護学会誌。10(1)。12-17。2021。

その他

座談会

1. 大木幸子, 加茂登志子, 横田千代子, 橋ジュン, 戸矢崎悦子: 【生きづらさを抱える女性たちの支援をどうするか ウィズコロナ・ポストコロナの地域の課題】支援・保護が必要な女性に対して保健師ができること、保健師に望むこと。地域保健。52(4)。28-45。2021。事例検討会・地域活動検討会助言等

1. 大木幸子: 地区保健活動に関する意見交換会講師。所沢市保健センター。2021年10月22日・2021年10月27日・2021年11月5日。
2. 大木幸子: 事例検討会スーパーバイザー。武蔵野市保健センター。2021年11月26日。
3. 大木幸子: 乳幼児虐待予防事業におけるスーパーバイザー研修講師。川崎市高津区みまもり支援センター。2022年1月18日。

著書

1. 大木幸子(共著): 第9章地域で暮らす〈人びと〉〈個人〉〈家族〉への公衆衛生看護技術, 2健康課題をか

かえる個人・家族への支援，4ケースマネジメントと事例検討．公衆衛生看護の方法と技術．佐伯和子他編集．医歯薬出版株式会社．2022年．207-233，246-258．

- 大木幸子，加藤昌代（分担執筆）：第4章公衆衛生看護における対人支援の技術．1．健康相談の方法と実際．公衆衛生看護支援技術．村嶋幸代他編集．メヂカルフレンド社．2022年．87-101．
- 大木幸子（分担執筆）：第9章公衆衛生看護における倫理．公衆衛生看護学概論．村嶋幸代他編集．メヂカルフレンド社．2022年．1-35．
- 大木幸子（分担執筆）：第3章活動の場ごとの保健師活動の特性と課題．1．地方自治と地域保健行政，2．行政における保健師の役割．保健師業務要覧．井伊久美子他編集．日本看護協会出版会．2022年．130-135．
- 大木幸子（分担執筆）：第3部 各論6章日本人の健康と課題・1日本の健康問題の現状と課題，2健康づくり対策，3生活習慣病．健康支援と社会保障（2）：公衆衛生第5版．平野かよ子他編集．MCメディア出版．2022年．110-125．
- 大木幸子（分担執筆）：第VI章保健医療福祉の地域づくりを推進する保健師活動・事例を活用した演習，1保健師活動の実際I障がい者支援とネットワークづくり．これからの保健医療福祉行政論第3版．星旦二他編集．日本看護協会出版会．2022年．218-228．
- 大木幸子（編著）：第1部・4生活の場である「地域」を理解するための基本的視点，第1部・5生活の場での看護の基本的視点と展開方法，第3部・3多職種連携と地域包括ケアシステムでの協働03地域住民とのパートナーシップ，第4部 01予防的アプローチ，第4部 04-1医療的ケア児と家族へのセルフケア・地域生活の支援，第4部 04-2統合失調症のある人への地域生活支援，第4部07地域包括ケアシステムづくり：認知症事例からの小地域の課題の気づき．岸恵美子，大木幸子編集．地域在宅看護．中央法規出版．2022年56-81，82-103，212-216，255-261，261-266，280-285．
- 加藤昌代（分担執筆）：第4部 02潜在ニーズの発見：育てにくさがある家族の子育て支援．地域在宅看護．中央法規出版．2022年．243-249．
- 石黒千尋（分担執筆）：第4部 03在宅療養移行への看護：ALS療養者の在宅移行・治療選択の支援．地域在宅看護．中央法規出版．2022年．249-255．
- 小松実弥（分担執筆）：第4部 01-2閉じこもり予防を目指した退院支援．地域在宅看護．中央法規出版．2022年．237-243．
- 大木幸子（分担執筆）：II公衆衛生 第1章公衆衛生学の概要，II公衆衛生 第2章環境衛生．製菓衛生師全書．日本菓子教育センター．2022年．79-95，96-112．
- 加藤昌代（分担執筆）：II公衆衛生 第3章第1節感染症の予防．製菓衛生師全書．日本菓子教育センター．2022年．79-95，113-124．
- 小松実弥（分担執筆）：II公衆衛生 第3章第1節生活習慣病の予防．製菓衛生師全書．日本菓子教育センター．2022年．79-95，124-132．
- 藤井広美（分担執筆）：II公衆衛生 第4章産業保健．製菓衛生師全書．日本菓子教育センター．2022年．79-95，133-143．

平成30年度追加分

- 大木幸子（共著）：第12章健康危機管理．B感染症集団発生時の保健活動．標準保健師講座 対象別公衆衛生看護活動．中谷芳美他．医学書院．2022年3月1日．335-347．

報告書

- 大木幸子（分担研究）：（4）薬物使用の問題を抱えるHIV陽性者への支援のための精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討．厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）令和3年度総括・分担研究報告書．地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究．樽井正義（研究代表）．2022年．59-66．

精神看護学研究室

講演

- 佐藤美保：『家族』を理解し，支援につなげる．東京都多摩総合精神保健福祉センター アウトリーチ支援研修．オンライン．2021年12月10日．
- 竹村真澄，吉井秀輝，箕輪節子，浅沼奈美：町田市における措置入院者への支援の現状と課題．第80回日本公衆衛生学会．オンライン．2021年12月21日-23日．

論文

- 浅沼奈美：生活保護受給者への健康管理支援事業の経過と事業内容．精神看護．24（1）．36-38．2021．
- 樋口貴子，廣川聖子¹（¹東京都立大学）：統合失調症をもつ女性が母になる体験－地域で暮らす当事者4名の語りから－．日本社会精神医学会雑誌．30（2）．109-119．2021．
- 渡部尚，樋口貴子，北澤典子，石井聡子，長内千紗，山本雅文，安齋美月，三橋麻由美，青鹿由紀，吉田信子，佐藤美保，浅沼奈美：COVID-19流行下における精神看護学実習での学び－学生と患者の相互作用を中心として－．杏林大学研究報告．39．41-56．2022．

報告書

- 浅沼奈美：医療扶助の更なるガバナンス強化のため，保健医療施策全般との連携に関する調査研究報告書（指定課題No. 3）．みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社．2021年度社会福祉推進事業．

その他

- 浅沼奈美，市来真彦，永田利彦，山澤涼子，水野雅文：座談会「COVID19が精神科医療に与えた影響」．日本社会精神医学会雑誌．31（1）．41-54．2022．

●看護学科・看護養護教育学専攻●

荒添 美紀

講演

- 荒添美紀：東京都ナースプラザ．令和3年度「実習指導者研修」．東京．2021年6月11日，9月21日，12月1日．
- 荒添美紀，佐野恵美子，大坪裕子，楠田美奈：ICTを活用した看護基礎教育での取組．京都科学．オンライン．2021年6月28日．
- 荒添美紀：茨城県看護協会 令和3年度「実習指導者研修」．水戸．2021年7月30日，8月4日，8月12日．
- 佐野恵美子，荒添美紀，大坪裕子，楠田美奈：遠隔授業と対面授業を活用した「新たな教育方法の取り組み－動画配信システムを活用した教育方法－」．日本看護学教育学会第31回学術集会．オンライン．2021

年8月18日。

著 書

1. 荒添美紀(分担執筆):第2章実習指導案 1. 基礎看護学実習指導案. 看護学実習指導ガイドブック. 荒川真知子, 齊藤茂子, 山川美喜子 監修. 一般社団法人日本看護学校協議会共済会. 2021年. 58-80.

亀崎 路子

講 演

1. 亀崎路子:講義・演習「健康相談」. 茨城県教育研修センター令和2年度中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座. オンライン. 2021年9月9日.

論 文

1. 大川尚子, 下村淳子, 青柳直子, 池添志乃, 上原美子, 大野泰子, 奥田紀久子, 亀崎路子, 上村弘子, 後藤多知子, 竹中香名子, 高田恵美子, 平井美幸:養護教諭養成課程コアカリキュラム(養大協版)2020の開発ー多様な学問体系の大学に活用できるコアカリキュラムの提案ー. 学校保健研究. 63(2). 91-101. 2021.
2. 関澤浩一, 渡辺恵, 張替克美, 佐々木裕子, 楠田美奈, 亀崎路子:2020年度のCOVID-19蔓延化における学校インターンシップ・プログラムの中止とボランティア活動ー杏林大学保健学部・健康福祉学科および看護学科看護養護教育学専攻に所属する学生を対象にー. 杏林大学教職課程年報. 9. 49-59. 2022.

報告書

1. 亀崎路子, 鈴木裕子:ホームページ報告・ニューズレター報告. 日本養護教諭養成大学協議会事業活動報告書(2020年度). 12-14. 2021年9月10日.
2. 亀崎路子, 三森寧子:日本養護教諭養成大学協議会オンラインミーティング報告ー新型コロナウイルス感染症対策のなかで, 養護教諭養成大学における教育の質をどう保証するかー, 第3分科会報告「病院実習」. 日本養護教諭養成大学協議会事業活動報告書(2020年度). 19. 2021年9月10日.
3. 亀崎路子・鈴木裕子:広報・渉外委員会報告. 日本養護教諭養成大学協議会事業活動報告書(2020年度). 38. 2021年9月10日.

その他

1. 亀崎路子:広報・渉外委員会より. 日本養護教諭養成大学協議会ニューズレター. 46. 5. 2021年12月3日.
2. 秋山緑, 古谷明子, 亀崎路子:学会特別企画「森田光子氏から学んだこと」. 日本学校健康相談学会第18回学術集会. 2022年3月13日.

佐々木 裕子

講 演

1. Fujimoto K, Kawanabe S, Ohta Y, Sasaki Y, Takahashi M: Difficulties encountered by nursing professionals in supporting the mothers of infants in Japan and how such difficulties are handled. The 32nd ICM Virtual Triennial Congress. Republik Indonesia・Online. June 9th. 2021.
2. Ohta Y, Sasaki Y, Takahashi M: Trial Introduction of a Feed-Play-Sleep Cycle Strategy for Japanese First-time Parents with Infants aged 4-6 Weeks. The 32nd ICM Virtual Triennial Congress.

Republik Indonesia・Online, June 9th. 2021.

3. 横田秀香, 長谷川和子, 鈴木朋子, 佐々木裕子:ふたごとして育てられた青年期双生児の体験ー平等に接しようとした親の関わりをふたご自身がどのように受けとめたかー. 日本双生児研究学会第36回学術講演会. 岐阜・オンライン. 2022年1月22日.
4. 佐々木裕子, 長谷川和子, 鈴木朋子, 場家美沙紀, 山内亮子, 太田ひろみ:コロナ禍におけるオンライン多胎育児準備クラスの活動報告. 日本双生児研究学会第36回学術講演会. 岐阜・オンライン. 2022年1月22日.

論 文

1. 関澤浩一, 渡辺恵, 張替克美, 佐々木裕子, 楠田美奈, 亀崎路子:2020年度のCOVID-19蔓延化における学校インターンシップ・プログラムの中止とボランティア活動ー杏林大学保健学部・健康福祉学科および看護学科看護養護教育学専攻に所属する学生を対象にー. 杏林大学教職課程年報. 9. 49-59. 2021.

著 書

1. 佐々木裕子(監修):すくすくいのち. はまのゆか 作. めくるむ. 2021.

報告書

1. 佐々木裕子, 鈴木朋子, 長谷川和子:性の多様性に対応したシナリオによる「いのちのおはなし会」実践の試み. 杏林大学2020年度地域交流活動報告書. 26. 2021.
2. 場家美沙紀, 佐々木裕子, 長谷川和子, 鈴木朋子, 山内亮子, 太田ひろみ:多胎育児支援活動ーツインズマーケット. 杏林大学2020年度地域交流活動報告書. 24. 2021.

藤田 千春

講 演

【学会】

1. 横山直美, 藤田千春:早期養育期における双子をもつ父親の思いー妻との協働育児を通してー. 第68回日本小児保健協会学術集会. オンライン. 2021年6月18日-20日.
2. 木村節子, 藤田千春:自然体験キャンプに参加した重症心身障害児の家族が得られた支援. 第31回日本小児看護学会学術集会. オンライン. 2021年7月1日-31日.
3. 横山直美, 藤田千春:養育期にある双子をもつ父親が育児生活で抱く肯定的な感情. 第31回日本小児看護学会学術集会. オンライン. 2021年7月1日-31日.
4. 小林佳寛, 藤田千春, 高柳亜紀:保育所看護職の保護者支援に関する文献検討. 第28回日本家族看護学会学術集会. オンライン. 2021年10月3日.
5. 横山直美, 藤田千春:早期療育期における双子を家族に迎えた父親の体験. 第28回日本家族看護学会学術集会. オンライン. 2021年10月3日.
6. Arakida M, Fujita C, Aoki E, Matsuda Y: Evaluation of a Parent Training Program for Parents of Children with Developmental Disabilities. ICN Congress Nursing Around the World. Online. November. 2-4.2021.
7. 松本祥弘, 藤田千春:新人訪問看護師の看護技術習得についての国内文献の検討. 第11回日本在宅看護学会学術集会. オンライン. 2021年11月5日-21日.

- 藤田千春, 齋藤孝義, 小林佳寛, 谷山牧 他: 発達障害に対する医療系大学生の認知とその情報源に関する実態調査. 第11回国際医療福祉大学学会学術大会. オンライン. 2021年11月8日.
- 藤田千春, 齋藤孝義, 小林佳寛, 谷山牧 他: 医療系大学生の発達障害児・者に対する支援意思に関連する要因. 第11回国際医療福祉大学学術大会. オンライン. 2021年11月8日.
- 藤田千春, 臺有桂, 荒木田美香子: 療育通園中の幼児をもつ保護者が希望するライフサポートファイル. 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会. オンライン. 2022年1月8日-9日.
- 竹中香名子, 藤田千春, 江口晶子, 荒木田美香子: 小学校の慢性疾患管理における学校生活管理表の活用実態. 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会. オンライン. 2022年1月8日-9日.

【地域の講義】

- 荒木田美香子, 藤田千春: 小田原市障害児通園施設「つくしんぼ教室」におけるペアレントトレーニング講師. 小田原子ども若者教育支援センター. 2021年5月18日, 6月1日, 10月7日, 10月28日, 11月11日, 12月2日.

論文

- 掛谷和美, 藤田千春: 経済連携協定(EPA)における我が国の外国人看護師候補者への支援課題に関する文献検討. 日本健康学会誌. 87(3). 21-130. 2021.

小林 賢子

講演

- 小林賢子, 渡部和彦: RNAシーケンスから抽出された造血器腫瘍99細胞株の融合転写産物の解析. 第16回日本血液学会関東甲信越地方会. 東京・オンライン. 2022年3月19日.

佐野 恵美香

講演

- 佐野恵美香, 荒添美紀, 大坪裕子, 楠田美奈: 遠隔授業と対面授業を活用した新たな教育方法の取り組み—動画配信システムを活用した教育方法—. 日本看護学教育学会第31回学術集会. オンライン. 2021年8月18日.
- 野村菜摘, 植木純, 佐野恵美香, 池田恵, 玉本和紀, 熱田了: 喘息患者にセルフマネジメント支援を行う双方向性アプリケーションソフトウェアの開発—フイービリティ—試験. 第31回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 高松・オンライン. 2021年11月13日.

松浦 彰護

講演

- 坂東美知代, 松浦彰護: 「家族共感性」の特徴—認知症高齢者家族と非認知症高齢者家族の比較—. 第15回看護教育研究学会学術集会. オンライン. 2021年10月16日.

- 坂東美知代, 松浦彰護: 認知症高齢者の意思決定プロセスの検討. 第41回日本看護科学学会学術集会. オンライン. 2021年11月19日-12月28日.

石野 晶子

著書

平成30年度追加分

- 石野晶子(分担執筆): 第7講健康状態の観察および心身の不調等の早期発見. 新・基本保育シリーズ11子どもの保健. 松田博雄, 金森三枝 編. 中央法規出版. 2019年. P.77-78.

寺島 涼子

講演

- 宿利真由美, 荒添美紀, 寺島涼子, 糸賀大地: 令和3年度看護部 看護研究講義. 東邦大学医療センター大橋病院. 東京. 2021年9月4日.

報告書

- 寺島涼子: デルファイ法によるオーラルフレイル早期発見に必要なフィジカルアセスメントの検討. 文部科学省科学研究費助成事業 基盤C. 令和2年度研究報告書.

その他

- 寺島涼子: 東邦大学医療センター大橋病院看護部看護研究支援. 東京. 2021年4月20日, 5月21日, 6月24日, 7月11日, 9月15日, 10月21日, 11月24日, 12月15日, 2022年1月12日, 2月24日, 3月25日

楠田 美奈

講演

- 佐野恵美香, 荒添美紀, 大坪裕子, 楠田美奈: 遠隔授業と対面授業を活用した新たな教育方法の取り組み—動画配信システムを活用した教育方法—. 日本看護学教育学会第31回学術集会. オンライン. 2021年8月18日.

その他

- 荒添美紀, 佐野恵美香, 大坪裕子, 楠田美奈: ICTを活用した看護基礎教育での取組. 株式会社京都科学東京支店. オンライン. 2021年6月28日.
- 楠田美奈: 地域における社会貢献活動③. 「生涯スポーツの機会提供」プログラム. 羽村市. 2021年6月12日, 8月21日, 12月18日, 2022年2月12日.
- 楠田美奈: 花と迎える年末年始. 地域(株式会社アトレ)との連携活動. 三鷹市. 2021年12月1日-2022年1月4日.

鈴木 朋子

講演

- 佐々木裕子, 長谷川和子, 鈴木朋子, 場家美沙紀, 山内亮子, 太田ひろみ: コロナ禍におけるオンライン多胎育児準備クラスの活動報告. 第36回日本双生児学

会学術講演会．オンライン．2022年1月22日．

2. 横田秀香, 長谷川和子, 鈴木朋子, 佐々木裕子: ふたごとして育てられた青年期双生児の体験 - 平等に接しようとした親の関わりをふたご自身がどのように受け止めたか -. 第36回日本双生児学会学術講演会．オンライン．2022年1月22日．

長谷川 和子

講演

1. 佐々木裕子, 長谷川和子, 鈴木朋子, 場家美沙紀, 山内亮子, 太田ひろみ: コロナ禍におけるオンライン多胎育児準備クラスの活動報告．日本双生児研究学会．オンライン．2022年1月22日．
2. 横田秀香, 長谷川和子, 鈴木朋子, 佐々木裕子: ふたごとして育てられた青年期双生児の体験．日本双生児研究学会．オンライン．2022年1月22日．

論文

1. 長谷川和子: 障害を持つ胎児の人工妊娠中絶は許容されるか．人間学研究論集．11. 129-139. 2021.

場家 美沙紀

講演

1. 佐々木裕子, 長谷川和子, 鈴木朋子, 場家美沙紀, 山内亮子, 太田ひろみ: コロナ禍におけるオンライン多胎育児準備クラスの活動報告．日本双生児研究学会第36回学術講演会．オンライン．2022年1月22日．

山内 亮子

学会

1. 佐々木裕子, 長谷川和子, 鈴木朋子, 場家美沙紀, 山内亮子, 太田ひろみ: コロナ禍におけるオンライン多胎育児準備クラスの活動報告．日本双生児研究学会第36回学術講演会．オンライン．2022年1月22日．

入野 虎義

論文

1. 入野虎義, 小根山正貴¹, 日月裕司¹, 和出南², 新井淳一郎², 松山遼太郎¹, 望月一太郎¹, 富澤悠貴¹, 石山泰寛¹, 伊藤慎吾¹, 網木学¹, 長山和弘³, 原義明¹, 成田和宏¹, 後藤学¹, 藤野昇三³, 関川浩司⁴ (¹社会医療法人財団石心会川崎幸病院 消化器病センター 外科, ²社会医療法人財団石心会川崎幸病院 看護部, ³社会医療法人財団石心会川崎幸病院 呼吸器外科, ⁴社会医療法人財団石心会第二川崎幸クリニック): 診療看護師 (NP) が施行した抹消挿入型中心静脈カテーテル (PICC) 挿入の安全性の検討．日本NP学会誌．5 (2)．49-57. 2021.

竹林 令子

講演

交流集会

1. 竹林令子他: 精神科事例検討とリフレクティングー「きく」ことは「はなす」ことー．日本精神保健看護学会第31回学術集会．オンライン．2021年6月5日．

その他

1. 竹林令子 (分担執筆): 第111回看護師国家試験 精神看護学分野 (解説)．テコム看護．
2. 竹林令子 (分担執筆): 第112回看護師国試対策全国統一模試PreTest第2回．テコム看護．
3. 竹林令子 (分担執筆): 第112回看護師国試対策全国統一模試PreTest第3回．テコム看護．

● 臨床工学科 ●

磯山 隆

講演

1. 井上雄介, 川瀬由季乃, 田代彩夏, 斎藤逸郎, 磯山隆, 山田昭博, 山家智之, 寺澤武, 佐藤康史, 武輪能明: 生体と医療機器の境界面で使用するハイブリッド材料の最適足場検討．第60回日本生体医工学会大会．オンライン．2021年6月15日．
2. 登祐哉, 安楽真樹, 原伸太郎, 横井涼, 小野俊哉, 磯山隆, 井下尚子, 高井まどか, 小野稔, 中島淳: 新規開発人工肺の耐久性とECMO装着形態の安全性の検討．第57回日本移植学会総会．東京．2021年9月20日．

著書

1. 磯山隆 (分担執筆): 第4章 システム工学．臨床工学技士 ポケット・レビュー帳．福長一義 編集．メジカルレビュー社．2022. 69-74.

岸野 智則

講演

1. 芝崎翔平, 岸野智則, 砂原さくら, 横山智美, 原島敬一郎, 中島哲, 川村直弘, 森秀明, 大西宏明, 渡邊卓: 健康若年女性における夕方の生理的下腿浮腫について．日本超音波医学会第94回学術集会．神戸・オンライン．2021年5月23日．
2. 今井由季, 原島敬一郎, 今井美怜, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pで血管内皮機能を評価するーAYA-P脈波高とRHIの関係ー．第20回日本血管血流学会学術集会．オンライン．2021年10月31日．
3. 小岩龍盛, 原島敬一郎, 市川大暉, 平山健心, 石黒隆, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pを使用して安定したPWVを測定するー適切なサンプリング周波数の模索とデジタルフィルタの有用性ー．第20回日本血管血流学会学術集会．オンライン．2021年10月31日．
4. 刈本歩花, 原島敬一郎, 蒲牟田采音, 奥山祐美, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 僧帽筋の硬さと灌流する血液の男女比較ー肩こりの性差解明に向けてー．第20回日本血管血流学会学術集会．オンライン．2021年10月31日．
5. 鴛森直子, 岸野智則, 森井健司, 萬昂士, 山崎聡子,

大塚弘毅, 関口久美子, 柴原純二, 大西宏明, 渡邊卓: 悪性末梢神経鞘腫瘍(MPNST)の2例ー超音波画像所見の考察ー. 第68回日本臨床検査医学会学術集会. 富山・オンライン. 2021年11月11-14日.

6. 大塚弘毅, 菅田慎一, 松島早月, 山崎聡子, 岸野智則, 大西宏明, 荻田香苗, 渡邊卓: RAD50機能喪失変異による発癌性を検証するメダカ発癌実験. 第68回日本臨床検査医学会学術集会. 富山・オンライン. 2021年11月11-14日.
7. 市川大暉, 原島敬一郎, 小岩龍盛, 平山健心, 芝崎翔平, 中島哲, 岸野智則: 超高感度デジタル圧電振動センサAYA-Pを用いた総合的血管機能評価装置の開発ー適切なサンプリング周波数の決定とアーチファクト除去用デジタルフィルタの作成ー. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20-29日.
8. 奥山祐美, 芝崎翔平, 刈本歩花, 蒲傘田采音, 原島敬一郎, 中島哲, 岸野智則: 僧帽筋の硬さと血流の関係ー肩こりの病態や性差の解明に向けてー. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20-29日.

論文

1. Nakao H, Kashiwakura C, Shibasaki S, Harashima K, Nakajima S, Ohnishi H¹, Watanabe T¹, Kishino T¹(¹Faculty of Medicine): Possible effects of short rest after lunch on hemodynamics in the afternoon. *Eur J Appl Physiol.* 122 (2). 523-530. 2022.

著書

1. 岸野智則(分担執筆): 第14章臨床医学総論ー7.感染症/ 9.消化器系/ 11.麻酔科学/ 12.救急・集中治療学/ 14.免疫・移植/ 15.手術医学. 改訂第2版 臨床工学技士ポケット・レビュー帳. 福長一義 編集. メジカルビュー社. 2022. 338-344/353-358/362-363/364-369/377-382/383-385.

報告書

1. 岸野智則: 【基盤研究(C)(一般)】17K01439: 脂肪の超音波検査で生活習慣病の病勢を計る(2017年度~2021年度). 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金). 実施状況報告書(2021年度).
2. 岸野智則: 【基盤研究(C)(一般)】21K12756: 超音波検査の新技术で生活習慣病を診る(2021年度~2023年度). 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金). 実施状況報告書(2021年度).

その他

1. T.K.: 編集後記. 杏林医会誌. 52(4). 2021.

中島 章夫

口 演

1. 中島章夫: 医療機関における最近の電磁波ノイズ問題の原因と対策. 電気学会 第4回超スマート社会の実現に向けて障害となる雑音に関する調査専門委員会. Online. 2021年4月30日.
2. 中島章夫: 新カリキュラム変更点の解説, 臨床工学技士養成カリキュラム改訂の進捗状況とその対応. 第31回日本臨床工学会. 熊本・Online. 2021年5月23日.
3. 中島章夫: 臨床現場における電気安全, HCICヘルスケア産業従事者認証2級. 一般社団法人HCICヘルスケア産業従事者協会. Online. 2021年6月5日.

4. 中島章夫: ME技術教育委員会の紹介(ME2種・1種試験). 第60回日本生体医工学会大会. 京都・Online. 2021年6月17日.
5. 中島章夫: 光とレーザーの基礎・医用レーザーの基礎. 第48回日本レーザー医学会安全教育講習会. On Demand. 2021年6月27日-7月4日.
6. 中島章夫: 電気安全の基礎とトラブル事例~医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識~. 第43回ME技術講習会. e-ラーニング. 2021年8月2日-2021年9月30日
7. 中島章夫: 新カリキュラム変更点の解説, 第7回臨床工学技士養成教員学術研究会. (一社)日本臨床工学技士教育施設協議会. 札幌. 2021年9月25日.
8. 中島章夫: 電気安全の基礎とトラブル事例~医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識~. 第43回ME技術講習会. e-ラーニング. 2021年10月1日-2021年11月30日.
9. 中島章夫: Where there is a will, there is a way. 臨床工学技士100人カイギ vol.19. Online, 2021年10月9日.
10. 中島章夫: 光とレーザーの基礎・医用レーザーの基礎. 第49回日本レーザー医学会安全教育講習会. On Demand. 2021年10月18日-10月19日.
11. 中島章夫, 鶴沢一輝: Er:YAGレーザー照射時における組織への熱的影響~輝度情報を用いた最適照射条件の検討~. 第42回日本レーザー医学会総会. Online. 2022年10月22日.
12. 中島章夫: 臨床工学技士新カリキュラム改正の概要. 第20回日本臨床工学技士教育研究会. 東京・Online. 2021年11月13日.
13. 中島章夫: 第1種ME技術実力検定試験の改訂について. 第57回生体医工学研究会. 札幌・Online. 2021年11月14日.
14. 中島章夫, 堀池奈生, 戸川真寿, 窪田博: 赤外線凝固装置(KIRC)の基礎的研究~焼灼シミュレーション条件の構築~. 第30回日本コンピュータ外科学会大会. つくば. 2022年11月23日.
15. 中島章夫: 医療機器導入・廃棄の捉え方に関する医療機関と製造販売業者との相違. 第96回日本医療機器学会. 大阪・オンライン. 2021年11月15日.
16. 中島章夫: 臨床現場における電気安全, HCICヘルスケア産業従事者認証2級. 一般社団法人HCICヘルスケア産業従事者協会. Online. 2021年12月14日.
17. 中島章夫: 医療施設での電磁波ノイズ問題について. (一社)電気学会 電子回路研究会「非線形電子回路および電子回路一般」. Online. 2021年12月23日.
18. 中島章夫: 臨床工学技士養成校における手術医療に関する教育内容と問題点. 第43回日本手術医学会総会. 大阪. 2022年1月29日.
19. 中島章夫: 医用レーザー機器の安全. 第36回レーザー安全スクールS3, e-ラーニング. 一般財団法人光産業技術振興協会. 2022年3月14日-3月16日.
20. 中島章夫: 医療機器導入・廃棄の捉え方に関する医療機関と製造販売業者との相違. 2021年度MDIC更新ポイント取得セミナー. Online. 2022年3月29日.

論文

1. 中島章夫: 医療施設での電磁波ノイズ問題について. *IEE Japan.* (65-89). pp47-52. 2021.

著書

1. 中島章夫(共著): 医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識とトラブル事例と対策. 医療機器安全基

礎講習会 (ME技術講習会) 共通テキスト. 公益財団法人医療機器センター. 2020年10月20日. P21-44.

2. 中島章夫 (分担執筆) : 第II章1医療機器の保守点検概要3点検用機器4電気的安全測定法, 第III章1循環関連3: 血流計・心拍出量計, 3その他1: 内視鏡装置、第IV章4手術関連. 医療機器安全実践必須ガイド臨床工学編第5版. 一般社団法人日本医療機器学会監修. 日本エムイー振興協会. 2021年. P47-56, 58-70, 83-86, 95-98, 133-144.
3. 中島章夫: 第11章 臨床現場における電気安全. HCICヘルスケア産業従事者認証検定教科書2級. 一般社団法人HCICヘルスケア産業従事者協会. 2021年. P112-122.
4. 中島章夫: 第10章 医療機器に関する関係法規. 臨床工学講座 医用機器安全管理学 第2版第7刷. 篠原一彦, 出淵靖志編著. 医歯薬出版 (株). 2022年. P189-206.
5. 中島章夫 (編著) : 第1章 生体物性序論. 臨床工学講座 生体物性・医用材料工学 第1版第12刷. 氏平政伸編著. 医歯薬出版. 2022年. P1-5.
6. 中島章夫 (分担執筆) : 第3章 光治療器・第6章 1冷凍手術器・第7章1欠席砕石装置. 臨床工学講座 医用治療機器学 第2版第3刷. 篠原一彦 編著. 医歯薬出版. 2022年. P89-126, P157-163, P173-187.
7. 中島章夫: 第1章 電気とは・第2章 電流と電圧の関係・第3章 直流回路. 臨床工学講座 医用電気工学1第2版第6刷. 中島章夫, 戸畑裕志, 福長一義 共編著. 医歯薬出版. 2022年. P1-62.
8. 中島章夫: 第3章 医療法・第7章 医療関連判例. 臨床工学講座 関係法規 第1版第7刷. 中島章夫編・著, 東京, 医歯薬出版. 2021年1月10日. P19-30, P87-97.
9. 中島章夫: 第6章 キャパシタ・付録3 コンデンサの種類と構造. 臨床工学講座 医用電気工学2 第2版第7刷. 中島章夫, 戸畑裕志, 福長一義 共編著. 医歯薬出版. 2022年. P71-96, P191-195.
10. 中島章夫: 第1章 半導体とは・第8章 オペアンプ・第9章 電子回路部品・半導体センサ・第15章通信. 臨床工学講座 医用電子工学 第2版第8刷. 中島章夫, 福長一義 共編著. 医歯薬出版. 2022年. P1-12, P93-126, P127-136, P201-234.
11. 中島章夫: 第3章 電気・電子工学の基礎・第4章 医用電子回路・第6章 IV病院電気設備の安全基準・第7章実習1/4/6/7/9. 最新臨床検査学講座 医用工学概論第1版第5刷. 中島章夫, 嶋津秀昭 編著. 医歯薬出版. 2022年1月15日. P31-94, P154-162, P165-167, P173-174, P177-181, P184-186.

福長 一義

論文

1. 大貫雅也, 朝野聡¹, 森数美², 鈴木哲治, 中島章夫, 福長一義, 大瀧純一³ (1杏林大・保・健康福祉学, ²杏林大・保・救急救命学, ³杏林大) : NIRSを用いたニューロフィードバック訓練効果の検討—NIRSを用いたニューロフィードバックシステムの開発(続報)—. 杏林医学会誌. 52 (2) . 45-54. 2021.
2. 田辺貴幸¹, 中島章夫, 福長一義, 中村淳史, 鈴木哲治, 田辺克也¹, 佐藤耕一¹, 山下雄作¹, 中田貴丈¹, 田中千久¹, 高橋幸宏¹ (1榊原記念病院) : 小児心臓手術時の人工心肺中における人工肺入口圧の予測に関する研究. 体外循環技術. 48 (4) . 277-283. 2021.

著書

1. 福長一義 (分担執筆) : 第2編 専門科目 III 生体計測装置学. 小野哲章, 堀川宗之, 峰島三千男, 吉野秀朗 編集. 金原出版. 2022. 501-548.
2. 福長一義 (編集) : 改訂第2版 臨床工学技士ポケット・レビュー帳. メジカルビュー社. 2022.

中村 淳史

論文

原著

1. 中村淳史, 四倉正之: 人工心肺に使用される静脈リザーバの血流解析. 杏林医学会雑誌. 51 (1) . 3-10. 2022.
2. 田辺克之, 中島章夫, 福長一義, 中村淳史, 鈴木哲治, 田辺克也, 斎藤耕一, 中田貴丈, 田中千久, 高橋幸宏: 小児心臓手術時の人工心肺中における人工肺入口圧の予測に関する研究. 体外循環技術. 48 (4) . 277-283. 2021.

鈴木 哲治

口演

1. 鈴木哲治, 中島章夫: NPPVにおける最適なマスク装着に関する検討. 第96回日本医療機器学会大会. オンライン. 2021年12月13日-2022年1月12日.
2. 余川純音, 鈴木哲治, 木南伸一, 中島章夫: 医用テレメータ受信障害に対する漏洩同軸ケーブル再敷設による電磁環境改善の試み. 第96回日本医療機器学会大会. オンライン. 2021年12月13日-2022年1月12日.

論文

1. 田辺貴幸¹, 中島章夫, 福長一義, 中村敦史, 鈴木哲治, 田辺克也², 佐藤耕一², 山下雄作², 中田貴丈², 田中千久², 高橋幸宏² (1杏林大学保健学研究科, ²公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院) : 小児心臓手術時の人工心肺における人工肺入口圧の予測に関する研究. 体外循環技術. Vol.48 (No.04) . 277-283. 2021.
2. 大貫雅也, 朝野聡¹, 森数美², 鈴木哲治, 中島章夫, 福長一義, 大瀧純一²³ (1杏林大学保健学部健康福祉学, 杏林大学保健学部救急救命学, ³杏林大学) : NIRSを用いたニューロフィードバック訓練効果の検討 - NIRSを用いたニューロフィードバックシステムの開発(続報). 杏林医学会雑誌. 52 (2) . 277-283. 2021.

著書

1. 鈴木哲治 (分担執筆) : 臨床工学技士養成校における医療安全教育の現状と課題. Clinical Engineering Vol.32 No.07. 秀潤社. 2021. P598-604.
2. 鈴木哲治 (分担執筆) : 12章2: 安全基準, 3: 電気的安全性の測定. 改定第2版 臨床工学技士ポケット・レビュー帳. 福長一義 編集. 株式会社メジカルビュー社. 2021. P247-256.

大貫 雅也

論文

1. 大貫雅也, 朝野聡¹, 森数美², 鈴木哲治, 中島章夫, 福長一義, 大瀧純一³ (杏林大・保・健康福祉学, ²杏林大・保・救急救命学, ³杏林大): NIRSを用いたニューロフィードバック訓練効果の検討—NIRSを用いたニューロフィードバックシステムの開発(続報)—. 杏林医会誌. 52(2). 45-54. 2021.

著 書

1. 大貫雅也(分担執筆):第10章 医用治療機器学. 臨床工学技士 ポケットレビュー帳 改訂第2版. 福長一義編集. メジカルビュー社. 2022. 199-205.

● 理学療法学科 ●

跡見 友章

講 演

1. 跡見順子, 清水美穂, 跡見綾, 東芳一, 堀ノ内慎哉, 藤田恵理, 早崎沙彩, 菅井航, 跡見友章: b-leaning (4)COVID-19非常事態宣言下の大学生のレジリエンスを開発するために実施した身心一体科学教育の効果: 細胞生物学と触覚情報で刺激される体幹調整運動を伴う新しいアクティブ・ラーニング手法の学びと言語化. 第44回日本神経科学大会. オンライン. 2021年7月31日.
2. 跡見綾, 佐藤瑞樹, 大谷内正輝, 島山望, 杜徳成, 藤田恵理, 藤木聡一郎, 跡見友章, 清水美穂, 跡見順子: 重力下での動的制御課題である反復横跳びでの体節制御機構. 日本宇宙生物科学会第35回大会. オンライン. 2021年9月26日.
3. 跡見友章, 石井博之, 木村雅彦, 一場友実, 中野尚子: コア・コンピテンシー評価に基づいた医療系養成課程における臨床実習の知識・技能到達度に関する評価モデル. 日本教育工学会2021秋期全国大会. オンライン. 2021年10月16日.
4. 藤澤祐基, 跡見友章, 松村将司, 花房京佑, 中野尚子: 杏林大学理学療法学科2年生における臨床推論モデルを用いた理学療法教育の取り組みについて. 全国リハビリテーション学校協会「第34回教育研究大会・教員研修会」. オンライン. 2021年10月23日・24日.
5. 島山望, 田中和哉, 跡見友章, 佐野徳雄, 清水美穂, 跡見順子: 股関節のサポートによる腰背部への負担軽減効果について. 第28回日本未病学会学術総会. 大阪. 2021年11月20日.
6. 跡見順子, 清水美穂, 跡見綾, 東芳一, 堀ノ内慎哉, 大戸・藤田恵理, 早崎沙彩, 田中和哉, 跡見友章: ワークショップ1PWS1-10「抗重力筋分子シヤペロン研究が生んだ細胞身心一体科学による健康寿命延伸」. 横浜. 2021年12月1日.
7. 赫眞聖, 熊谷優里花, 田中美帆, 高橋拓己, 石井真日, 跡見友章: 不安定な立位条件下における頭部・体幹と四肢の反応特性—加速度センサと重心動揺計を用いて—. 第18回姿勢と歩行研究会. 東京. 2022年3月12日.

論 文

1. Ohkawa T¹, Atomi T, Shimizu M², Atomi Y² (Bunkyo Gakuin University, ²Tokyo University of Agriculture and Technology): Relationship of lower extremity kinematics in the sagittal plane with free moment during walking. J.Fiber Sci. Technol. 77(10). 250-257. 2021.

2. Ohto-Fujita E¹, Hatakeyama N¹, Atomi A¹, Yasuda S¹, Kodama S¹, Atomi T, Tanaka K², Hirose N², Harada K¹, Asano Y¹, Watanabe T¹, Hasebe Y³, Shimizu M¹ and Atomi Y^{1*} (Tokyo University of Agriculture and Technology, ²Teikyo University of Science, ³ALMADO inc): Effect of Eggshell Membrane Powder Intake on the Body Function of Healthy Individuals. J.Fiber Sci. Technol. 77(10): 258-265. 2021.
3. Yamaguchi K¹, Atomi T, Tanaka K², Ohto-Fujita E¹, Shimizu M¹, Atomi Y¹ (Tokyo University of Agriculture and Technology, ²Teikyo University of Science): Biomechanical Properties of the Skin on the Dorsal Trunk in Young Men. J.Fiber Sci. Technol. 77(11). 289-295. 2021.
4. Ohkawa T¹, Atomi T, Shimizu M², Atomi Y² (Bunkyo Gakuin University, ²Tokyo University of Agriculture and Technology): Effect of Change in Locomotion Speed on Free Moment. 国際エクササイズサイエンス学会誌. 5(1). 23-30. 2022.

石井 博之

講 演

1. 石井博之, 小堀貴亮, 古本泰之¹, 大久朋子², 北出恭子³ (杏林大学外国語学部, ²杏林大学保健学部健康福祉学科, ³杏林大学地域総合研究所客員研究員): 「杏林型ウェルネスツーリズム」の構想立案と実施およびその妥当性検証の研究. 第10回杏林CCRCフォーラム. オンライン. 2022年3月12日.
2. 相原圭太, 石井博之, 楠田美奈¹ (保健学部看護学科・看護養護教育学専攻): 「生涯スポーツの機会提供」プログラム. 第10回杏林CCRCフォーラム. オンライン. 2022年3月12日.

岡島 康友

講 演

1. 岡島康友: 教育講演—リハビリテーションに必要な末梢神経障害の予後診断. 第58回 日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都・オンライン講演会. 2021年6月11日.
2. 岡島康友: 教育研修講演—脳血管障害リハビリテーション. 第9回医師のための総合リハビリテーション講座. 日本慢性期医療協会. 東京・オンライン講演会. 2021年8月8日.

論 文

1. 岡島康友: 筋疾患・末梢神経疾患のリハビリテーション. 関節外科. 40(6). 623-627. 2021.

柴田 茂貴

講 演

1. Hirasawa A, Hirabuki K, Hata N, Suda T, Sano Y, Suzuki R, Fukuie M, Uechi T, Matsuda T, Sugawara J, Shibata S: Cerebral Blood Flow Responses to Severe Low Body Negative Pressure in Fit and Unfit, 68th American College of Sport

- Medicine Annual Meeting. オンライン. June 1-5. 2021.
- Hirabuki K, Hata N, Fukuie M, Suzuki R, Suda T, Uechi T, Hirasawa A, Sugawara J, Matsuda T, Shibata S.: Relationship between athlete's heart and blunted left ventricular untwist during orthostasis. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. オンライン. June 1-5. 2021.
 - Suzuki R, Hirabuki K, Hata N, Fukuie M, Suda T, Uechi T, Hirasawa A, Sugawara J, Matsuda T, Shibata S.: Difference between fit vs. unfit in heart rate and peripheral vascular resistance incrementation against the graded lower body negative pressure. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. オンライン. June 1-5. 2021.
 - Hata N, Suzuki R, Hirabuki K, Uechi T, Hirasawa A, Matsuda T, Shibata S.: Cardiac function during long-term aerobic exercise in healthy adults evaluated with 3-dimensional echocardiography. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. オンライン. June 1-5. 2021.
 - Matsushima S, Hirasawa A, Suzuki R, Murata H, Kimura M, Shibata S.: Cardiovascular and Metabolic Response During Aerobic Exercise Using Electrical Muscle Stimulation Combined with Passive Cycle-ergometer. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. オンライン. June 1-5. 2021.
 - Murata H, Matsushima S, Hirasawa A, Suzuki R, Kimura M, Shibata S.: Effects of neuromuscular stimulation on cerebral blood flow in healthy male adults. 68th American College of Sport Medicine Annual Meeting. オンライン. June 1-5. 2021.
 - 村田裕康, 松嶋真哉, 平澤愛, 鈴木里奈, 木村雅彦, 柴田茂貴: 健康成人男性における神経筋電気刺激療法が脳血流へ及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
 - 松嶋真哉, 平澤愛, 鈴木里奈, 村田裕康, 木村雅彦, 柴田茂貴: 神経筋電気刺激と他動的エルゴメーターの併用が健康成人の代謝反応と血行動態に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
 - 平吹一訓, 畑典孝, 福家真理那, 鈴木里奈, 須田智也, 植地貴弘, 平澤愛, 松田剛明, 菅原順, 柴田茂貴. 起立負荷に対する左室ほどけ運動加速の鈍化とスポーツ心臓との関係. 第76回日本体力医学会大会. 2021年9月17-19日.
 - 尾崎亮介, 大橋太郎, 善波雄一郎, 平光諒義, 山際紗葉, 鈴木里奈, 平澤愛, 柴田茂貴: 等尺性筋力トレーニングが起立時の血圧と脳血流維持に与える影響. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
 - 鈴木里奈, 松村憲, 村田裕康, 平澤愛, 八巻明子, 柴田茂貴: 抗酸化物質投与量の違いが運動の引き起こす酸化ストレス及び抗酸化力に与える影響. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
 - 柴田茂貴: 安全な運動処方の開発を目指して-運動時の循環調節異常を病態から紐解く- 有酸素運動時の循環応答に対する加齢の影響と運動トレーニングの効果. 第76回日本体力医学会大会. オンライン. 2021年9月17-19日.
 - 柴田茂貴, 鈴木里奈, 村田裕康, 平澤愛, 八巻明子, 村松憲: 抗酸化物質投与量の違いが運動の引き起こす酸化ストレス及び抗酸化力へ与える影響. 第50回杏林医学会総会. オンライン. 2021年11月20日.
 - 畑典孝, 柴田茂貴, 平岡修, 木村彬, 平吹一訓, 須田智也, 長谷川浩, 松田剛明: 長時間運動中における酸化ストレスの変化に関する報告. 第49回日本救急医学会総会. 東京. 2021年11月21-23日.
 - 木村彬, 平岡修, 池脇宏嗣, 平吹一訓, 須田智也, 畑典孝, 井坂葵, 吉本恵理, 柴田茂貴, 長谷川浩, 松田剛明: 救急受診した失神患者に対する脳血管機能評価の有効性についての検討. 第49回日本救急医学会総会. 東京. 2021年11月21-23日.
 - 平岡修, 木村彬, 池脇宏嗣, 平吹一訓, 須田智也, 畑典孝, 井坂葵, 吉本恵理, 柴田茂貴, 長谷川浩, 松田剛明: 救急外来における末梢性めまいの性状および再診に関する検討. 第49回日本救急医学会総会. 東京. 2021年11月21-23日.
 - 柴田茂貴: ヒトの活動を支える脳循環 心拍出量と脳循環: 静的および動的関係. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021. オンライン. 2021年9月3-5日.

論文

- Watanabe H¹, Washio T¹, Saito S¹, Hirasawa A², Suzuki R², Shibata S², Brothers M³, Ogoh S¹ (1Toyo University, 2Kyorin University Faculty of Health Science, 3University of Texas at Arlington): Validity of transcranial Doppler ultrasonography-determined dynamic cerebral autoregulation estimated using transfer function analysis. *J Clin Monit Comput.* 2022. DOI: 10.1007/s10877-022-00817-1. Online ahead of print.
- Shibata S, Hirabuki K¹, Hata N¹, Suzuki R¹, Suda T¹, Uechi T¹, Hirasawa A² (1Emergency Department, Kyorin University Hospital, 2Kyorin University Faculty of Health Science): Pivotal Role of Heart for Orthostasis: Left Ventricular Untwisting Mechanics and Physical Fitness. *Exerc Sport Sci Rev.* 2021. 49(2). 88-98.
- Higuchi S, Kabeya Y, Nishina Y, Miura Y, Shibata S, Hata N, Suda T, Hirabuki K, Hasegawa H, Yoshino H, Matsuda T: Clinical impact of noncontrast percutaneous coronary intervention in patients with acute coronary syndrome. *J Med Invest.* 69(1.2). 57-64. 2022.
- Hwang CL, Okazaki K, Shibata S, Liu YL, Fu Q: Menstrual cycle effects on sympathetic neural burst amplitude distribution during orthostasis in young women. *Clin Auton Res.* 31(6). 767-773. 2021.
- Matsushima S, Yoshida M, Yokoyama H, Watanabe Y, Onodera H, Wakatake H, Saito H, Kimura M, Shibata S: Effects on physical performance of high protein intake for critically ill adult patients admitted to the intensive care unit: A retrospective propensity-matched analysis. *Nutrition.* 91-92. 111407. 2021.

八並 光信

講演

- 八並光信, 橋立博之, 山本美緒, 若生玲, 小川巧馬, 斉藤利恵: 大学生の日中の過度の眠気と体動センサ

ー (Actigraph) による夜間睡眠パラメーターとの関連性について. 第58回日本リハビリテーション医学学会学術集会. オンライン. 2021年6月12日.

論文

1. Suzuki T¹, Hashisdate H, Fujisawa Y, Yatsunami M, Ota T², Shimizu N², Betsuyaku T¹ (¹Tokyo Tenshi Hospital, ²Hatsudai Rehabilitation Hospital): Reliability of measurement using Image J for reach distance and movement angles in the functional reach test. *J Phys Ther Sci*. 33 (2). 112-117. 2021.
2. Hashisdate H, Shimada H¹, Fujisawa Y, Yatsunami M(¹National Center for Geriatrics and Gerontology): An Overview of Social Participation in Older Adults: Concepts and Assessments. *Physical Therapy Research*. 24(2). 85-97. 2021.
3. 橋立博幸, 井澤花歩¹, 新井萌², 鈴木堯之³, 八並光信 (¹永生クリニック, ²苑田会リハビリテーション病院, ³東京天徳病院): 視覚情報の有無とIFA教示が静的立位保持課題に及ぼす影響. *理学療法学Supplement*. 48S1 (0). A-136-A-136. 2021.
4. 八並光信, 橋立博之, 山本美緒¹, 若生玲², 小川巧馬³, 齊藤利恵 (¹ねりま健育会病院,²河北総合病院,³苑田第三病院リハビリテーション科): 大学生の1日中の過度の眠気と体動センサー (Actigraph) による夜間睡眠パラメーターとの関連性について. *The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine*. 58 巻特別号. Page3-PBK-6-1. 2021.

一場 友実

講演

1. 一場友実, 宮川哲夫他: 先天性の心呼吸器疾患による労作時酸素飽和度低下児への呼吸同調式レギュレーター導入と訪問リハビリ併用効果. 第18回日本訪問リハビリテーション協会学術集会. オンライン. 2021年5月22-23日.
2. 一場友実, 宮川哲夫, 奥田邦晴他: 障がい者スポーツポッチャが地域高齢者の身体面・精神・心理面へ与える影響. 第58回日本リハビリテーション医学学会学術集会. オンライン. 2021年6月10-13日.
3. 居村修司, 奥田邦晴, 一場友実 他: 重度脳性麻痺ポッチャ選手の投球精度と自律神経活動の関連. 第58回日本リハビリテーション医学学会学術集会. オンライン. 2021年6月10-13日.
4. 矢作公佑, 奥田邦晴, 一場友実 他: ポッチャ選手に対するビデオ通話アプリを使用したオンライントレーニングの実施報告. 第58回日本リハビリテーション医学学会学術集会. オンライン. 2021年6月10-13日.
5. 一場友実: コロナ禍だからこそできる! 自分の身体をもっと素敵に・元気に~健康寿命延伸のためのプログラムの実践とユニバーサルスポーツの応用~. *Sun City 吉祥寺講演会*. オンライン. 2021年7月29日.
6. 一場友実, 奥田邦晴: 重度脳性麻痺選手の呼吸機能及び競技力強化における呼吸筋トレーニングの有用性. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会. オンライン. 2021年12月11-12日.

論文

1. 一場友実, 宮川哲夫, 津田徹 他: COPDのP0.1と呼吸困難. *日呼ケアリハ学誌*. 30 (1). p53-58. 2021.

2. 矢作公佑, 奥田邦晴, 一場友実 他: 重度脳性麻痺ポッチャ選手に対する寝返り動作の反復を用いたトレーニング方法の検討. *体力科学*. 70(3). 229-235. 2021.

榎本 雪絵

講演

学会発表

1. 藤尾祐子, 榎本佳子, 小川典子, 古川和稔, 小平めぐみ, 榎本雪絵: 自立支援介護を実践する特別養護老人ホーム入所者の「食形態」と「認知機能」との関係. 日本老年看護学会第26回学術集会. 名古屋. 2021年6月12-13日.
2. Fujio Y, Enomoto Y, Kodaira M, Enomoto Y, Furukawa K: Mental and physical functions of residents of special elderly nursing homes providing nursing care to support independence (1st report); Jaw bite and movement ability/cognitive function. 2021 ASHS Congress in SHIMONOSEKI. Shimonoseki. 28 November 2021.
3. Enomoto Y, Fujio Y, Kodaira M, Enomoto Y, Furukawa K: Mental and physical functions of residents of special elderly nursing homes providing nursing care to support independence (2st report); 2021 ASHS Congress in SHIMONOSEKI. Shimonoseki. 28 November 2021.
4. Kodaira M, Fujio Y, Enomoto Y, Furukawa K, Enomoto Y: Mental and physical functions of residents of special elderly nursing homes providing nursing care to support independence (3rd report): Cognitive function (ability) and care status. 2021 ASHS Congress in SHIMONOSEKI. Shimonoseki. 28 November 2021.

講演

一般向け公開講座

1. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの効果と注意点. 健幸ストレッチ教室. 三鷹市体協会主催. 2021年12月4日.

論文

1. Fujio Y¹, Enomoto Y¹, Ogawa N¹, Furukawa K², Kodaira M³, Enomoto Y (¹Juntendo University, ²Toyo University, ³International University of Health and Welfare Graduate School): Structure of Nutrition Improvement Approaches for Care-dependent Older People and Related Challenges in Community-based Integrated Care. *Asian Journal of Human Services (AJHS)*. Volume 20. 1-18. 2021.
2. 御船達矢¹, 榎本雪絵, 金田弘子¹, 森本益雄¹(¹医療法人社団もりもと森本外科・脳神経外科医院): 自立支援を目指したケアの実践効果 パワーリハビリテーション非実施群と実施群の比較から. 自立支援介護・パワーリハ学. 15巻1号. Page2-8. 2021年
3. 御船達矢¹, 榎本雪絵, 金田弘子¹, 森本益雄¹(¹医療法人社団もりもと森本外科・脳神経外科医院): 自立支援を目指したケアの実践効果 パワーリハビリテーション実施におけるADLへの影響. 自立支援介護・パワーリハ学. 15巻2号. Page94-101. 2021年

著書

1. 榎本雪絵(分担執筆): VIケアマネジメントの対象別分野 在宅リハビリの必要性の高い人の特徴とケアマネジメント. ケアマネジメント事典. 一般社団法人日

木村 雅彦

講演

1. 木村雅彦：もっと知ってほしい熱傷患者のリハビリテーション. 第30回日本熱傷学会総会・学術集会. オンライン. 2021年10月22日.
2. 木村雅彦：低酸素血症を改善するために. 第43回日本呼吸療法医学会学術集会. 横浜市. 2021年7月4日.
3. 木村雅彦：ディベート 人工呼吸器装着患者に対する呼吸理学療法は必要か (Pros. 人工呼吸器装着患者に対する呼吸理学療法は必要). 第43回日本呼吸療法医学会学術集会. 横浜市. 2021年7月4日.

学会発表

1. 村田裕康, 松嶋真哉, 平澤愛, 鈴木里奈, 木村雅彦, 柴田茂貴：健常人男性における神経筋電気刺激療法が脳血流へ及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. 津市・オンライン. 2021年9月17日.
2. 松嶋真哉, 村田裕康, 平澤愛, 鈴木里奈, 木村雅彦, 柴田茂貴：神経筋電気刺激と他動的エルゴメーターの併用が健常人の代謝反応と血行動態に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. 津市・オンライン. 2021年9月17日.
3. 宮原拓哉, 秋保光利, 高橋佑太, 木村雅彦, 田中秀輝, 岩田優助, 今井亮介, 白石英晶：間質性肺疾患増悪患者における自宅退院の可否の予測指標としての Functional Status Score for the ICUの有用性 -二施設前向き観察研究-. 第7回日本呼吸理学療法学会学術大会. 茨城市・オンライン. 2021年9月26日.
4. 牧野彰宏, 木村雅彦, 米澤隆介, 若梅一樹, 米田暉, 進藤里菜, 上原一帆：理学療法による身体機能の著明な改善を得たが、心理状態には悪化を認めた重症 Post COVID-19患者の一例. 第7回日本呼吸理学療法学会学術大会. 茨城市・オンライン. 2021年9月26日.
5. Murata H, Matsushima S, Hirasawa A, Suzuki A, Kimura M, Shibata S: Effects of neuromuscular stimulation on cerebral blood flow in healthy male adults. The American College of Sports Medicine 2021 Annual Meeting. オンライン. 2021年6月1日.
6. Matsushima S, Murata H, Hirasawa A, Suzuki A, Kimura M, Shibata S: Cardiovascular and metabolic response during aerobic exercise using electrical muscle stimulation combined with passive cycle-ergometer. The American College of Sports Medicine 2021 Annual Meeting. オンライン. 2021年6月1日.
7. 宮原拓哉, 秋保光利, 高橋佑太, 木村雅彦, 田中秀輝, 岩田優助, 今井亮介, 白石英晶：間質性肺疾患増悪患者における脊柱起立筋群断面積および歩行自立度と生命予後との関連性. 第31回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 高松市・オンライン. 2021年11月13日.
8. 跡見友章, 石井博之, 一場友実, 木村雅彦, 中野尚子：コア・コンピテンシー評価に基づいた医療系養成課程における臨床実習の知識・技能到達度に関する評価モデル. 日本教育工学会2021年度全国大会. 北九州市・オンライン. 2021年10月16日.
9. Abe Y, Horiuchi Y, Akiho M, Kimura M, Tanaka H, Tanaka J, Aoki J, Tanabe K : Prognostic

significance of malnutrition and physical function in patients with heart failure. 第86回日本循環器学会学術集会. 神戸市・オンライン. 2022年3月13日.

10. Abe Y, Horiuchi Y, Akiho M, Kimura M, Tanaka H, Tanaka J, Aoki J, Tanabe K : Association between perfusion or congestion and physical function in patients with

heart failure with preserved and reduced ejection fraction. 第86回日本循環器学会学術集会. 神戸市・オンライン. 2022年3月13日.

論文

1. 宮原拓哉¹, 秋保光利¹, 高橋佑太², 田中秀輝¹, 岩田優助¹, 今井亮介¹, 次富亮輔², 白石英晶², 青野ひろみ³, 木村雅彦 (¹三井記念病院, ²聖路加国際病院, ³東京警察病院): 間質性肺疾患入院患者における脊柱起立筋群断面積と筋力およびADL能力との関連性. 呼吸理学療法. 1巻. 2-13. 2022.
2. Kimura M, Tadano K, Abe T, Arai N, Oikawa S, Doi R, Miyashita Y: Relationships between parameters of respiratory muscle activity measured by ultrasonography and magnetic resonance imaging. J Rehab Res Pract. 3. 7-14. 2022.
3. Tobita K¹, Kimura M, Kodama Y¹, Goda A², Okajima Y¹ (¹Division of Rehabilitation Services, Kyorin University Hospital, ²Department of Cardiovascular Medicine, Kyorin University School of Medicine): Hemodynamic and ventilatory predictors related to increases in pulmonary artery pressure during exercise in patients with pulmonary hypertension. J Kyorin Med Soc. 52(4). 167-176. 2021.
4. Matsushima S¹, Yoshida M¹, Yokoyama H¹, Watanabe Y¹, Onodera H¹, Wakatake H¹, Saito H¹, Kimura M, Shibata S² (¹St. Marianna University Hosp, ²Department of Physical Therapy, Faculty of Health Science, Kyorin University). The effects of high protein intake for critically ill adult patients admitted to ICU on physical performance: A retrospective propensity-matched analysis. Nutrition. 91-92. 2021. DOI: <https://doi.org/10.1016/j.nut.2021.111407>.
5. 佐々木淳一¹, 松嶋麻子¹, 池田弘人¹, 井上貴昭¹, 片平次郎¹, 岸邊美幸¹, 木村中¹, 佐藤幸男¹, 田熊清継¹, 田中克己¹, 林稔¹, 松村一¹, 安田浩¹, 吉村有矢¹, 青木弘道², 石崎力久², 磯野伸雄², 上田敬博², 梅澤和也², 大須賀章倫², 小倉崇以², 海田賢彦², 河合勝也², 川本恭子², 木村雅彦, 久保貴嗣², 栗原智宏², 黒川正人², 小林主献², 齋藤大蔵², 七戸龍司², 渋谷崇行², 鈴木裕也², 副島一孝², 橋本一郎², 藤原修², 松浦裕司², 見井田和正², 宮崎道輝², 村尾尚規², 森川亘², 山田祥子² (¹日本熱傷学会熱傷診療ガイドライン改訂第3版作成委員会, ²日本熱傷学会熱傷診療ガイドライン改訂第3版作成ワーキンググループ): 日本熱傷学会熱傷診療ガイドライン〔改訂第3版〕. 熱傷. 47(Supplement). S1-S108. 2021.

総説

1. 木村雅彦：重症熱傷患者に対するリハビリテーション. 救急医学. 45(11). 1422-1427. 2021.
2. 木村雅彦：呼吸理学療法. 救急・集中治療. 33(4). 1325-1335. 2021.
3. 木村雅彦：熱傷患者に対するリハビリテーションの進歩. 医学の歩み. 280(12). 1243-1247. 2022.

著書

1. 木村雅彦(分担執筆):急性呼吸不全患者に対するリハビリテーション. 内山靖(編):リハベリック 安全管理学・救急医療学. 医歯薬出版株式会社. p96-97.
2. 木村雅彦(分担執筆):急性心不全患者に対するリハビリテーション. 内山靖(編):リハベリック 安全管理学・救急医療学. 医歯薬出版株式会社. p98-99.
3. 木村雅彦(分担執筆):脳卒中患者に対するリハビリテーション. 内山靖(編):リハベリック 安全管理学・救急医療学. 医歯薬出版株式会社. p100-101.
4. 木村雅彦(分担執筆):重症熱傷患者に対するリハビリテーション. 内山靖(編):リハベリック 安全管理学・救急医療学. 医歯薬出版株式会社. p102-103. 2021.
5. 木村雅彦(分担執筆):30章 熱傷. 運動器障害理学療法学テキスト 改訂第3版. 高柳清美, 中川法一, 木藤伸宏(編). 南江堂. 2021. p303-307.

倉林 準

講演

1. 倉林準:歩行分析「歩行分析をひもときながらの今後」. 第48回日本臨床バイオメカニクス学会. 宮崎. 2021年11月6日.

論文

1. 倉林準, ¹三宅英司, ²吹田真士, ³坂井やよい (1昭和大学, ²筑波大学, ³河北総合病院):動作分析・解析をスポーツ競技のパフォーマンスに活かす. 日本バイオメカニクス学会誌. 45(4). 220-226. 2021.

橋立 博幸

講演

【学会発表】

1. 橋立博幸, 井澤花歩, 新井萌, 荻久保誠, 八並光信:異なる言語教示が静的立位保持課題に及ぼす影響. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都・オンライン. 2021年6月10-13日.
2. 河合結実, 橋立博幸, 太田智裕, 山根佑典, 中筋祐輔:脊髄損傷後の両下肢の痙縮と歩行障害に対する振動療法を併用した運動介入効果の検討. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都・オンライン. 2021年6月10-13日.
3. 八並光信, 橋立博幸, 山本美緒, 若生玲, 小川巧馬, 斎藤利恵:大学生の日中の過度の眠気と体動センサー(Actigraph)による夜間睡眠パラメーターとの関連性について. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都・オンライン. 2021年6月10-13日.
4. 内田賢一, 橋立博幸, 八並光信:モニタリングをしない長期低強度ホームエクササイズが高齢女性の身体活動量および身体機能に及ぼす効果. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都・オンライン. 2021年6月10-13日.
5. 比護真太郎, 橋立博幸, 岡田有加, 小杉元気, 笹野周平:上肢および下肢に対するinternal focus of attentionが最速歩行に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会. オンライン. 2021年10月23-24日.
6. 橋立博幸, 清水夏生, 太田智裕:回復期脳卒中者における入院から1か月間の施設内生活空間での身体活

動の変化と入院時基本的ADLとの関係. 第19回日本神経理学療法学術大会. オンライン. 2021年12月18-19日.

7. 太田智裕, 橋立博幸, 清水夏生:心疾患の既往が回復期脳卒中者の日常生活活動の改善に及ぼす影響. 第19回日本神経理学療法学術大会. オンライン. 2021年12月18-19日.

論文

1. Hashidate H, Shimada H¹, Fujisawa Y, Yatsunami M. (¹国立長寿医療研究センター): An overview of social participation in older adults: Concepts and assessments. *Phys Ther Res.* 24(2). 85-97. 2021.
2. Suzuki T¹, Hashidate H, Fujisawa Y, Yatsunami M, Ota T², Shimizu N², Betsuyaku T¹. (¹東京天徳病院, ²初台リハビリテーション病院): Reliability of measurement using Image J for reach distance and movement angles in the functional reach test. *J Phys Ther Sci.* 33(2). 112-117. 2021.

著書

1. 橋立博幸(分担執筆):サービス種別にみる地域理学療法の実際<入所系サービス>. 最新理学療法学講座 地域理学療法学. 牧迫飛雄馬編. 医歯薬出版. 2021. p78-94.
2. 橋立博幸(分担執筆):第4章 脳血管障害(生活期)・認知症. 理学療法アクティブ・ラーニング・テキスト. 諸橋勇, 有馬慶美, 加藤研太郎編. 文光堂. 2021. p82-83, p100-107.

村松 憲

講演

1. Muramatsu K, Shimo S, Tamaki T, Ikutomo M, Niwa M: Functional and morphological changes in the corticospinal tract of streptozotocin-induced diabetic rats. 第44回日本神経科学大会. オンライン. 2021年7月30日.
2. Oshiro N, Muramatsu K, Iwasaki Y, Niwa M: Comparison of contractile characteristics of the abdominal and external anal sphincter muscle involved in defecation function in rats. 第44回日本神経科学大会. オンライン. 2021年7月30日.
3. 玉木徹, 生友聖子, 村松憲:糖尿病に起因するヒラメ筋の収縮特性の変化は低強度運動によって予防可能である. 第7回日本糖尿病理学療法学術大会. オンライン. 2021年8月29日.
4. Muramatsu K: Motor system dysfunction caused by diabetes mellitus. Public Symposium: Roles of glucose metabolism in neural activity under physiological and pathological conditions. 第99回日本生理学会大会. 仙台. 2022年3月17日.

論文

1. Muramatsu K, Shimo S¹, Tamaki T¹, Ikutomo M², Niwa M³ (¹Health Science University, ²University of Tokyo Health Sciences, ³Department of Occupational Therapy): Functional and Structural Changes in the Corticospinal Tract of Streptozotocin-Induced Diabetic Rats. *Int J Mol Sci.* 22(18). 10123. 2021.

その他

1. Muramatsu K: The potentials of animal studies in basic research. 公益社団法人日本理学療法士協会

カンボジアにおける非感染性疾患に対するリハビリテーション専門職人材育成の展開事業「カンボジア理学療法士協会バーチャルサイトビジット」web講演会. オンライン. 2022年2月14日.

藤澤 祐基

講演

1. 藤澤祐基, 跡見友章, 松村将司, 花房京佑, 中野尚子: 杏林大学理学療法学科2年生における臨床推論モデルを用いた理学療法教育の取り組みについて. 第34回教育研究大会・教員研修会. オンライン. 2021年10月23日-24日.

論文

1. Hashidate H, Shimada H¹, Fujisawa Y, Yatsunami M (¹National Center for Geriatrics and Gerontology): An overview of social participation in older adults: Concepts and assessments. *Physical Therapy Research*. 24(2). 85-97. 2021.
2. Suzuki T¹, Hashisdate H, Fujisawa Y, Yatsunami M, Ota T², Shimizu N², Betsuyaku T¹ (¹Tokyo Tenshi Hospital, ²Hatsudai Rehabilitation Hospital): Reliability of measurement using Image J for reach distance and movement angles in the functional reach test. *Journal of Physical Therapy Science*. 33(2). 112-117. 2021.

松村 将司

講演

学会発表

1. 門馬博, 跡見友章, 藤澤祐基, 松村将司, 相原圭太, 花房京佑, 倉林準, 中野尚子: 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う総合臨床実習の代替実習に関する試み. 第53回日本医学教育学会大会. オンライン. 2021年7月30-31日.
2. 藤澤祐基, 跡見友章, 松村将司, 花房京佑, 中野尚子: 杏林大学理学療法学科2年生における臨床推論モデルを用いた理学療法教育の取り組みについて. 第34回教育研究大会・教員研修会. オンライン. 2021年10月23-24日.
3. 松村将司, 栗原靖: 小学生バドミントンクラブの練習状況と疼痛との関連-質問紙調査による横断研究-. 日本バドミントン学会 第5回学会大会. オンライン. 2022年3月6日.

一般講演

1. 松村将司: もう、転ばない! ふらつかない! “めまい・ふらつき改善に必要な運動を知ろう” 今日からできる”めまい・ふらつき”対策. 東京都理学療法士協会都民向け介護予防公開講演会. オンライン. 2021年11月7日.

論文

1. Matsumura M, Murofushi T¹(¹Department of Otolaryngology, Teikyo University School of Medicine, Mizonokuchi Hospital): Vestibular Rehabilitation after Vestibulopathy Focusing on the Application of Virtual Reality. *J otorhinolaryngol hearing balanc med*. 2(2). 5. 2021.
2. 松村将司, 室伏利久¹(¹帝京大学医学部附属溝口病

院): 両側前庭機能低下に対する前庭リハビリテーション. *Equilibrium res*. 80(3). 223-232. 2021.

著書

1. 松村将司(分担執筆): 背部機能障害理学療法ガイドライン. 理学療法ガイドライン第2版. 日本理学療法士協会監, 日本理学療法学会連合, 理学療法標準化検討委員会ガイドライン部会編. 医学書院. 2021. p.219-247.
2. 松村将司(分担執筆): 軟骨. 最新理学療法学講座 運動器理学療法学. 木藤伸宏編. 医歯薬出版株式会社. 2021. p.27-29.

門馬 博

講演

1. 門馬博, 跡見友章, 藤澤祐基, 松村将司, 相原圭太, 花房京佑, 倉林準, 中野尚子: 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う総合臨床実習の代替実習に関する試み. 第53回日本医学教育学会総会. オンライン. 2021年7月30-31日.
2. 硯川潤, 原田祐輔, 門馬博, 近藤知子, 澤田有希, 竹嶋理恵: 操作入力情報を用いたハンドル型電動車椅子の定量的な安全評価指標の構築. 第35回リハ工学会カンファレンス. オンライン. 2021年9月25-26日.
3. 福田明加, 加藤玲奈, 小谷木雅基, 平井光祐, 峯岸奈央, 村田俊之輔, 門馬博: 免荷歩行における筋活動の低下は下肢近位筋でより大きな影響を受ける. 第67回日本宇宙航空環境医学会大会. 東京・オンライン. 2021年11月20日.
4. 門馬博: 変化する社会の中で理学療法士養成課程はどうあるべきか. 第10回日本理学療法教育学会学術大会. オンライン. 2021年12月5日.
5. 門馬博: 宇宙×理学療法 社会の変化と未来の生活を見据えて. 第38回神奈川県理学療法士学会. オンライン. 2022年2月6-28日.

論文

1. 門馬博: 知っておきたい・深めたい Close-up デジタル化する理学療法 理学療法教育のデジタル化 オンライン授業と Learning Management System の活用. *理学療法ジャーナル*. 55(11). 1244-1247. 2021.

著書

1. 門馬博(分担執筆): 運動イメージと脳卒中理学療法. 運動学・神経学エビデンスと結ぶ脳卒中理学療法. 渡辺学 編集. 中外医学社. 2022. 272-279.

その他

1. 門馬博: 宇宙飛行士が行うトレーニング. 朝日宇宙フォーラム2022. オンライン. 2022年1月20日.

相原 圭太

講演

1. 相原圭太: 2021年度第1回歩き方教室～基礎編～. 羽村市. 2022年1月8日.
2. 相原圭太: 2021年度第2回歩き方教室～実践編～. 羽村市. 2022年1月22日.
3. 相原圭太, 石井博之¹, 楠田美奈² (¹杏林大学保健学部理学療法学科, ²杏林大学保健学部看護学科養護教育学専攻): 「生涯スポーツの機会提供」プログラム.

第10回杏林CCRCフォーラム. オンライン. 2022年3月12日.

丹羽 正利

論文

1. 相原圭太: 脳卒中片麻痺患者の歩行における痙縮と下腿装具について. *Kyorin University Journal*. 39. 1-16. 2022.

● 作業療法学科 ●

近藤 知子

講演

1. 近藤知子: 作業科学論文の読み方ー作業科学研究論文を効果的に読むー. 日本作業科学研究会オンライン研修会. オンライン. 2021年4月24日.
2. 小野沙絵, 北瑞希, 弓田美織, 由本舞, 近藤知子: ボランティア団体が行う自助具作成と作業療法士の連携の可能性. 第17回東京都作業療法学会. オンライン. 2021年7月11日.
3. 我部舞希, 上條瑞歩, 前田直, 近藤知子: 日本への留学生に対する作業療法の可能性: 中国人留学生への面接調査. 第55回日本作業療法学会. オンライン. 2021年9月10日-11日.
4. 澤田有希, 原田祐輔, 竹嶋理恵, 硯川潤, 近藤知子: 作業療法学生に対する3Dプリンタによる自助具の教育プログラムーオンライン授業での実施報告ー. 第55回日本作業療法学会. オンライン. 2021年9月10日-11日.
5. 硯川潤, 原田祐輔, 門馬博, 近藤知子, 澤田有希, 竹嶋理恵: 操作入力情報を用いたハンドル型電動車椅子の定量的な安全評価指標の構築. 第35回リハ工学カンファレンス. オンライン. 2021年9月26日.
6. 近藤知子: 作業療法再考-日常生活を構築する作業を見つける-. 第35回大阪作業療法学会. オンライン. 2021年12月4日.
7. 近藤知子: 作業科学論文の読み方ー作業科学研究論文を効果的に読むー. 日本作業科学研究会オンライン研修会. オンライン. 2022年1月22日.

論文

1. 近藤知子: 「作業」の概念を教える-作業療法を学ぶ学生を対象として-. *作業科学研究*. 15(1). 33-43. 2021.

著書

1. 近藤知子: 新しい日常ーコロナ禍での日常生活の過ごし方ー (監訳): 日本作業療法士協会. 2021. https://www.jaot.or.jp/files/news/covid19/TheNewNormal_ebook_JP.pdf

報告書

1. 近藤知子: 医療・介護職が3Dプリント福祉用具を簡易に作成するための教育プログラム開発. 科研費助成事業. 2021年度. 実施状況報告書.

その他

1. 近藤知子: WFOT: 作業的ナラティブデータベースプロジェクトと作業理解. 第24回日本作業科学研究会学術大会. 自主企画ワークショップ. オンライン. 2021年10月23日.

講演

1. Muramatsu K, Shimo S, Tamaki T, Ikutomo M, Niwa M: Functional and morphological changes in the corticospinal tract of streptozotocin-induced diabetic rats. 第44回日本神経科学大会. オンライン. 2021年7月30日.
2. Oshiro N, Muramatsu K, Iwasaki Y, Niwa M: Comparison of contractile characteristics of the abdominal and external anal sphincter muscle involved in defecation function in rats. 第44回日本神経科学大会. オンライン. 2021年7月30日.

論文

1. Muramatsu K¹, Shimo S², Tamaki T², Ikutomo M³, Niwa M¹(¹Department of Physical Therapy, ²Health Science University, ³University of Tokyo Health Sciences): Functional and Structural Changes in the Corticospinal Tract of Streptozotocin-Induced Diabetic Rats. *Int J Mol Sci*. 22 (18) . 10123. 2021.

著書

1. 丹羽正利 (分担執筆): VI世界の作業療法. 作業療法学概論 第4版. 能登真一編集. 医学書店. 2021. 63-72.

望月 秀樹

講演

1. 望月秀樹: パワーリハビリテーション疾患別運営方法. パワーリハビリテーション指導員研修会. オンライン. 2021年4月17日.
2. 長島泉, 武田湖太郎, 原田祐輔, 望月秀樹, 下田信明: 手の心的回転課題遂行方略の年齢による違い. 第44回日本神経科学大会/第1回CJK 国際会議. 神戸・オンライン. 2021年7月28日-31日.
3. 鈴木優喜子, 原田祐輔, 望月秀樹: 認知症者を持つ主介護者の介護負担感に対するリハビリテーション職による介入 ランダム化比較試験の文献レビュー. 第10回日本認知症予防学会学術集会. 横浜・オンライン. 2021年8月28日-29日.
4. 望月秀樹: パワーリハビリテーション各論. パワーリハビリテーション実務者研修会. オンライン. 2021年9月12日.
5. 望月秀樹: パワーリハビリテーション運営理論II. パワーリハビリテーション上級指導員研修会. オンライン. 2021年11月21日.
6. 望月秀樹: パワーリハビリテーション疾患別運営方法. パワーリハビリテーション指導員研修会. 東京. 2021年12月4日.

その他

1. 望月秀樹: 第19回・第20回合同 日本自立支援介護・パワーリハ学術大会. 企画・開催. 東京・オンライン. 2021年6月19日-20日.

岩崎 也生子

講演・学会発表

1. 岩崎也生子, 田村祐樹, 村上莉佳子: 放課後等デイサ

ービス利用の有無が保護者と子どもの生活に与える影響～保護者と子どもの日中の活動調査を通して～. 第55回日本作業療法学会. オンライン. 2021年9月10-11日.

2. 岩崎也生子: 子どもの高次脳機能障害を取り巻く生活課題. 令和3年度 港区 高次脳機能障害理解促進事業 講演会. 東京. 2022年11月28日.

論文

1. Yaoko Iwasaki, Takaji Suzuki: Effect of interventions on mental functioning during hospitalization on recovery from post-discharge depression and development of social support systems. Journal of Human Environmental Studies. Volume 19. 59-63. 2021.
2. 岩崎也生子: 脳卒中後の心理的問題とその対応ー脳卒中後うつ状態 (PSD)を中心にー. 作業療法ジャーナル. 55(8). 834-837. 2021.

著書

1. 岩崎也生子(分担執筆): 高次脳機能障害の作業療法. ゴールドマスター1 作業療法概論第3版. 里村恵子編集. メジカルビュー社. 2021. p175-194.
2. 岩崎也生子(分担執筆), 鈴木孝治: 高次脳機能障害の評価. ゴールドマスター5高次脳機能障害作業療法第3版. 鈴木孝治 編集. メジカルビュー社. 2022. p39-48.
3. 岩崎也生子(分担執筆), 鈴木孝治: 事例集. ゴールドマスター5高次脳機能障害作業療法第3版. 鈴木孝治 編集. メジカルビュー社. 2022. P282, 295.

鈴木 健太郎

講演

1. 鈴木健太郎, 広瀬翔, 北越大輔, 山下晃弘, 鈴木雅人: 包括的な地域高齢者支援情報環境の構築に向けたシステムの開発ー印象調査の結果から. 第17回東京都作業療法学会. オンライン. 2021年7月11日.
2. 片野結, 北越大輔, 鈴木健太郎, 鈴木雅人: ロボットとの対戦型ゲームにもとづく転倒予防システムに関する研究ー昔遊びを基盤とした四肢の運動を可能とする新ゲーム導入について. 生命ソフトウェア・感性工房・而立の会合同シンポジウム2021. オンライン. 2021年11月7日.
3. 廣瀬翔, 北越大輔, 鈴木健太郎, 鈴木雅人: 知的対話エージェントにおける発話内容調整機構の改良と特性評価ー包括的介護予防システムの実現に向けて. 電子情報通信学会WIT研究会. オンライン. 2022年3月8日.
4. 片野結, 北越大輔, 鈴木健太郎, 鈴木雅人: ロボットとの対戦型ゲームにもとづく転倒予防システムに関する研究ー四肢の運動を可能とするじゃんけんを用いた新ゲームの提案と評価. 2022年電子情報通信学会総合大会. オンライン. 2022年3月17日.

早坂 友成

講演

1. 長島泉, 二田未来, 早坂友成, 片桐建志, 渡邊衡一郎: 新型コロナウイルス感染症拡大による大学病院の外来精神科作業療法の変化. 第54回日本作業療法学会.

仙台・オンライン. 2021年9月13日-10月17日.

2. 二田未来, 長島泉, 早坂友成, 野崎和博, 渡邊衡一郎: 新型コロナウイルス感染症禍による精神科作業療法の治療構造の変化. 第54回日本作業療法学会. 仙台・オンライン. 2021年9月13日-10月17日.

令和2年度追加分

1. 早坂友成: 気分障害の作業療法-広くて深い”うつ”の理解. 東北作業療法学会. 岩手・オンライン. 2020年6月20日.
2. 長島泉, 早坂友成, 高江洲義和, 二田未来, 野崎和博, 片桐建志, 今村弥生, 神田優太, 栗原真理子, 大江悠樹, 吉田信子, 青鹿由紀, 坪井貴嗣, 渡邊衡一郎: 難治性うつ状態を呈する神経発達症の特徴-作業療法による行動評価の活用. 第18回日本うつ病学会. 横浜・オンライン. 2020年7月8-10日.
3. 栗原真理子, 大江悠樹, 坪井貴嗣, 高江洲義和, 野崎和博, 片桐建志, 今村弥生, 早坂友成, 二田未来, 神田優太, 青鹿由紀, 小野田直子, 渡邊衡一郎: 難治性うつ状態にある患者を認知機能の側面から捉えなおす試み. 第18回日本うつ病学会. 横浜・オンライン. 2020年7月8-10日.
4. 吉田信子, 早坂友成, 齊藤広子, 寺西優里奈, 長内千紗, 岡田昌也, 長島泉, 二田未来, 松本由美, 青鹿由紀, 野崎和博, 坪井貴嗣, 渡邊衡一郎: 大学病院での精神科作業療法における看護師の役割ー気分障害治療における多職種チーム医療. 第18回日本うつ病学会. 横浜・オンライン. 2020年7月8-10日.
5. 早坂友成: 精神科作業療法の活かし方. 杏林大学医学部附属病院精神神経科. オンライン. 2020年9月17日.
6. 早坂友成: 日本作業療法士協会講演③-作業療法士の技能向上の取り組み. 東海北陸作業療法学会. 富山・オンライン. 2020年12月12日.
7. 早坂友成: 生涯教育研修会・認定作業療法士選択研修会-精神障害領域. 日本作業療法士協会. オンライン. 2020年12月4-5日.

その他

(学会主催)

1. 早坂友成: 多職種やチームをつなぐための実践知の継承～どう学び, どう教えるかをみんなで考えよう. 第34回日本総合病院精神医学会総会. オンライン. 2021年12月7-31日.

令和2年度追加分

1. 早坂友成: 作業療法士臨床実習指導者講習会. 日本作業療法士協会. オンライン. 2020年11月27-28日.

大城 直美

講演

1. 小椋千容, 大八木陽女, 古厩佳代, 大城直美: 車椅子バスケットボール選手の上肢機能の特徴とスポーツの可能性. 第17回東京都作業療法学会. オンライン. 2021年7月11日.
2. Oshiro N, Muramatsu K, Iwasaki Y, Niwa M: Comparison of contractile characteristics of the abdominal and external anal sphincter muscle involved in defecation function in rats. 第44回日本神経科学大会. 神戸・オンライン. 2021年7月31日.

鈴木 優喜子

講演

1. 鈴木優喜子, 須藤崇行: 記憶障害に関する病識低下と認知症罹患に対する不安との関係: 要介護高齢者を対象とした予備的研究. 第55回日本作業療法学会学術集会. オンライン. 2021年9月10-11日.
2. 河田萌生, 清水恵, 尾崎章子, 大橋由基, 鈴木優喜子, 原田祐輔, 久篠奈苗, 下田信明: 身体機能低下を伴う在宅高齢者における運動療法と栄養療法の複合的介入の効果: システマティックレビューとメタアナリシス. 第26回日本在宅ケア学会学術集会. オンライン. 2021年8月28日-29日.
3. 清水恵, 河田萌生, 大橋由基, 原田祐輔, 鈴木優喜子, 久篠奈苗, 下田信明, 尾崎章子: 在宅療養中の要介護高齢者への栄養士の個別訪問を含む多職種による栄養サポートの効果: システマティックレビューとメタアナリシス. 第26回日本在宅ケア学会学術集会. オンライン. 2021年8月28日-29日.
4. 鈴木優喜子, 原田祐輔, 久篠奈苗, 河田萌生, 清水恵, 大橋由基, 尾崎章子, 金盛琢也, 亀井智子, 下田信明: 在宅認知症高齢者を対象とした訪問リハビリテーションの有効性に関するメタアナリシス. 第26回日本在宅ケア学会学術集会. オンライン. 2021年8月28日-29日.
5. 鈴木優喜子, 原田祐輔, 望月秀樹: 認知症者を持つ主介護者の介護負担感に対するリハビリテーション職による介入 ランダム化比較試験の文献レビュー. 第10回日本認知症予防学会学術集会. オンライン. 2021年6月24日-26日.

論文

1. 鈴木優喜子, 原田祐輔, 久篠奈苗¹, 河田萌生², 清水恵³, 大橋由基⁴, 尾崎章子³, 金盛琢也⁵, 亀井智子², 下田信明¹ (1東京家政大学, 2東北大学, 3洛和会音羽リハビリテーション病院, 4浜松医科大学, 5聖路加国際大学): 在宅認知症高齢者を対象とした訪問リハビリテーションの有効性 システマティックレビューとメタアナリシス. 日本在宅ケア学会誌. 25(2). 61-76. 2022.
2. 河田萌生¹, 清水恵², 大橋由基³, 鈴木優喜子, 原田祐輔, 久篠奈苗⁴, 下田信明⁴, 尾崎章子³ (1聖路加国際大学, 2東北大学, 3洛和会音羽リハビリテーション病院, 4東京家政大学): 身体機能低下を有する在宅高齢者におけるレジスタンストレーニングおよびタンパク質強化型栄養療法による複合的介入の効果 システマティックレビューとメタアナリシス. 日本在宅ケア学会誌. 25(2). 117-133. 2022.
3. Yamane N¹, Tsukagoshi K², Hisada M³, Yamaguchi M⁴, Suzuki Y (1Master Course, Graduate School of Comprehensive Scientific Research, Prefectural University of Hiroshima, 2Akabane Rehabilitation Hospital, 3Shin-Kuki General Hospital, 4Meirikai Chuo General Hospital): A survey of dementia knowledge and recognition of dementia prevention and practice in healthy older adult. Dement Geriatr Cogn Disord Extra. 11(3). 256-263. 2021.
4. 鈴木優喜子, 田崎悠人¹ (1Aida Hospital): 地域在住自立高齢者の閉じこもりに対する自覚的認知機能低下の影響. 日本作業療法研究学会雑誌. 24(1). 27-34. 2021.
5. 清水恵¹, 河田萌生², 大橋由基³, 原田祐輔, 鈴木優喜子, 久篠奈苗⁴, 下田信明⁴, 尾崎章子¹ (1東北大学, 2聖路加国際大学, 3洛和会音羽リハビリテーション病院, 4東京家政大学): 在宅療養および施設入居要介護高齢者への栄養士の個別訪問を含む多職種による

栄養サポートの効果 システマティックレビューとメタアナリシス. 日本在宅ケア学会誌. 24(2). 42-51. 2021.

長島 泉

講演

1. 長島泉, 早坂友成, 二田未来, 高江洲義和, 野崎和博, 片桐建志, 今村弥生, 神田優太, 栗原真理子, 大江悠樹, 吉田信子, 青鹿由紀, 坪井貴嗣, 渡邊衡一郎: 難治性うつ状態を呈する神経発達症の特性-作業療法による行動評価の活用. 第18回日本うつ病学会総会/第21回日本認知療法・認知行動療法学会. 横浜・オンライン. 2021年7月8日-10日.
2. 長島泉, 武田湖太郎, 原田祐輔, 望月秀樹, 下田信明: 手の心的回転課題遂行方略の年齢による違い. 第44回日本神経科学大会/第1回CJK 国際会議. 神戸・オンライン. 2021年7月28日-31日.
3. 長島泉, 二田未来, 早坂友成, 片桐建志, 渡邊衡一郎: 新型コロナウイルス感染症拡大による大学病院の外来精神科作業療法の変化. 第55回日本作業療法学会. 仙台・オンライン. 2021年9月10日-11日.
4. 二田未来, 長島泉, 早坂友成, 野崎和博, 渡邊衡一郎: 新型コロナウイルス感染症禍における精神科作業療法の治療構造の変化. 第55回日本作業療法学会. 仙台・オンライン. 2021年9月10日-11日.

原田 祐輔

講演

1. 鈴木優喜子, 原田祐輔, 望月秀樹: 認知症者を持つ主介護者の介護負担感に対するリハビリテーション職による介入 ランダム化比較試験の文献レビュー. 第10回日本認知症予防学会学術集会. 2021年6月24日-26日.
2. 鈴木優喜子, 原田祐輔, 久篠奈苗, 河田萌生, 清水恵, 大橋由基, 尾崎章子, 金盛琢也, 亀井智子, 下田信明: 在宅認知症高齢者を対象とした訪問リハビリテーションの有効性に関するメタアナリシス. 第26回日本在宅ケア学会学術集会. 2021年8月28日-29日.
3. 河田萌生, 清水恵, 尾崎章子, 大橋由基, 鈴木優喜子, 原田祐輔, 久篠奈苗, 下田信明: 身体機能低下を伴う在宅高齢者における運動療法と栄養療法の複合的介入の効果 システマティックレビューとメタアナリシス. 第26回日本在宅ケア学会学術集会. 2021年8月28日-29日.
4. 清水恵, 河田萌生, 大橋由基, 原田祐輔, 鈴木優喜子, 久篠奈苗, 下田信明, 尾崎章子: 在宅療養中の要介護高齢者への栄養士の個別訪問を含む多職種による栄養サポートの効果 システマティックレビューとメタアナリシス. 第26回日本在宅ケア学会学術集会. 2021年8月28日-29日.
5. 澤田有希, 原田祐輔, 竹嶋理恵, 硯川潤, 近藤知子: 作業療法学生に対する3Dプリンタによる自助具の教育プログラム-オンライン授業での実施報告-. 第55回日本作業療法学会. オンライン. 2021年9月10日-9月11日.
6. 野澤一也, 今泉菜都, 大友亮, 渡邊優衣, 原田祐輔: 時間的制約が数独(ナンバープレース)の結果に与える影響-時間的制約の細分化-. 第55回日本作業療法

法学会. オンライン. 2021年9月10日-9月11日.

7. 硯川潤, 原田祐輔, 門馬博, 近藤知子, 澤田有希, 竹嶋理恵: 操作入力情報を用いたハンドル型電動車椅子の定量的な安全評価指標の構築. 第35回リハ工学カンファレンス in 北九州. オンライン. 2021年9月25日-9月26日.

論文

1. 鈴木優喜子, 原田祐輔, 久篠奈苗¹, 河田萌生², 清水恵³, 大橋由基⁴, 尾崎章子³, 金盛琢也⁵, 亀井智子², 下田信明¹ (¹東京家政大学, ²聖路加国際大学, ³東北大学, ⁴洛和会ヘルスケアシステム, ⁵浜松医科大学): 在宅認知症高齢者を対象とした訪問リハビリテーションの有効性 システムティックレビューとメタアナリシス. 日本在宅ケア学会誌. 25(2). 61-76. 2022.
2. 河田萌生¹, 清水恵², 大橋由基³, 鈴木優喜子, 原田祐輔, 久篠奈苗⁴, 下田信明⁴, 尾崎章子² (¹聖路加国際大学, ²東北大学, ³洛和会ヘルスケアシステム, ⁴東京家政大学): 身体機能低下を有する在宅高齢者におけるレジスタンストレーニングおよびタンパク質強化型栄養療法による複合的介入の効果 システムティックレビューとメタアナリシス. 日本在宅ケア学会誌. 25(2). 61-76. 2022.

白石 めぐみ

講演

1. 白石めぐみ: クリニカル・クラークシップ方式作業療法臨床実習における正統的周辺参加の方法と臨床思考過程の模倣に関する一考察. 第55回日本作業療法学会. オンライン. 2021年9月10日-11日.

津曲 優子

論文

1. 津曲優子, 金谷重彦¹, 高田橋篤史², 田村俊世³, 三山吉夫⁴, 辻美和⁵ (¹奈良先端大, ²藤元病院, ³早稲田大学, ⁴大悟病院, ⁵高知リハビリテーション専門職大学): 入院中の認知症高齢者に対する農作業を含めた集団活動の効果に関する多変量統計的考察. 日補完代替医療会誌. 19 (1). 33-40. 2022.

人見 太一

論文

1. 人見太一, 谷地ちぐさ¹, 田中秀宜², 人見里絵³, 山口創¹ (¹桜美林大学, ²文京学院大学, ³Rolf Release): 手へのタッチング実施時におこるリラクゼーション効果の検討. 埼玉作業療法. 20. 3-13. 2021.

前田 直

講演

1. 横山恵子, 蔭山正子, 前田直: 地域における家族支援～ヤングケアラーから家族丸ごと支援を考える～. リカバリー全国フォーラム2021. オンライン. 2021年10月17日.

2. 前田直, 近藤知子: 精神疾患を持つ人の配偶者が経験する日常生活の変化と必要な支援. 日本作業科学研究会第24回学術大会. オンライン. 2021年10月23日.
3. 前田直: 精神障害者の配偶者が抱える困難と支援ニーズに関する現状調査. 日本精神障害者リハビリテーション学会第28回オンライン大会. オンライン. 2021年12月12日.

その他

1. 前田直: 日本精神障害者リハビリテーション学会 第8回野中賞(研究表彰)最優秀賞. 日本精神障害者リハビリテーション学会第28回オンライン大会. オンライン. 2021年12月12日.

● 診療放射線技術学科 ●

天沼 誠

講演

1. Endo Y, Shibo H, Amanuma M, Kobayashi K, Kuhara S: A novel MOLLI T1 analysis method with data matching for reduced T1 underestimation. Proceeding of the 30th annual meeting of ISMRM. Online. 2021. May 7-15.

その他

(学会主催)

1. 天沼誠: 第94回日本心臓血管放射線研究会 主催. オンライン. 2022年1月29日.

久原 重英

講演

1. Endo Y, Shibo H, Amanuma M, Kobayashi K, Kuhara S: A novel MOLLI T1 analysis method with data matching for reduced T1 underestimation. ISMRM 29th Annual Meeting & Exhibition. Online. May 15-20. 2021.
2. 松元祐太, 堀拳輔, 只野喜一, 久原重英, 遠藤祐太, 橋本雄幸: PROPELLER MRIにおけるCSとCNNを利用した再構成法の検討. 第40回日本医用画像工学会大会. 横浜・オンライン. 2021年10月13日-15日.
3. Matsumoto Y, Hori K, Tadano K, Kuhara S, Endo Y, Hashimoto T: Examination of the reconstruction method using compressed sensing and convolutional neural network for PROPELLER MRI in head. 2021 Virtual IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference. Yokohama and Online. October 16-23. 2021.
4. 村田誉, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 久原重英, 遠藤祐太, 芝生春菜, 山本智朗: 検査前の安静待機がArterial spin labelingを用いた脳血流量測定に与える影響. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.

論文

1. Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Suzuki S¹ (¹Tokyo Metropolitan Archaeological Center): Nondestructive visualization of polyethylene glycol impregnation in wood using ultrashort echo time 3D imaging. Journal of Cultural Heritage.

小池 貴久

講演

1. 堀拳輔, 小池貴久, 只野喜一, 橋本雄幸: 2方向アンギオトモシンセシスにおけるX線管の幾何学的配置. 第121回日本医学物理学学会学術大会. 横浜・オンライン. 2021年4月17日.
2. 堀拳輔, 小池貴久, 只野喜一, 橋本雄幸: ポータブル型トモシンセシスにおけるX線源と検出器の位置関係推定法. 第40回日本医用画像工学会大会. 横浜・オンライン. 2021年10月14日
3. Hori K, Koike T, Tadano K, Hashimoto T: Feasibility of few-view projection tomosynthesis for four-dimensional angiography. 2021 Virtual IEEE Nuclear Science Symposium (NSS) and Medical Imaging Conference (MIC). Yokohama・オンライン. Oct 21. 2021
4. 松友紀和, 小池貴久, 深見光葉, 山本智明: 核医学分野におけるX線防護ガラスの効果. 第41回日本核医学技術学会総会学術大会. 名古屋. 2021年11月4日.

論文

1. Hori K, Koike T, Tadano K, Hashimoto T: A novel few-views arrangement of the fixed X-ray tubes for tomosynthesis. *Physica Medica*. 93. 8-19. 2022.
2. 松友紀和, 深見光葉, 小池貴久, 山本智明: 放射性医薬品取り扱い時の水晶体被ばく線量推定とX線防護メガネを用いた被ばく低減. *日本放射線技術学会*. 78(4). 348-356. 2022.

著書

1. 小池貴久 (分担執筆): 第2章放射線とは. 診療放射線学概論. 石田隆行 監修. 南江堂. 2022. 11-20.
2. 小池貴久 (分担執筆): 第9章放射線物理学. 2022年版 診療放射線技師国家試験 合格! Myテキスト. オーム社. 2021. 563-600.

橋本 雄幸

講演

1. 堀拳輔, 小池貴久, 只野喜一, 橋本雄幸: 2方向アンギオトモシンセシスにおけるX線管の幾何学的配置. 第121回日本医学物理学学会学術大会. 横浜・オンライン. 2021年4月15日-18日.
2. 橋本雄幸: 情報処理技術(1). 第14回核医学専門技師研究セミナー. eラーニング. 2021年5月10日-6月11日.
3. 橋本雄幸: 核医学に関連ある理工学等に関する基礎知識. 第12回核医学専門技師養成講座. eラーニング. 2021年5月10日-6月11日.
4. 橋本雄幸: 情報科学. 2021年医学物理士ミニマム講習会(理工工学系). eラーニング. オンライン. 2021年6月5日-6月20日.
5. 堀拳輔, 小池貴久, 只野喜一, 橋本雄幸: ポータブル型トモシンセシスにおけるX線源と検出器の位置関係推定法. 第40回日本医用画像工学会大会. (神奈川県横浜市), 2021年10月13日-15日.
6. 松元祐太, 堀拳輔, 只野喜一, 久原重英, 遠藤祐太,

橋本雄幸: PROPELLER MRIにおけるCSとCNNを利用した再構成法の検討. 第40回日本医用画像工学会大会. 横浜・オンライン. 2021年10月13日-15日.

7. Kensuke Hori, Takahisa Koike, Kiichi Tadano, Takeyuki Hashimoto: Feasibility of few-view projection tomosynthesis for four-dimensional angiography. 2021 Virtual IEEE Nuclear Science Symposium (NSS) and Medical Imaging Conference (MIC). Yokohama・オンライン. 16-23 Oct. 2021.
8. Yuta Matsumoto, Kensuke Hori, Kiichi Tadano, Shigehide Kuhara, Yuta Endo, Takeyuki Hashimoto: The reconstruction method using compressed sensing and convolutional neural network for PROPELLER MRI in head. 2021 Virtual IEEE Nuclear Science Symposium (NSS) and Medical Imaging Conference (MIC). Yokohama・オンライン. 16-23 Oct. 2021.
9. 橋本雄幸: 統計ソフトウェアを使おう. 筑波大学 放射線災害専門スタッフ養成プログラムの実習. オンライン. 2021年11月13日.

論文

1. Matsutomo N, Hashimoto T, Fukami M, Yamotomo T: Combination of compressed sensing-based iterative reconstruction and offset acquisition for I-123 FP-CIT SPECT: a simulation study. *Asia Ocean J Nucl Med Biol*. 10(2). 1-9. 2021.

山本 智朗

講演

1. Yamamoto T, Kobayashi K, Matsutomo N, Tadano K and Fukami M: A novel human body tray for postmortem imaging adapted for CT and MRI. 第77回日本放射線技術学会総会学術大会. 横浜. 2021年4月15日-18日.
2. 山本智朗, 小山瑠奈, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 只野喜一, 長瀬美樹: 篤志献体を用いた死後頭部DSAの初期検討. 第19回オートプシー・イメージング(Ai)学会学術総会. オンライン. 2021年9月25日.
3. 松友紀和, 小池貴久, 深見光葉, 山本智朗: 核医学分野におけるX線防護ガラスの効果. 第41回日本核医学技術学会総会学術大会. 名古屋. 2021年11月4日-6日.
4. 阿部竜馬, 松友紀和, 深見光葉, 山本智朗, 小林邦典: 死後画像に対する水溶性MR用造影剤の開発と評価. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.
5. 川口廉, 西田陽, 山本智朗, 松友紀和, 深見光葉: 死後画像に特化した水溶性CT造影剤の開発と評価. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.
6. 小山瑠奈, 山本智朗, 松友紀和, 深見光葉: 研究用献体を用いた死後頭部DSAによる脳血管の循環評価. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.
7. 村田誉, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 久原重英, 遠藤祐太, 芝生春菜, 山本智朗: 検査前の安静待機がArterial spin labelingを用いた脳血流量測定に与える影響. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.
8. 濱田知宏¹, 西堀元樹¹, 山本智朗, 松村讓帛¹, 長瀬美

樹¹(¹杏林大・医・肉眼解剖学)：両肺の分葉異常を呈したご遺体の1例。第127回日本解剖学会総会・全国学術集会。オンライン。2022年3月28日。

論文

1. 松友紀和, 深見光葉, 小池貴久, 山本智朗: 放射性医薬品取り扱い時の水晶体被ばく線量推定とX線防護メガネを用いた被ばく低減。日本放射線技術学会。78(4)。348-356。2022。
2. 深見光葉, 横山奈々, 松友紀和, 山本智朗: Becquerel calibration factor測定方法の違いがSPECT-SUV算出精度に与える影響。核医学技術。41(3)。249-255。2021。
3. Matsutomo N, Hashimoto T, Fukami M, Yamotomo T: Combination of compressed sensing-based iterative reconstruction and offset acquisition for I-123 FP-CIT SPECT: a simulation study. Asia Ocean J Nucl Med Biol. 10(2)。1-9。2021。
4. 山本智朗, 阿部竜馬, 川口廉, 小山瑠奈, 西田陽, 小林邦典, 松友紀和, 只野喜一, 深見光葉, 長瀬美樹¹(¹杏林大・医・肉眼解剖学): X線撮影、X線CT、MRIおよび頭部DSAを用いた死後画像撮像について。Rad Fan. 20(3)。86-91。2022。

松友 紀和

講演

1. Yamamoto T, Kobayashi K, Matsutomo N, Tadano K and Fukami M: A novel human body tray for postmortem imaging adapted for CT and MRI. 第77回日本放射線技術学会総会学術大会。横浜。2021年4月15日-18日。
2. 松友紀和: 核医学基礎セミナー 初心者・卒後研修医コース, 看護師コース「撮像機器, 撮像法」。第21回日本核医学会春季大会。オンライン。2021年5月7日-5月31日。
3. 松友紀和: 核医学基礎セミナー 専門医受験者コース「撮像機器, 撮像法」。第21回日本核医学会春季大会。オンライン。2021年5月7日-5月31日。
4. 松友紀和: SPECT定量の基礎 -脳血流を中心に-。第7回 SPECT Imaging Forum。オンライン。2021年7月8日。
5. 山本智朗, 小山瑠奈, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 只野喜一, 長瀬美樹: 篤志献体を用いた死後頭部DSAの初期検討。第19回オートプシー・イメージング(Ai)学会学術総会。オンライン。2021年9月25日。
6. 松友紀和: 卒後教育プログラム2「基礎教育講座」(専門技師受験者対象) 心臓核医学検査で得られる評価指標〜どうやって求める? どう使う?〜。第41回日本核医学技術学会総会学術大会。名古屋。2021年11月4日-6日。
7. 松友紀和, 小池貴久, 深見光葉, 山本智朗: 核医学分野におけるX線防護グラスの効果。第41回日本核医学技術学会総会学術大会。名古屋・オンライン。2021年11月4日-6日。
8. 阿部竜馬, 松友紀和, 深見光葉, 山本智朗, 小林邦典: 死後画像に対する水溶性MR用造影剤の開発と評価。第37回日本診療放射線技師学術大会。東京・オンライン。2021年11月12日-14日。
9. 川口廉, 西田陽, 山本智朗, 松友紀和, 深見光葉: 死後画像に特化した水溶性CT造影剤の開発と評価。第37回日本診療放射線技師学術大会。東京・オンライ

ン。2021年11月12日-14日。

10. 小山瑠奈, 山本智朗, 松友紀和, 深見光葉: 研究用献体を用いた死後頭部DSAによる脳血管の循環評価。第37回日本診療放射線技師学術大会。東京・オンライン。2021年11月12日-14日。
11. 村田誉, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 久原重英, 遠藤祐太, 芝生春菜, 山本智朗: 検査前の安静待機がArterial spin labelingを用いた脳血流量測定に与える影響。第37回日本診療放射線技師学術大会。東京・オンライン。2021年11月12日-14日。

論文

1. 松友紀和, 深見光葉, 小池貴久, 山本智朗: 放射性医薬品取り扱い時の水晶体被ばく線量推定とX線防護メガネを用いた被ばく低減。日本放射線技術学会。78(4)。348-356。2022。
2. 深見光葉, 横山奈々, 松友紀和, 山本智朗: Becquerel calibration factor測定方法の違いがSPECT-SUV算出精度に与える影響。核医学技術。41(3)。249-255。2021。
3. 松友紀和: 論文の書き方-核医学技術学会誌を中心に-。核医学技術。41(3)。256-258。2021。
4. Matsutomo N, Hashimoto T, Fukami M, Yamotomo T: Combination of compressed sensing-based iterative reconstruction and offset acquisition for I-123 FP-CIT SPECT: a simulation study. Asia Ocean J Nucl Med Biol. 10(2)。1-9。2021。
5. 松友紀和: 卒後教育プログラム2「基礎教育講座」(専門技師受験者対象) 心臓核医学検査で得られる評価指標〜どうやって求める? どう使う?〜。核医学技術。42(1)。76-79。2022。
6. 山本智朗, 阿部竜馬, 川口廉, 小山瑠奈, 西田陽, 小林邦典, 松友紀和, 只野喜一, 深見光葉, 長瀬美樹¹(¹杏林大・医・肉眼解剖学): X線撮影、X線CT、MRIおよび頭部DSAを用いた死後画像撮像について。Rad Fan. 20(3)。86-91。

著書

1. 松友紀和(共編・著): 6・2 内分泌系。核医学検査技術学 改訂4版。オーム社。2022。p284-295。

三木 健太郎

論文

1. Kusters M¹, Miki K, Bouwmans L³, Bzdusek K³, Kollenburg P¹, Smeenk R¹, Monshouwer R¹, Nagata Y² (¹Radboud University Medical Center, Nijmegen, The Netherlands, ²Hiroshima University Hospital, ³Philips Healthcare, Radiation Oncology Solutions, Fitchburg, WI, USA): Evaluation of two independent dose prediction methods to personalize the automated radiotherapy planning process for prostate cancer. Physics and Imaging in Radiation Oncology. 21。24-29。2022。

石川 純也

講演

1. 菅原かや, 石川純也: X線照射したヒト正常細胞株における3,3-diindolylmethaneの作用に関する基礎的

検討. 日本放射線影響学会第64回大会. オンライン. 2021年9月22日.

- 菅原かや, 石川純也: 3,3-diindolylmethaneはDNA2本鎖切断頻度の低減を介してX線照射によるヒト正常細胞の生存率低下を緩和する. 第37回日本診療放射線技師学会. 東京. 2021年11月12日.
- 石川純也: 生殖腺遮蔽を再考する. 公益社団法人日本放射線技術学会・第262回東京支部技術フォーラム. オンライン. 2021年12月17日.
- 石川純也: 腹部・骨盤部撮影の生殖腺防護廃止に係る科学的根拠. 公益社団法人日本診療放射線技師会・骨関節撮影分科会セミナー. オンライン. 2022年1月27日.
- 石川純也: 知っておくべき腹部・骨盤部単純X線撮影における生殖腺遮蔽廃止の動向とその科学的根拠. 公益社団法人東京都診療放射線技師会・第19回ウィンターセミナー. オンライン. 2022年1月29日.

その他

- 浜田信行, 藤淵俊王, 石川純也, 伊藤照生, 恵谷玲央, 小野孝二, 西山祐一, 松原孝祐: NCRP Statement No. 13「腹部・骨盤部単純X線撮影時の慣例的な生殖腺遮蔽の廃止に向けたNCRP勧告」とその付属文書. 保健物理. 56. 80-93. 2021.

関 健 介

講 演

- 関健介, 高橋朋子, 荻津真理子, 稲垣尚美, 湯原裕子, 渡辺美恵, 妻鹿智晃, 藤嶋祥子, 砂村京子: 学校救急看護のコアコンピテンシーの検討-第3報-. 日本学校救急看護学会第16回学術集会. オンライン. 2021年11月21日.
- 関健介, 高津博勝, 岡田洋二: フラン脂肪酸代謝産物(CMPF)が及ぼす有機汚染物質酸化分解の促進効果. 第80回日本公衆衛生学会総会. 東京・オンライン. 2021年12月21日-23日.

論 文

- 関健介, 高橋朋子¹, 荻津真理子², 稲垣尚美³, 湯原裕子⁴, 渡辺美恵⁵, 妻鹿智晃⁶, 藤嶋祥子⁷, 砂村京子⁸ (1 養護実践研究センター, 2 杏林大・保・健康福祉学科, 3 湘南医療大学, 4 聖徳大学, 5 愛知みずほ大学短期大学, 6 帝京短期大学, 7 奈良県大和郡山市立郡山南中学校, 8 東京医療保健大学): 学校救急看護のコアコンピテンシーに関する検討-第3報-. 学校救急看護研究. 15(1). 46-57. 2022.

森 美加

論 文

- Mori M, Kuhara S, Kobayasi K, Suzuki S: Nondestructive visualization of polyethylene glycol impregnation in wood using ultrashort echo time 3D imaging. Journal of Cultural Heritage. Volume 50. Pages 43-48. 2021.

坂本 岳士

講 演

- 坂本岳士: 貨幣観の転換と問題点~医療について考える~. 八王子学園都市大学いちょう塾. 八王子市. 2021年11月6日.
- 坂本岳士: 貨幣観の転換と問題点~医療について考える~. 八王子学園都市大学いちょう塾. 八王子市. 2021年11月20日.
- 坂本岳士: 貨幣観の転換と問題点~医療について考える~. 八王子学園都市大学いちょう塾. 八王子市. 2021年11月27日.

只 野 喜 一

講 演

- K. Hori, T. Koike, K. Tadano, T. Hashimoto: Few-View Projection Tomosynthesis for Four-Dimensional Angiography, 2021 IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference. Yokohama. 16-23 Oct 2021.
- Y. Matsumoto, K. Hori, K. Tadano, S. Kuhara, Y. Endo, T. Hashimoto: The Reconstruction Method Using Compressed Sensing and Convolutional Neural Network for PROPELLER MRI in Head, 2021 IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference. Yokohama. 16-23 Oct 2021.
- Yamamoto T, Kobayashi K, Matsutomo N, Tadano K and Fukami M: A novel human body tray for postmortem imaging adapted for CT and MRI. 第77回日本放射線技術学会総会学術大会. 横浜. 2021年4月15日-18日.
- 山本智朗, 小山瑠奈, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 只野喜一, 長瀬美樹: 篤志献体を用いた死後頭部DSAの初期検討. 第19回オートプシー・イメージング(Ai)学会学術総会. オンライン. 2021年9月25日.
- 堀拳輔, 小池貴久, 只野喜一, 橋本雄幸: ポータブル型トモシンセシスにおけるX線源と検出器の位置関係推定法. 第40回日本医用画像工学会大会. 東京. 2021年10月13日-15日.
- 松元祐太, 堀拳輔, 只野喜一, 久原重英, 遠藤祐太, 橋本雄幸: PROPELLER MRIにおけるCSとCNNを利用した再構成法の検討. 第40回日本医用画像工学会大会. 東京. 2021年10月13日-15日.

論 文

- Hori K, Koike T, Tadano K, Hashimoto T: A novel few-views arrangement of the fixed X-ray tubes for tomosynthesis. Physica Medica. 93. 8-19. 2022.
- Kimura M, Tadano K, Abe T, Arai N, Oikawa S, Doi R, Miyashita Y: Relationships between parameters of respiratory muscle activity measured by ultrasonography and magnetic resonance imaging. J Rehabil Res Pract, 3(1), 7-14. 2022.
- 山本智朗, 阿部竜馬, 川口廉, 小山瑠奈, 西田陽, 小林邦典, 松友紀和, 只野喜一, 深見光葉, 長瀬美樹¹ (1 杏林大・医・肉眼解剖学): X線撮影、X線CT、MRIおよび頭部DSAを用いた死後画像撮像について. Rad Fan. 20(3). 86-91.

遠 藤 祐 太

講演

1. Endo Y, Shibo H, Amanuma M, Kobayashi K, Kuhara S: A novel MOLLI T1 analysis method with data matching for reduced T1 underestimation. ISMRM 29th Annual Meeting & Exhibition. Online. May 15-20. 2021.
2. 松元祐太, 堀拳輔, 只野喜一, 久原重英, 遠藤祐太, 橋本雄幸: PROPELLER MRIにおけるCSとCNNを利用した再構成法の検討. 第40回日本医用画像工学会大会. 横浜. オンライン. 2021年10月13日-15日.
3. Matsumoto Y, Hori K, Tadano K, Kuhara S, Endo Y, Hashimoto T: Examination of the reconstruction method using compressed sensing and convolutional neural network for PROPELLER MRI in head. 2021 Virtual IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference. Yokohama · Online. October 16-23. 2021.
4. 村田誉, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 久原重英, 遠藤祐太, 芝生春菜, 山本智朗: 検査前の安静待機がArterial spin labelingを用いた脳血流量測定に与える影響. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.

芝生 春菜

講演

1. Endo Y, Shibo H, Amanuma M, Kobayashi K, Kuhara S: A novel MOLLI T1 analysis method with data matching for reduced T1 underestimation. ISMRM 29th Annual Meeting & Exhibition. Online. May 15-20. 2021.
2. 村田誉, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 久原重英, 遠藤祐太, 芝生春菜, 山本智朗: 検査前の安静待機がArterial spin labelingを用いた脳血流量測定に与える影響. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.

深見 光葉

講演

1. Yamamoto T, Kobayashi K, Matsutomo N, Tadano K and Fukami M: A novel human body tray for postmortem imaging adapted for CT and MRI. 第77回日本放射線技術学会総会学術大会. 横浜. 2021年4月15日-18日.
2. 山本智朗, 小山瑠奈, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 只野喜一, 長瀬美樹: 篤志献体を用いた死後頭部DSAの初期検討. 第19回オートプシー・イメージング(Ai)学会学術総会. オンライン. 2021年9月25日.
3. 松友紀和, 小池貴久, 深見光葉, 山本智朗: 核医学分野におけるX線防護グラスの効果. 第41回日本核医学技術学会総会学術大会. 名古屋. 2021年11月4日-6日.
4. 阿部竜馬, 松友紀和, 深見光葉, 山本智朗, 小林邦典: 死後画像に対する水溶性MR用造影剤の開発と評価. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.
5. 川口廉, 西田陽, 山本智朗, 松友紀和, 深見光葉: 死後画像に特化した水溶性CT造影剤の開発と評価. 第

37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.

6. 小山瑠奈, 山本智朗, 松友紀和, 深見光葉: 研究用献体を用いた死後頭部DSAによる脳血管の循環評価. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.
7. 村田誉, 松友紀和, 深見光葉, 小林邦典, 久原重英, 遠藤祐太, 芝生春菜, 山本智朗: 検査前の安静待機がArterial spin labelingを用いた脳血流量測定に与える影響. 第37回日本診療放射線技師学術大会. 東京. 2021年11月12日-14日.

論文

1. 松友紀和, 深見光葉, 小池貴久, 山本智朗: 放射性医薬品取り扱い時の水晶体被ばく線量推定とX線防護メガネを用いた被ばく低減. 日本放射線技術学会. 78(4). 348-356. 2022.
2. 深見光葉, 横山奈々, 松友紀和, 山本智朗: Becquerel calibration factor 測定方法の違いがSPECT-SUV算出精度に与える影響. 核医学技術. 41(3). 249-255. 2021.
3. Matsutomo N, Hashimoto T, Fukami M, Yamotomo T: Combination of compressed sensing-based iterative reconstruction and offset acquisition for I-123 FP-CIT SPECT: a simulation study. Asia Ocean J Nucl Med Biol. 10(2). 1-9. 2021.
4. 山本智朗, 阿部竜馬, 川口廉, 小山瑠奈, 西田陽, 小林邦典, 松友紀和, 只野喜一, 深見光葉, 長瀬美樹¹ (杏林大・医・肉眼解剖学): X線撮影、X線CT、MRIおよび頭部DSAを用いた死後画像撮像について. Rad Fan. 20(3). 86-91.

● 臨床心理学科 ●

竹田 里江

論文

1. 阿部知子¹, 山下聖子¹, 竹田里江 (旭山病院): 計算課題遂行中の精神疲労に対する会話の有用性の検討ー近赤外線分光法(NIRS)による検討ー. 作業療法の実践と科学. 3(3). 56-64. 2021.
2. 宮嶋涼^{1,2}, 横山和樹³, 森元隆文³, 竹田里江, 池田望³ (札幌佐藤病院, ²札幌医科大学大学院, ³札幌医科大学): 若年性認知症の本人と配偶者の関係性に関する質的研究: 関係性の変化と影響要因. 日本認知症ケア学会誌. 20(3). 404-414. 2021.

報告書

1. 竹田里江: 個人の能力・興味に合わせた前頭連合野リハビリテーションの背景をなす脳機能の解明(令和2年度). 日本学術振興会科学技術研究費助成事業 実施状況報告書. 2021.

新井田 素子

講演

1. 新井田素子, 須藤則広, 塚原富士子, 渡部和彦, 柴田亮行: Mechanism of protein degradation pathway for ALS-related mutant Cu, Zn-Superoxide

dismutase (SOD1) in microglia. 第62回日本神経病理学会総会学術研究会. 東京. 2021年5月28日.

その他

1. 新井田素子: Soluble iron accumulation induces microglial glutamate release in the spinal cord of sporadic amyotrophic lateral sclerosis. 2021年度日本神経病理学会賞受賞 原著論文部門.

脇谷 順子

講演

研修会等講師

1. 脇谷順子: 乳幼児観察セミナー—その臨床的応用について—第1回目. 小寺記念精神分析研究財団主催. 指定討論者. 東京. 2021年9月26日.
2. 脇谷順子: 子どもの心の発達セミナー—思春期青年期と発達障がい—第1回目. 小寺記念精神分析研究財団主催. 討論者. 東京. 2021年11月3日.
3. 脇谷順子: 子どもの心の発達セミナー—思春期青年期と発達障がい—第2回目. 小寺記念精神分析研究財団主催. 討論者. 東京. 2021年12月19日.
4. 脇谷順子: 子どもの精神分析的な心理療法セミナー. 認定NPO法人子どもの心理療法支援会主催. オンライン. 2022年3月6日.
5. 脇谷順子: 乳幼児観察セミナー—その臨床的応用について—第2回目. 小寺記念精神分析研究財団主催. 指定討論者. 東京. 2022年3月20日.

論文

1. 脇谷順子: 身体的体験としての乳幼児観察—子どもの心理療法への寄与. 精神分析研究. Vol.65. No.2. p.121-126. 2021.

その他

【書評】

1. 脇谷順子: 「精神分析と乳幼児精神保健のフロンティア」(R.エムディ著 中久喜雅文/高橋豊/生地新監訳. 金剛出版. 2018). 精神分析研究. Vol.65. No.2. p.84-85. 2021.

田中 薫

講演

1. 田中薫: 大学IRコンソーシアムデータを基にした「大学の満足度」について. 第10回大学コンソーシアム八王子FD・SDフォーラム. オンライン. 2021年8月18日.

中村 美奈子

講演

1. 中村美奈子: 実行委員会企画リサーチコンサルテーション: 産業界で研究をする. 日本心理臨床学会第40回大会. オンライン開催. 2021年9月3-5日.

論文

1. 中村美奈子: 休職者の気持ち: 葛藤を乗り越えて再び働くために. 産業界と看護. 2021年春季増刊号. 148-151. 2021.

著書

1. 中村美奈子(分担執筆): リワークプログラム. キャリア・カウンセリング・エッセンシャルズ. 日本キャリア・カウンセリング学会監修. 廣川進, 下村英雄, 杉山崇, 児玉一樹, 松尾智晶, 古田克利 編. 金剛出版. 2022. 41.

大西 真美

講演

学会発表

1. 大西真美, 曾山いづみ, 大瀧玲子, 築城由佳, 中村伸一: 離婚後の家族支援の取り組みと課題. 日本家族療法学会第38回大会. オンライン. 2021年8月28日.

論文

1. 大西真美, 曾山いづみ, 杉本美穂, 大瀧玲子, 山田哲子, 福丸由佳: 離婚を経験する家族への心理教育FAIT(Families in Transition)プログラムによる支援—同居親と別居親の体験の違いに注目して—. 家族心理学研究. 35(2). 137-154. 2022.
2. 曾山いづみ, 大西真美, 杉本美穂, 大瀧玲子, 山田哲子, 福丸由佳: 離婚を経験した家族に対する心理教育FAITプログラムのオンライン試行実践. 質的心理学研究. 20(Special). S35-S42. 2021.
3. 大西真美: 別居・離婚後に子どもと別居している父親への支援—良好な父子関係を維持するために—. 家族療法研究. 38(1). 60-67. 2021.
4. 大西真美: Evan Imber-Blackの「家族の秘密」に関する仕事について. 家族療法研究. 38(3). 48-54. 2021.

五嶋 亜子

講演

1. 五嶋亜子: 学生相談からみえてくる大学生の希死念慮の様相—カウンセラーがハイリスクな希死念慮と察知する要素の分析から—. 日本学生相談学会第39回大会. オンライン. 2021年5月16日-17日.
2. 五嶋亜子: 配慮の必要な学生への対応. 杏林大学外国語学部主催FD研修会. オンライン. 2021年9月22日.

その他

1. 五嶋亜子: 実例からひもとくDVの実態—若い世代が被害にあうDV—. 三鷹市男女平等参画啓発誌「Shall we?」. 第73号. 2021年9月発行.

櫻井 未央

講演

1. 櫻井未央, 山田美穂, 中島由宇: 知的障害をもつ人への心理療法—わたしたちが“心もとなさ”を抱え続けるために—. 日本心理臨床学会第40回大会. オンライン. 2021年9月4日.

論文

1. 櫻井未央, 五嶋亜子: 子育てに不安を抱える保護者への心理的支援—コロナ禍状況からみえてくる親と子の関係性の課題—. 令和2年度杏林大学地域交流推進室論集. 1-10. 2021.

著書

1. 櫻井未央(分担訳):第4章 代書者機能と子どもの発達—トマスの事例,第5章 秘めた知性が明らかになった衝撃—ハウスM,第9章 性的虐待 精神病—そして法的救済,結語,解題. 知的障害のある人への精神分析的アプローチ—人間であるということ—. 倉光修・山田美穂監訳, 中島由宇・櫻井未央・倉光星燈 訳. ミネルヴァ書房. 2022. 125-155, 157-175, 269-291, 329-334, 335-347.
2. 櫻井未央(分担執筆):第1章 わかることをめぐって—ここをつかえなくなるときの,何が起きているのか. ところで関わりここをつかう. 田中千穂子 監修, 内海新祐 編. 日本評論社. 2021. 37-45.

橋本 望

報告書

1. 橋本望:“こころ・メンテ”による自己調整力向上の試み—グラウンディングとセルフハグの音声エクササイズ—. 日本女子大学カウンセリング・センター報告書. 44. 22-26. 2021年度.

三浦 大志

講演

1. Miura H: Does the revelation effect occur for everyone multiple times? The 32nd International Congress of Psychology. Online. July 18th-23rd. 2021.

論文

1. Miura H, Matsuo K: Does writing enhance recall and memory consolidation? Revealing the factor of effectiveness of the Self-Administered Interview. Applied Cognitive Psychology. 35. 1338-1343. 2021.
2. 松尾加代¹, 三浦大志¹(大阪河崎リハビリテーション大学): 目撃者遂行型調査(SAI©)の実務的な応用可能性の検討—遅延再生と想起場所が目撃記憶に及ぼす影響. 法と心理. 21. 129-134. 2021.

斎藤 聖子

論文

1. Shigemune Y¹, Saito S, Hiromitsu K¹, Hamamoto K, Ochi R¹, Shinoura N², Yamada R² & Midorikawa, A¹ (¹Institute of Cultural Science, Chuo University, ²Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious). Depression and time perspectives in patients with brain tumors: Novel measurements in the circle test. Journal of Affective Disorders Reports. 4. 2021. DOI: 10.1016/j.jadr.2021.100084.